

講義科目名称： 教育学

授業コード： 10002

英文科目名称： Education

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
安藤 哲也			

授業形態	講義（グループディスカッション、グループワーク等を含みます） 15回		担当者
授業計画	第1回	なぜ「教育学」を学ぶのか？ 本講義の目的、展開予定、受講上の注意に関する説明と本講義の到達目標の展望。 自分にとって教育学を学ぶことの意味について考える。	安藤哲也
	第2回	教育とは？ 先人(大村はま、斎藤喜博、東井義雄)の教育観や教育実践を知り、自身が経験してきた教育を振り返ることを通して、教育の在り方について考える。	安藤哲也
	第3回	戦後日本の学校教育 学習指導要領の変遷を基に、改訂当時の社会状況などを知ることを通して、それぞれの時期に目指した学校教育の有り様の背景について考える。	安藤哲也
	第4回	現在の学校教育が目指すもの 近年の中教審答申や学習指導要領を基に、自身が経験した教育内容を振り返ることを通して、現在の学校教育が目指す教育の有り様について考える。	安藤哲也
	第5回	世界の教育思想Ⅰ ※提出課題あり 代表的な先人(コメニウス、ロック、ルソー)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。 提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第6回	世界の教育思想Ⅱ ※提出課題あり 代表的な先人(ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイ)の教育思想について調べ、交流することを通して、社会の有り様と教育との関連や現代の教育との関連について考える。提出された課題は、学習資料として全体で共有し、学びを広げる。	安藤哲也
	第7回	潜在的なカリキュラムとは？ 複数の事例を基に潜在的なカリキュラムが及ぼす影響について考えることを通して、教育行為の基盤となるものにまで視野を広げる。	安藤哲也
	第8回	子どもの思いに基づく教育 子どもの自発性や主体性を大切にする幼児教育に焦点を当て、その基本を理解することを通して、自身の専門領域における指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第9回	子どもの思いを理解する ビデオ映像を基に、一連の保育場面における子どもの思いを読み取ることを通して、子ども理解の方法とその重要性について具体的に考える。	安藤哲也
	第10回	子どもの思いを指導に活かす ビデオ映像を基に、子どもの思いを環境構成や保育者の関わり方に重ね合わせることを通して、子どもへの指導の在り方を具体的に考える。	安藤哲也
	第11回	活動を通して学ぶということ 自身の学校経験を振り返るとともに、特別活動を具体的に体験することにより、活動を通して学ぶことの意義を見出す。	安藤哲也
	第12回	集団で活動することの意義 小集団での活動を具体的に体験することにより、特別活動を指導する上で重要視する3つの視点から、子どもにとっての困難さや意義について考える。	安藤哲也
	第13回	特別活動で何を育てるのか？ 特別活動を具体的に体験し、活動を通しての学びを実感することにより、教師の視点から特別活動の意義や指導の在り方を考える。	安藤哲也
	第14回	チームの重要性 前回までの活動に基づくカンファレンスを通して、教職員同士の協働性や同僚性、学び合いの大切さについて考える。	安藤哲也
	第15回	「教育学」をどう活かすか？ ※課題レポートあり 「教育学」で得た学びの活かし方に関する考えを交流することを通して、自身のキャリア形成について幅広い視野から考えを深める。	安藤哲也

科目の目的	学校教育を中心とした自身の教育経験を対象化し、教育内容や教育方法、教師の資質などについて、幅広い視点から振り返り、具体的に考察することを通して、対人援助職に共通して必要となる知識を見出すことを目的とします。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	本授業で得た教育に関する学びを自身の専門領域に引き寄せ、何を、どのように活かせるかについて考えを深め、自分の言葉で述べるができる。
関連科目	教育心理学
成績評価方法・基準	①毎回の授業で使用するワークシートの内容（課題解決過程や振り返りの内容）と②課題レポートの内容を総合して評価します。配点は、①が70%、②が30%です。 ①は、毎回のめあてに近づく思考がなされているか、鍵概念を理解できているかという観点で評価します。そして、評価に基づいたコメントを付し、次回に返却することを通して、個々の学びを深めていきます。 ②は、本授業のまとめとして作成し、本授業での学びを自分の将来像(生き方)に意味付けているかという観点で評価します。第15回に他者と交流することを通して、幅広い視点から自分の学びを見つめ直します。その上で、評価の観点に基づいたコメントを付し、個々に返却します。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に配布する講義資料を基に予習をするとともに、返却されたワークシートを基に復習をしましょう。予習・復習に必要な時間の目安はそれぞれ90分程度です。
教科書・参考書	教科書は使用しません。必要な資料は適宜配布します。
オフィス・アワー	授業の前後(場所:非常勤講師室)でお願いします。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義で使用する資料は、原則として前回授業の翌日にActive Academyにより事前配布します。各自、事前に取得しておいて下さい。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク等

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鎌田 依里			

授業形態	講義（演習を含む）15回	担当者
授業計画	<p>第1回 教育心理学を学ぶ意義 ガイダンス 学校教育とは 子供の誕生と消滅 演習（思い出に残る先生）</p> <p>第2回 乳幼児期① 乳幼児の発達について知る。定型発達の内容について詳しく知り、発達の特徴を考慮した上での医療従事者としての具体的な関わりについて考える。</p> <p>第3回 乳幼児期② 乳幼児の心身の健康を守るために、日本でおこなわれている、法整備、乳幼児健康診査や新生児マススクリーニング等について学ぶ。DVD視聴の時間も設ける。</p> <p>第4回 児童期 こころの発達理論、アンとサリーの課題等について知り、児童期の心身の発達の特徴について理解をする。</p> <p>第5回 思春期、青年期 思春期、青年期の心身の発達について理解をする。また青年期に該当する自らの心身の状態についても客観的に知り、自己理解を深める機会とする。</p> <p>第6回 各発達段階での心理と課題 エリクソンの発達課題 自分史グラフを作成することによって、自らの発達の過程を振り返り、これまでの成長において周囲の援助があったことを再確認するとともに、周囲の人への感謝の気持ちを確認する。</p> <p>第7回 ジェンダー アイデンティティ LGBTQ+、SOGI、身体の性、こころの性、ジェンダーアイデンティティ、にまつわる現状と課題について知り、ステレオタイプや偏見が歴史的にどのように変化してきたかについて知る。そのうえで、差別のない平等な社会とは何かを考える。</p> <p>第8回 いじめの実情とその課題と支援 いじめの実情とその課題を知り、具体的な支援方法を検討する。</p> <p>第9回 不登校や非行の実情とその課題と支援 不登校や非行の背景について知ることによって、不登校や非行における表面上の課題だけではなく、その背景にある問題にまで目を向け、支援をすることの必要性について理解をする。 学校教育相談の歩み チェーン・インタビュー</p> <p>第10回 医療的ケアの必要な子どもたちの現状と課題 医療的ケアを必要とする子どもたちの実際について、映像を視聴し、現状と課題について知る。そのうえで、支援をする際の配慮について考える。また医療的ケアの必要な子どもが、どのように自己実現をおこなっていかについても知る。 エクササイズ（聞く態度で信頼関係はつくられる）</p> <p>第11回 様々なハンディキャップ 遺伝的な問題、各種の障害（視覚障害、聴覚障害、等）についての知識を学ぶ。その知識を基にして、専門職としての業務をおこなう際の配慮事項について考える。</p> <p>第12回 虐待の種類と実情 具体的な虐待について知り、その早期発見早期対応、予防を実際に行うことができるようにする。</p> <p>第13回 特別支援教育とは何か 特別支援教育に至る経緯について知るとともに、神経発達症の概念について整理をする。また、神経発達症だけではなく、医療的ケアの必要な子ども、また身体障害、身体疾患、いじめ、虐待等様々な配慮を必要とする子どもへの取り組みが、特別支援教育であることを知る。</p> <p>第14回 スクールカウンセリングの実際 スクールカウンセリングの実際について映像を視聴する。学校現場において、こころのケアがどのように行われているかを知り、医療現場と学校現場の連携についても検討する。</p>	<p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p> <p>鎌田 依里</p>

	第15回 教育心理学と医療との関係、自己肯定感 これまで教育心理学で学んだことを医療の現場ではどのように活かすかについて改めて検討する。また、自己実現のために何が出来るかを検討する。自己肯定感や自尊感情が、人の成長において、効果的な役割を担っていることを知る。またそれら を高める方法について知り、自分自身やその周囲の人に対して、自己肯定感や自尊感情を高めるために何が出来るかを具体的に考える。	鎌田 依里
科目の目的	自分や周囲が体験してきた教育を振り返り、その心理的意味を考察することで、人間を理解し、人との関係の取り方や自分自身の有り様を見つめる。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	教育心理学の概要を自分および周囲の人々の体験から理解し、自分自身を考察し、他者との効果的な関係づくりを習得するとともに、支援の必要な子どものための援助方法について習得する。	
関連科目	教育学 心理学 臨床心理学	
成績評価方法・基準	定期試験（レポート形式・55%）に、毎回の受講後に作成する小レポートの評価（45%）を加味して評価する。小レポートの内容に対するフィードバックは次回の講義の冒頭に行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業後に復習を45分程度おこなうこと。	
教科書・参考書	【教科書】 鎌田依里・峯村優一（2023）「難病療養者のこころ 心理臨床と生命倫理の視点から」創元社 【参考書】 授業内で適宜、配布する。	
オフィス・アワー	授業前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	とくになし	
アクティブ・ラーニングの実施	アクティブラーニングをおこなっている	
実務経験のある教員による授業		
実務経験	実務経験のある教員が授業をおこなっている	
授業の概要		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	講義（14回）・演習（1回）	担当者
授業計画	第1回 健康管理概論 1. ヘルスプロモーション（健康づくり） 2. 予防医学 3. 生活習慣病（NCD）概論	衣川隆
	第2回 健康づくり施策概論 1. 健康日本21（2011）のこれまでの取り組み 2. 健康日本21（第二次）（2013）とは？ 3. 日常生活の歩数の増加 日常生活のなかで積極的に体を動かそう 4. ライフスタイルと生活習慣病	衣川隆
	第3回 生活習慣病（NCD） 1. メタボリックシンドローム 2. 高血圧 3. 糖尿病 4. ロコモティブシンドローム 5. 悪性新生物（がん） 6. 認知症	衣川隆
	第4回 運動生理学 1. 呼吸・循環器系と運動 2. 脳・神経系と運動 3. 骨格筋系と運動	衣川隆
	第5回 機能解剖学 1. ハムストリングスの肉離れ ～アスリートを悩ます重大な障害～ 2. 筋肉の種類や分類法	衣川隆
	第6回 健康づくり運動の理論（トレーニングと筋肥大・栄養・骨） 1. 体力トレーニングの原理と原則 2. 強度の条件（主にコンセントリック） 3. 筋トレセット間の休憩時間 4. 筋力トレーニングと栄養（トレーニング50対栄養50） 5. 骨について	衣川隆
	第7回 健康づくり運動の理論（ストレッチ） 1. ストレッチの種類は大きく分けて2種類	衣川隆
	第8回 スポーツ障害と予防健康管理概論 1. スポーツ障害とは	衣川隆
	第9回 体力測定と評価 1. 体組成とは	衣川隆
	第10回 運動プログラムの実際 1. 健診結果と特定保健指導の基準値 2. メディカルチェック	衣川隆
	第11回 運動と心の健康増進 1. 喫煙とメンタルヘルス、運動 2. 多くの現代人を悩ませる「睡眠負債」とは？	衣川隆
	第12回 栄養摂取を考察する 1. 栄養素の種類と働きを考察する	衣川隆
	第13回 健康についての雑学（食事・栄養） 1. ダイエットに関する情報 2. 危険な4つの食べ物	衣川隆
	第14回 健康についての雑学（心・体） 1. 健康とこころ（心理学に学ぶ） 2. アナトミートレイン 3. その他	衣川隆

	第15回 スポーツ小テスト 1. 授業中に課題を出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する 小テストの評価は、総合評価10/100とする 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する	衣川隆
科目の目的	「健康と運動」、「老化と運動」に関しその維持と増進方法について、なぜ運動が重要なのかを学ぶ。特に有酸素運動と筋トレの効果は、心肺機能、呼吸器の向上、筋力の向上と筋肥大だけでなく、肥満防止や生活習慣病の予防・改善、姿勢の改善、高齢者生活の障害を低減すること等を説明する。本講義では有酸素運動や、筋力トレーニングを体験しながらその効果をも医療従事者として、地域社会に発信できるよう基礎を学ぶ。 またスポーツを行なうことや、その能力を高めることに心の問題は切り離せない。本講義では、スポーツ心理学の概要と自己の目標設定の考え方、情動の自己コントロールについて振り返り、起り得る問題の対策を学習する。そして生涯にわたって専門分野を探求し、その発展に貢献できるよう考え方を学ぶ。 【心身の障害の有無によらず、家族、多職種との適切な対人関係を作るコミュニケーション能力と協調性】 【複雑な人間行動を理解するために論理的に思考する科学的視点と対象者の個別で多様な生活を洞察する能力】 【求められる問題の解決に向けて、問いを立て続ける能力】 【作業療法学の発展と社会に貢献する活動や研究に主体的に従事しようとする姿勢】	
到達目標	「健康と運動」、「老化と寿命」等に関しその維持と増進方法について考えるにあたって、日常生活とスポーツ、機能的な筋力トレーニングやストレッチの方法を理解し、自発的に生涯に渡ってスポーツに取り組む心を身に着ける。またスポーツ心理学において、自己の目標設定と情動の自己コントロールを中心に学び、知識・行動を身に付ける。	
関連科目	健康スポーツ実技	
成績評価方法・基準	定期試験（90%）、授業内的小テスト（10%） 定期試験は100点満点で実施するが90点満点に換算。授業内的小テストは1回実施して10点満点とする。 定期試験は講義で学んだ中から実施する。 小テストは講義中に課題として出した柔軟性的小テスト（昨年度は前屈ストレッチング）を実施する。 小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいての、自分自身の健康や体力、栄養について管理をしておくこと。よって1日1回はどこかで運動を行い、食事についてもタイミングと栄養について考えてもらいたい。	
教科書・参考書	教科書 アクティブアカデミーにて授業資料を配布します。 参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「これから学ぶスポーツ心理学」荒木雅信監修 大修館書店	
オフィス・アワー	講義室または体育棟で、講義の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 3. 学生が自分自身の態度や価値観を探求することに重きが置かれていること 4. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
衣川 隆			

授業形態	実技	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション アクティブ・ラーニングの実施説明 オリエンテーションと班編成&トレーニング	衣川隆
	第2回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第3回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第4回 体力測定記録会 体力測定記録会の種目（長座体前屈、握力、背筋力、立ち幅跳び、反復横跳び、プッシュアップ30秒、ボール投げ、上体起こし、20m）。 体力測定記録会は小テストになる。小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。 広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。	衣川隆
	第5回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第6回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第7回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第8回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第9回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第10回 心肺持久力記録会 20mシャトルランを実施する。この心肺持久力記録会は小テストとする。心肺機能や走力の向上を図るとともに、有酸素運動とATPの関係も学ぶ。	衣川隆
	第11回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第12回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第13回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆
	第14回 球技・トレーニング 基礎体力作りと班対抗戦：バレーボール・バスケットボール、バドミントン、フットサル、ドッジボール等から選択する。	衣川隆

	第15回 スポーツ小テスト 授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。	衣川隆
科目の目的	運動やスポーツが得意な人もあまり得意でない人も、手軽にできるトレーニングやストレッチを行い、体力をつけることを狙いとする。一人で簡単にできる筋力トレーニングやストレッチを行って、少しずつ無理なく自分のペースでスポーツを楽しめるようにする。 各種スポーツでの身体活動を通して、各自が健康や体力に対する認識を深め、その保持増進、体力向上を図ることにより、心身共に健康的で幸福な大学生活が送れるよう自覚を促す。スポーツを通して自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力を身につける。 各種室内での軽運動・スポーツ・トレーニング等に親しみ、積極的に参加し、将来健康で豊かなライフスタイルの形成を目指す。加えて、大学生活のスタート時が、より豊かで協同的な人間関係の構築と学生生活の充実の一助となるよう、そして多職種連携による問題解決の重要性の理解し、学生相互のコミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養を身につける。	
到達目標	1. 健康と体力の重要性を理解し、維持向上をさせる。 2. 生涯にわたって健康と体力を維持向上するための知識・行動を身に付ける。 3. 自らの生活習慣を観察し、その問題点を把握して対策を立て心身の健康状態を整える。	
関連科目	健康スポーツ理論	
成績評価方法・基準	授業時間内の実技（80％）。小テスト（20％）。 実技の評価ポイントは、科目目的やアクティブラーニングに記載されていることが実施できているかを基準にする。 1回目の小テストの評価は、総合評価10/100とする。 小テストの評価ポイントとして、記録会の成績を自己分析したレポートを提出する。広義には「健康とスポーツ」であるが狭義には講義中に説明する。 2回目の小テストは、授業中に課題を出した柔軟性の小テスト（昨年度は股関節ストレッチングポーズ）を実施する。 小テストの評価は、総合評価10/100とする。小テストの評価ポイントとして、広義には柔軟性であるが狭義には講義中に説明する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1日（24時間）の生活リズムにおいて、心と体の健康管理と生活状況管理をしておくこと。よって1日1回は運動が出来るような生活リズムを心がけてほしい。	
教科書・参考書	参考書 「トレーニング：健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修 杏林書院 「運動学」伊東元 高橋正明編集 医学書院	
オフィス・アワー	体育棟で授業の前後	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	正しい知識の修得ではなく、正解のない議論（課題）を通して問題解決へのアプローチ方法を身につける。 具体的には、以下のことを講義に取り入れていく。 1. 学生は、授業を聞く以上の関わりをしていること 2. 情報の伝達より学生のスキルの育成に重きがおかれていること 3. 学生は高次の思考（分析、総合、評価）に関わっていること 4. 学生は活動（例：読む、議論する、書く）に関与していること 5. 学生が自分自身の態度や価値観を探究することに重きが置かれていること 6. 問題解決のために知識を使ったり、人に話したり書いたり発表したりすること	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
徳本 善彦			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス：「文学」とは何か 日本の近代化と「文学」について歴史的観点から学ぶ。</p> <p>第2回 文学テキストを（読む） 文学作品をテキストとして読む方法について、実践例を通して学ぶ。</p> <p>第3回 寺田寅彦「団栗」を読む 「写実」的な作品を通して、小説世界の時間・空間を整理し小説を立体的に読む。</p> <p>第4回 志賀直哉「焚火」を読む テキストをじっくり読むことで、ストーリーに頼らない小説の読み方を学ぶ。</p> <p>第5回 芥川龍之介「トロッコ」を読む 小説の物語的要素を捉え、小説世界の構造を理解する。</p> <p>第6回 群馬県の作家：萩原朔太郎の詩を読む 日本の近代詩に多大な影響を与えた萩原朔太郎の詩を鑑賞する。</p> <p>第7回 川端康成「葬式の名人」を読む 小説に書かれた、言葉の身体／身体という言葉について考える。</p> <p>第8回 野上弥生子「茶料理」を読む ストーリーに抗って読むことで、小説の表現形式の特徴を理解する。</p> <p>第9回 小レポート：矢田津世子「茶粥の記」 矢田津世子「茶粥の記」を事前に読んだ上で、授業内小レポートに取り組む。</p> <p>第10回 解説：矢田津世子「茶粥の記」を読む 小レポートの講評と、課題小説の読解の一例を解説する。</p> <p>第11回 坂口安吾「真珠」を読む 戦争と文学について、歴史的事実が物語として受容される過程を読み解く。</p> <p>第12回 戦後詩を読む 『荒地』や『権』といった戦後の現代詩誌を中心に現代詩について学ぶ。</p> <p>第13回 石牟礼道子「死民たちの春」を読む 経済成長と公害、東京と地方など戦後社会の問題を文学を通して考える。</p> <p>第14回 古井由吉「祈りのように」を読む 小説の中でハッキリと語られないものについて、語りの形式に注目して読解する。</p> <p>第15回 村上春樹「アイロンのある風景」を読む とらえようのないものを比喩を通して語ること、災害と文学について考える。</p>	徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦 徳本善彦
科目の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品を読み、不明な事柄を調べることで当時の時代状況や社会問題などを理解する。 2. テキストの中に問題を読み取り、深く考えることで筋道の通った読解を見出す。 3. 小レポートの作成を通して、自分の考察を論理的に表現する力を身につける。 <p>【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文学作品の書かれた当時の時代状況からの視点を体験することで、読む視点の複数性を理解する。 2. テキストの中に問題を見出すことを通して、情報を批判的に評価する読解力を養う。 3. 小レポート・期末レポートの作成に取り組むことで、自分の意見を客観的・論理的に表現する技術を身につける。 	
関連科目	芸術・哲学・社会学	
成績評価方法・基準	授業内小レポート（50%）、期末レポート（50%）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前＝講義で使用するテキストを読み問題を整理する。（1.0時間） ・授業後＝授業内容の復習。（0.5時間） 	
教科書・参考書	教科書：使用しない（講義資料は1週間前を目処にActive Academyを通して配布します。各自で印刷して授業に持参して下さい）。	
オフィス・アワー	授業の前後（非常勤講師室）。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
竹村 一男			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 宗教を学ぶにあたって 宗教を学ための必要な基礎的事項について説明する。講義の前半は宗教の種類、宗教の研究分野、さらに、3大宗教について、その概要と現状に言及する。後半は芸術作品や世界遺産の中から宗教に関する画像を中心に紹介する。	竹村 一男
	第2回 宗教本質論 宗教とは何か 過去から現在に至る哲学、神学、心理学などの代表的な思想や、昨今の脳科学は、宗教をどのように解釈してきたかを解説する。更に、最も難解なテーマである「宗教とは何か」について考えてみたい。	竹村 一男
	第3回 キリスト教概説 世界最多の宗教人口をもつキリスト教の教義と歴史、現状について講述する。また、その文化・歴史などを画像を交え解説する。特に新約聖書、福音書の解説については、ジョットの絵画による概要説明を行う。	竹村 一男
	第4回 イスラム教概説 イスラム教の教義と歴史、現状について講述する。その文化・歴史など画像を交え説明する。コーランの記述内容、スンニ派とシーア派の相違点、更に昨今の国際情勢におけるイスラームなどその現状にも言及する。	竹村 一男
	第5回 仏教概説 仏教の教義と歴史、現状について講述し、その文化・歴史や伝播の経緯など画像を交え説明する。インドにおける仏教の成立と展開を中心に、中国仏教、南伝仏教、チベット仏教にも言及する。	竹村 一男
	第6回 日本の仏教 日本の仏教の教義と歴史、現状について講述する。日本への仏教の伝来とその展開、各宗派による仏教思想の比較などを中心に解説し、更に寺院建築や仏像、曼荼羅など仏教文化遺産についても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第7回 日本の民俗宗教 日本の宗教の基層をなす民俗宗教について、祖霊信仰や民俗神道、神社神道などを中心に、その文化と歴史について講述する。日本の民俗宗教には様々な儀礼や祭祀が含まれるが、仏教との神仏習合も多々みられる。それらの特徴的な事例についても、画像を交え紹介する。	竹村 一男
	第8回 世界の民族宗教 特定民族に受け継がれる民族宗教ユダヤ教とヒンドゥー教について、その文化・歴史などを講述する。ユダヤ教はキリスト教・イスラム教の、ヒンドゥー教は仏教の起源となった宗教であるが、現在においても多数の信徒をもつ。その経緯と、なぜ民族の枠内に留まったかについて解説し、旧約聖書の記述については、地球環境史との関係もふまえて、画像を交え解説する。	竹村 一男
	第9回 中国の民族宗教 中国の民族宗教である儒教と道教について、その文化・歴史など画像を交え講述する。特に儒教については礼教（道徳）面が強調されることが多いが、その宗教面についても解説する。さらに、両宗教が日本に与えた影響などにも言及する。	竹村 一男
	第10回 新宗教 1830年代以降に成立した新宗教について、天理教、創価学会、モルモン教会を例に、その概要と歴史、教義について講述する。現在はこれらの新宗教も多くの信徒を持つに至り、家庭の宗教として信仰される例も多い。上記以外の幾つかの宗教団体、海外の新宗教などについても画像を交え解説する。	竹村 一男
	第11回 宗教と科学 宗教研究の事例 宗教を対象とする研究には、神学などの信仰者の視点によるものと、比較宗教学のように中立的な視点からのものがある。本講座は後者に属するが、ここでは比較宗教学、宗教社会学、宗教心理学などの中立的な社会科学の視点からなされてきた研究学説について解説する。さらに、反社会的教団の特徴や、講師の研究事例なども交えて講述する。	竹村 一男

	第12回 宗教と文化・芸術 宗教文化と芸術について講述する。古来より、宗教は芸術にも様々な影響を及ぼしてきた。その中で、特に美術と音楽、舞踊について、画像や映像を参考に解説する。また、宗教史跡、宗教建造物などの文化遺産にも言及する。	竹村 一男
	第13回 グローバル化と宗教 グローバル化が進む現在における宗教の諸問題について解説する。現状の宗教動向に加え、反社会的教団による事件、IS問題、民族紛争などの事例について講述する。	竹村 一男
	第14回 宗教と医療 宗教と医療に関する歴史や現状の諸問題について講述する。宗教団体と医療組織、特定教団の教義と輸血問題、終末医療などの医療現場における宗教の事例についても紹介する。	竹村 一男
	第15回 神話・文学における宗教、及びまとめ 前半は、内村鑑三の宗教について講師の事例研究も交え講述する。後半は、聖典などに見られる印象的な言説や、文学作品における記述の紹介と、全講義のまとめを行う。	竹村 一男
科目の目的	宗教は私達の身近に存在する。多くの家庭には仏壇や神棚が置かれ、年中行事や冠婚葬祭も宗教により執り行われる。旅行などで各地に足を運ぶと、おおよそ神社仏閣、宗教施設が存在しない地域はない。その一方で、宗教戦争の様相を呈した民族紛争がニュースに登場することも多い。本講義においては、このように多くの諸相において人間に関わりをもつ「宗教」とは何かについて考え、さらに様々な宗教を取上げ、その教義、歴史、さらに文化社会的側面について講述する。宗教理解は私達人間の理解、さらに文化・社会の理解にも繋がる。 なお、本講義は特定の宗教の視点によるものではなく、中立的な観点から広範に宗教を扱う。受講生各自の宗教観は人それぞれであろうが、医療現場における患者（被治療者）の宗教観も様々であるため、医療者には中立的かつ広範な視点での宗教理解が必要となってくる。医療に携わろうとする者はそのことを理解したうえで、私達人間に与えられた生命をまもること、与えられた生命をよりよく生きることが大切かと考える。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ● それぞれの宗教を比較し、その歴史や教義、死生観などを分析、説明することが出来る。 ● 宗教にかかわる文化や時事問題などを理解し、適切に説明することが出来る。 ● 将来の医療現場において、患者や関係者の宗教観を理解し、適切かつ発展的な行動がとれる。 	
関連科目	哲学 心理学 社会学 芸術	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1時間程度（計15回15時間）、講義内容の再確認と復習を行う。より深く学びたい受講生には、興味のある教典・聖典や、宗教に関連した文学作品などの読書に加えて、比較宗教学による文献の読解もお勧めする。最初は簡単な概説書でもよいが、以下に推薦文献をあげる。文献例：『イスラーム文化』井筒俊彦（岩波文庫）、『ヒンドゥー教』森本達雄（中公新書）、『儒教とは何か』加地伸行（中公新書）、『神道とは何か』伊藤 聡（中公新書）、『日本の民俗宗教』宮家 準（講談社学術文庫）、『世界の宗教』岸本英夫編（大明堂 絶版）、『森林の思考・砂漠の思考』鈴木秀夫（NHKブックス）、『現代医学と宗教』日野原重明（岩波書店）など。また、信仰者以外の人にとっては「聖書」や「コーラン」は難渋な書物であろうが、聴講によって基礎知識を得た後に読むと、理解が変わってくる。	
教科書・参考書	教科書 使用しない。毎回、講義用のプリントを配付する。 参考書1 『共同訳聖書』（日本聖書協会） 参考書2 『ブッダの言葉』中村 元訳（岩波文庫） 参考書3 『コーラン』井筒俊彦訳（岩波文庫）	
オフィス・アワー	講義終了後の教室。または講師出校時の非常勤講師室。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	毎回、講義用のプリントを配付しますが、同じものを事前にActive Academyにアップロードしておきます。	
アクティブ・ラーニングの実施	授業形態としての実施はなし。出席票での質問、口頭での質問は、毎回受け付ける。	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
東 晴美			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回</p> <p>ガイドダンス：オペラ、歌舞伎から現代演劇まで。舞台芸術の幅広さと、他の芸術ジャンルとの交流 舞台芸術は、言語、音楽、身体、美術などの要素を備えた総合芸術であることを紹介します。また、舞台芸術が様々なジャンルの芸術と深い関係があることを理解し、その上で舞台芸術を学ぶ意義について考えます。</p>	東 晴美
	<p>第2回</p> <p>ドラマ（物語）：創作された物語から、証言まで ギリシャ悲劇やシェイクスピアの作品において、ドラマはどのような構造を持っているかを考えます。またそのようなドラマを突き崩そうとしたベケットの作品や、ストーリーテリングや証言などポストドラマとしての現代演劇の取り組みを紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第3回</p> <p>劇場：社会と劇場、劇場と舞台芸術の関係 ギリシャ劇場から額縁舞台を経て、現代に至る劇場の変遷が、西洋の舞台芸術の歴史と呼応していることを学びます。また、舞台芸術における劇場の役割を考察します。</p>	東 晴美
	<p>第4回</p> <p>観客：もう一人の作り手として 舞台芸術の観客は、他の芸術と異なり物語をともに作りあげる存在でもあります。舞台芸術と観客の関係性について、ギリシャ時代から現代までの変遷を考えます。</p>	東 晴美
	<p>第5回</p> <p>身体：身体文化とことばの関係 俳優によって登場人物が表現されるリアリティについて、近代に絶大な影響を与えた俳優訓練法・スタニスラフスキーシステムを例に考察します。また、物語をつむぎだす言葉と身体の関係性を再考する実践も紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第6回</p> <p>ジェンダー：演じる性と演じられる性（小レポート） 演じる性として女優について考察します。また、舞台芸術では女性をどのように表現してきたか、演じられる性についても紹介します。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第7回</p> <p>能：物語のビジュアルイメージ化 能楽の基礎について学びます。また物語がビジュアルにイメージ化され定着していくことを平家物語を題材にした作品を例に考えます。また、600年前に生まれた芸能が、今もなお息づいている理由に迫ります。</p>	東 晴美
	<p>第8回</p> <p>狂言：笑いの表現 笑いは文化を象徴するキーワードです。笑いの芸能である狂言の基礎について学びます。またシェイクスピアの作品をもとにした新作狂言など、狂言師の新しい挑戦を紹介します。</p>	東 晴美
	<p>第9回</p> <p>歌舞伎：現代に生きる古典芸能 歌舞伎の基礎について学びます。歌舞伎は冷凍保存された古典ではなく、常に同時代のエンターテインメントであろうとしています。能の物語を継承しながら、江戸時代としての現代劇として再生した「京鹿子娘道成寺」を例に考えます。</p>	東 晴美
	<p>第10回</p> <p>文楽：人形の表現と語る表現（小レポート） 文楽の基礎について学びます。北野武の映画「ドールズ」を紹介しながら、今日における文楽の可能性を考えます。翌週にレポートについてコメントをします。</p>	東 晴美
	<p>第11回</p> <p>ゲームと物語：日本の物語の再生 日本の歴史上の人物の伝記がゲームのコンテンツとなり、さらにその物語が、アニメ、漫画、舞台へと展開しています。このような流れを例に取りながら、日本の物語の新たな再生について考察します。</p>	東 晴美
	<p>第12回</p> <p>アニメ・マンガ：絵画と文学、舞台メディアの交流史 欧米と異なり、大人も愛する日本のマンガ文化について、江戸時代における絵画、文学、演劇のメディアミックス文化を源流として考察します。また、能や、歌舞伎など日本の伝統的なコンテンツがどのようにアニメやマンガに取り入れられているかを探求します。</p>	東 晴美

	<p>第13回 「ライオンキング」と文楽 文楽の人形の技術は、世界的にも大きなインパクトを与え続けています。「ライオンキング」や「キングコング」など、文楽にインスパイアされた表現を紹介します。</p> <p>第14回 2.5次元ミュージカル 現代日本では、舞台芸術、アニメ、ゲームなどが、メディアの垣根を越え縦横に入り交じりつつあります。代表例として漫画「テニスの王子様」のアニメ、ゲーム、ミュージカル化を紹介します。また、二次創作と日本の著作権意識の源流について考察します。</p> <p>第15回 まとめ:ひろがる芸術の世界 ボーカロイド初音ミクによる近松門左衛門作「曾根崎心中」の道行きのパフォーマンスを例にとりながら、新しいメディアと既存の文化との関係について考察します。これまでの授業について振り返り、ポイントを整理します。その上で、講義全体を振り返ったレポートを書いてもらいます。</p>	東 晴美 東 晴美 東 晴美
科目の目的	<p>この授業では、オペラ、歌舞伎から現代演劇までを含む舞台芸術を例にとり、芸術について学びます。</p> <p>まず、他の芸術と異なる舞台芸術ならではの特色について、西洋舞台芸術の歴史を通して考えます。</p> <p>次に、西洋とは異なる独自の発展をとげた日本の舞台芸術を概観します。また、難解だと思われるがちな古典芸能の鑑賞のポイントも紹介します。</p> <p>最後に、漫画、アニメ、ゲーム、ミュージカルなどの現代の表象文化を、芸術の視点から考察します。</p> <p>これまでに舞台芸術が扱ってきたテーマを通して、人と社会に深い関心を持って、社会人としての教養を身につけます。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台芸術を例に、芸術学の基本を学ぶ。 ・日本の芸能の特色を学ぶ。また、伝統芸能は、江戸時代以前の文化でありながら、近代以降も同時代の文化の影響も受けていることを理解する。 ・現代のメディアに、伝統的なコンテンツがどのように取り入れられているかを学ぶ。 ・舞台芸術が扱っているテーマを通して、人と社会に深い関心を持つ力を身につける。 	
関連科目	社会学	
成績評価方法・基準	授業中の小テスト（2回）各20%、期末教場レポート20%、授業中リアクションペーパー40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	新聞、雑誌、テレビなどで紹介される舞台芸術や芸能に関する情報に関心を持つことがのぞましい。授業中のアンケートや授業後のレポートを提出に備えて1時間程度の学習をすることが望ましい。	
教科書・参考書	webポータルシステムにて講義資料をデータで配布(授業日前にデータを掲載、授業終了後1週間はダウンロード可)	
オフィス・アワー	木曜日 12:30～13:00	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	各テーマと、自分が現在関心をもっていることと関連づけながら学ぶことを求めます。	
アクティブ・ラーニングの実施	発見学習（教員が示した芸術の事例をもとに、自分が親しんでいる芸術ジャンルの特色を発見し考察する）	

講義科目名称： 法学(日本国憲法含む)

授業コード： 10011

英文科目名称： Law(the Constitution of Japan)

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
道下 洋夫			

授業形態	講義形式にて行なう	担当者
授業計画	第1回 法とは何か なぜ法を学ぶのか、法とは何かについて様々な角度から考える 第2回 法と社会・法の種類 法と社会との関わりあい方、法と医療の関わり合い方について理解する 第3回 日本の法システム 日本の法令にはどのようなものがあるか、どのような性質を持つかについて理解する 第4回 日本の司法制度 法的責任、訴訟事件にはどのようなものがあるかについて理解する 第5回 憲法1 憲法の基本理念及び構造について理解する 第6回 憲法2 基本的人権（平等権、受益権、平和的生存権）について理解する 第7回 憲法3 基本的人権（自由権、社会権、包括的基本権）について理解する 第8回 憲法4 統治機構（三権分立、地方自治）について理解する 第9回 民法1 私法とは何か、債権債務とは何か、契約とは何かについて理解する 第10回 民法2 不法行為など契約外の債権について、及び債権の一般的な規則について理解する 第11回 民法3 物権とは何か、担保とは何かについて理解する 第12回 民法4 行為能力、時効など民法の一般的な規則について理解する 第13回 刑法1 刑法の基本原則について理解する 第14回 刑法2 個々の犯罪、および特別法について理解する 第15回 刑法3 構成要件、違法性、責任とは何かについて理解する	道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫 道下 洋夫
科目の目的	日本は、法治国家である。法治国家においては、法令が社会の仕組みを規定しており、その実施こそが社会を動かしているという過言ではない。したがって、諸君がこれから社会人として羽ばたいていくということは、いかに細かい法令であろうと「知りませんでした」では済まされない世界に飛び込んでいくということでもある。法学を学ぶ意義はここにこそある。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 憲法を中心とした日本の法システムの概要について理解する。 憲法、民法、刑法を通じて実際の法規規定を概観する。 社会人として生きていくのに必要な法知識を習得するだけでなく、2年生以降の専門領域における各種医療関係法規・医療倫理の学習へつなげる。 	
関連科目	関係法規、社会福祉・地域サービス論、生命倫理	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	前回講義で扱った内容について目を通しておくこと(90分程度)。	
教科書・参考書	教科書：特にないが適宜、資料・法令を配布するので、各自事前に印刷して用意すること。	
オフィス・アワー	質問等があれば、講義中あるいは講義後に受け付ける。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	2年生以降の各種医療関係法規や社会保障制度の学習の前提となる。ただし、習得すべき知識量が極めて多いことに留意すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
坂本 祐子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 家族をとらえる（1） 近代家族の基本概念 近代家族の特徴 近代家族の誕生 家族とはなにか あなたが考える家族とは①（小レポート）</p> <p>第2回 家族をとらえる（2） 家族の変動 家族と世帯 世帯の動向 家族周期</p> <p>第3回 家族の機能（1） 近代家族が担ってきた基本機能=生活保障</p> <p>第4回 家族の機能（2） 生産機能 消費機能 社会的・個人的機能</p> <p>第5回 家族のつながり（1） 家族のつながりの変化と現状 家族行動の個別化</p> <p>第6回 家族のつながり（2） 家族のつながりの変化による影響 子育て負担の偏り</p> <p>第7回 家族をめぐる制度 “選択的夫婦別姓”とはどういう問題か あなたが考える家族とは（小レポート）</p> <p>第8回 家庭経済（1） 家庭経済内部の4つの活動とその循環（小レポートのフィードバック含む）</p> <p>第9回 家庭経済（2） 生活とお金 ワーキングプア</p> <p>第10回 性別役割分業（1） 性別役割分業の始まり</p> <p>第11回 性別役割分業（2） 社会保障とジェンダー</p> <p>第12回 ワーク・ライフ・バランス（1） ワーク・ライフ・バランス 働く人の生活への配慮</p> <p>第13回 ワーク・ライフ・バランス（2） 家庭責任をもつ人の仕事への支援</p> <p>第14回 ワーク・ライフ・バランス（3） 医療従事者としての成長と私生活の運営・充実 求められる家族への支援とは何か</p> <p>第15回 ふりかえり 家族とは 「家族」の存在や意味・社会のあり方</p>	坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子 坂本 祐子
科目の目的	<p>学生は皆、家族関係の中にあり、今後その多くは自ら新しい家族を形成していく。また、保健医療サービスの対象者の多くは家族関係の中にあり、サービス提供にあたっては、その人だけでなく、家族や家族関係をも対象とすることが必須である。この科目は、職業人、生活者、市民としての家族に関する見識と“家族する力”の養成と、家族を踏まえた適切な保健医療サービスの提供を可能にする知識の形成を目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. 近代家族の特徴、家族機能など、家族を理解し、考察し、ひいては将来サービス対象とするための基本的な概念を習得する</p> <p>2. 自分と定位家族、自らが将来つくるかもしれない家族、そこにおける家庭生活、家庭生活と職業生活のバランス等についてより具体的に考えられるようになる</p> <p>3. サービス対象者が家族関係の中にあることや、当事者だけでなく家族関係もサービス対象となることが認識できる</p>	
関連科目	<p>法学（日本国憲法含む） 生命倫理、人間と宗教、生活文化と医療、経済学、人工知能・ロボットと社会、人間関係・コミュニケーション論、地域ボランティア活動論、大学の学び入門、大学の学び一専門への誘い、多職種理解と連携</p>	
成績評価方法・基準	<p>講義時間内に、何度か小レポートを実施（次回講義以降に返却）。定期試験70%・小レポート30%</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>Active Academyにより資料を配布するので、資料内の不明な用語等を調べてくること。また、前回講義の重要事項を見直しておくこと。日頃から新聞に目を通すことを習慣にし、1週間で4時間半以上を自己学習に必要な時間の目安とする。</p>	
教科書・参考書	<p>使用しない</p>	
オフィス・アワー	<p>授業の前後（場所：非常勤講師室）</p>	

国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を配布するので（前回講義翌日から当該日まで）、各自講義中に使用できるように準備しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
鈴木 英恵			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション 本講義の目的と到達目標、授業の進め方（第1回から第15回までの講義内容の簡単な説明）についてお話をします。	鈴木 英恵
	第2回 患者にとってのお守り 病院内と病院外（訪問看護・在宅看護）を対象に、医療従事者である臨床看護師、在宅看護師が経験あるいは見聞した患者とお守りのエピソードを紹介し、患者にとってのお守りとはどのようなものか、その特徴について考えてみます。	鈴木 英恵
	第3回 死生観について 人は皆、それぞれ死生観を持っています。ここでは死生観とは何か、を考える時間を設けます。授業の後半部でGWのレポート課題「死生観」の説明をします。あわせてレポートの書き方、文章の組み立て等のお話をします。	鈴木 英恵
	第4回 名づけとキラキラネーム 現代社会では、読み方が困難な子どもが増えてきています。これをキラキラネームと呼びます。医療現場や実生活において、読むのが難しいキラキラネームは問題になっているようです。ここでは伝統的な名づけの方法と、現代におけるキラキラネームの命名方法の特徴を考えます。	鈴木 英恵
	第5回 道祖神と民間信仰 路傍に佇む地蔵、道祖神などの石仏は、人びとの信仰対象（主に病気治癒や旅の神等）として古くから造立されてきました。ここでは近世後期に盛んに造られた道祖神を取り上げ、その信仰内容を説明します。あわせて、現代社会における道祖神の役割も考えてみます。	鈴木 英恵
	第6回 医療民俗学とは？！ 医療民俗学が対象とするのは、世間の人びとが日々の生活の中で経験し、知識として実践してきた医療習俗です。ここでは、医療民俗学の創設と医療習俗の対象となるもののお話をします。	鈴木 英恵
	第7回 医療民俗学にみる年中行事の役割 日本では、それぞれ季節の節目に病魔や災厄を払う年中行事が存在します。ここでは年中行事の意味を考えながら、病い除ける行事や祭りをみていきます。	鈴木 英恵
	第8回 映像鑑賞 盲目の旅芸人瞽女 かつて、越後や北陸地方の村々をめぐる盲目の女性、瞽女さんがいました。幼いころに目を患うと自立した生活を送るために、幼少時から師匠に付いて三味線と唄の技術を身につけました。ここでは、瞽女さんの生活様式をみていきましょう。	鈴木 英恵
	第9回 いのち観と人生儀礼 授業の前半部では、テキストを中心にいのちの捉え方を『徒然草』、熊野観心十界曼荼羅図から人の一生のあり方を考えます。授業の後半部では、人の「いのち」についてじっくり考える時間を持ちます。テキストの内容をもとに、赤子の出生における誕生儀礼を中心にお話をします。	鈴木 英恵
	第10回 課題レポートの説明 本講義では、「生活文化と医療」をテーマにしたレポート課題があります。ここでは、ていねいにレポートの書き方の説明をします。近い将来、皆さんは医療従事者として患者やその家族と接する機会があると考えます。レポートでは、皆さん自身の生活に目を向けてもらい、医療に関連する事柄をまとめてもらいます。	鈴木 英恵
	第11回 病気をめぐる民俗 テキストを中心にお見舞いの品やカレンダーの暦と病気の関係など、病気をめぐる治癒祈願の方法を理解します。あわせて、看取りと臨終についても取り上げます。	鈴木 英恵
	第12回 一日の時間にみる民俗 テキストを中心に、夜の民俗の意味について考えます。また一日の時間、朝・昼・晩の時間の使い方を皆さん自身にも考えてもらいます。また、高齢女性の暮らしを例に、一日の時間の使い方についてみていきます。	鈴木 英恵

	第13回	ものに宿る靈魂 普段私たちが何気なく使うもの、たとえば食事で使う箸にはその人自身の靈魂が宿るといわれています。テキストの内容を中心に、ものに宿る靈魂観とは何かを考えてみます。	鈴木 英恵
	第14回	長寿祝いと老人観 テキストから全国各地の長寿祝いの方法を学びます。高齢化社会を象徴する儀礼の特徴をみていきます。老いと福祉に関する回想法についても理解します。	鈴木 英恵
	第15回	まとめ（看取りと先祖供養） 死の儀礼と伝統的な葬送習俗について、テキストを中心に考えます。ここでは供養とは何かを考え、故人を偲ぶ方法と供養をみていきます。	鈴木 英恵
科目の目的	本講義では、現代医療以前の伝統的な医療習俗を取り上げます。具体的にいうと、伝統的な医療習俗とは民間に伝承する病気の捉え方、治癒の方法など、いわゆる民間療法が対象となります。民間療法は、医師や医療従事者より古くから存在し、私たちの生活に根付いてきました。民間療法の一つに伝統的な医療体系があります。医療技術は日々進歩し病院では科学的な医療が施されますが、その一方で、人は重い病気や完治の困難な病気を抱えると、お守り、お札（護符）など神仏の力に頼り、それらを心の拠り所にしようとします。このように、よりよい健康状態を求めようとする人びとの心意も、伝統的な医療習俗に属します。地域医療の対象となる人びとが病いをどのように考え、日々どのように過ごしているのかを考えていきます。本講義をおし、現代を生きる人びとの生活から医療との接点を実感し、患者やその家族の精神的な面を考慮できる保健医療従事者になることを目的とします。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	現代医療に通じる伝統的な医療習俗を学ぶことは、いまの生活の質を向上させる可能性を持っています。今後、医療従事者を目指す皆さんは赤子から高齢者まで、さまざまな世代の患者やその家族と接する機会がきます。伝統的な医療習俗や地域医療の対象となる人びとの生活文化を、知識として有していれば、患者らとの円滑なコミュニケーションを取ることが期待できます。本講義では、「死生観」と「生活文化と医療」に関するレポート課題がありますが、履修者の課題に対する取り組みへの姿勢とその内容を鑑み、成績に反映させます。レポート課題を達成した後、履修者が獲得できる能力は①患者の視点に立つて物事をみる力を養うこと、②患者やその家族らの心の動きが理解できることの2点と考えます。医療技術のみならず、患者らの気持ちに寄り添えるような保健医療従事者となる能力の獲得を目標とします。		
関連科目	生命倫理、家族社会学		
成績評価方法・基準	死生観に関するレポート課題（40%）、生活文化と医療に関するレポート課題（40%）、講義内容について理解できているのかを測るミニテスト（20%）を実施します。2つレポート課題（死生観に課するレポート及び、生活文化医療に関するレポート）の提出は必須です。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	自分の日常生活から、医療や看護、病気などに関連すること（衣食住の面から病気にならないために気を付けていること、病気を治すための治癒祈願、病気にならないように日々心掛けていること、健康維持の方法など）に興味を持ってください。そして日常生活の中から、本講義の名称「生活文化と医療」に関するキーワードを自分で探し出してみてください。講義内で皆さんが考えるキーワードについても、触れていきたいと考えます。人は生きている限り、常に病いと向き合って生きていきます。皆さんは、自分の身体の体調が悪いとき、あるいは病気や怪我をしたとき、どのような行動をして健康な身体を取り戻すのでしょうか。自分自身を含み、身近な人たち（父母、祖父母、友人、知人など）は如何にして病いと向き合い、正常な身体を取り戻しているのかを考えてみましょう。私たちの日常生活を注意深く観察することで、医療との接点を発見しそれに結びつく課題の獲得ができます。それら課題（疑問点）の意味をひとつずついねいに考えることで、「なぜ」という疑問を解決することができます。授業前までに、90分ほど時間をかけてテキストをじっくり読み、授業内容と合わせて自分なりの考えをまとめてみてください。		
教科書・参考書	教科書：『叢書・いのちの民俗学3 生死 看取りと臨終の民俗 ゆらぐ伝統的生命観』 板橋春夫（2019 社会評論社） 参考書1：『凶解案内 日本の民俗』 福田アジオ・内山大介・小林光一郎・鈴木英恵・萩谷良太・吉村風編（2019 吉川弘文館） 参考書2：『医療民俗学論』根岸謙之助（1991 雄山閣） 必要に応じて、講義に関する資料を配布します。		
オフィス・アワー	授業の前後（場所：非常勤講師室）		
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-C-a		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	講義では、履修者の能動的な学修への参加を取り入れたアクティブ・ラーニングを行います。そのため自主的な授業参加をもとめ、think, Pair, Shareを重視します。講義内で生活文化と医療に関連する質問を投げかけますので、それに対する自分の意見を考え（Think）を持ってください。そのあとに、隣・前後の履修者と2～3名（Pair）とその内容について話し合ってください。そして、数名の履修者に質問に対する自分の考えを発表してもらい、全体で共有（Share）します。		

講義科目名称： 経済学

授業コード： 10014

英文科目名称： Economics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
飯島 正義			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 経済学で何を学ぶのか 経済学を学ぶことの意義、授業内容と進め方、成績評価等について説明します。	飯島 正義
	第2回 経済学の歩み アダム・スミスからケインズまでの流れを取り上げます。	飯島 正義
	第3回 国民経済の仕組み 経済の3主体（家計・企業・政府）とその関係について説明します。	飯島 正義
	第4回 市場メカニズム 市場メカニズムとは何か、市場メカニズムのメリット・デメリットについて説明します。	飯島 正義
	第5回 政府の役割 市場の失敗の是正について説明します。	飯島 正義
	第6回 景気循環 景気循環とは何か、日本の「景気指標」を読んでいきます。	飯島 正義
	第7回 物価 物価とは何か、物価指数、インフレ・デフレと私たちの生活について説明します。	飯島 正義
	第8回 金融政策と経済の安定化 金利政策、公開市場操作、預金準備率操作、ゼロ金利政策、金融の量的緩和等について説明します。	飯島 正義
	第9回 財政政策と経済の安定化 税制、財政支出、日本の財政状況について説明します。	飯島 正義
	第10回 国内総生産（GDP）（1） 国内総生産とは何か、三面等価の原則について説明します。	飯島 正義
	第11回 国内総生産（GDP）（2） 「国民経済計算」（内閣府）のデータを読んで日本のGDPの状況を確認します。	飯島 正義
	第12回 経済成長 経済成長とは何か、成長の要因、日本の経済成長の推移を確認します。	飯島 正義
	第13回 貿易・国際収支 貿易に関する理論、国際収支とは何か、日本の貿易・国際収支の現状を「国際収支表」で確認します。	飯島 正義
	第14回 為替レート 為替レートとは何か、為替レートの変動と日本経済への影響について説明します。	飯島 正義
	第15回 少子高齢化と日本経済 少子高齢化とは何か、少子高齢化が今後の日本経済にどのような影響を及ぼすのかについて説明します。	飯島 正義
科目の目的	経済学は、私たちの経済生活の中に存在する本質を明らかにすることを目的とした学問です。したがって、経済学を学ぶということは、私たちの経済生活そのものを知ることにつながります。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 経済学の基礎知識を身につけることができます。 2. 経済学の基礎知識を使って、現実の経済ニュース等を理解できるようになります。	
関連科目	特にありません。	
成績評価方法・基準	授業内における復習プリント40%（3～4回、授業資料参照可）、授業内試験60%で総合的に評価します。 なお、復習プリントのプリントは授業時に回収し、次週返却します。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業資料で前回の授業内容を復習するとともに、次回の授業内容をシラバス、Web上の資料で大筋をつかんでおいて下さい。その際、授業で紹介する参考文献等を利用して2時間復習・予習にあてて下さい。	
教科書・参考書	教科書は使用しません。授業ではWebに添付する授業資料を使います。また、参考書については必要に応じて紹介します。	
オフィス・アワー	授業の前後の時間に講師室で対応します。	
国家試験出題基準	該当しません。	

履修条件・履修上の注意	授業資料をWeb上に添付しますので、各自印刷して持参して下さい。なお、資料の添付期間は前回授業翌日から2週間とします。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
佐藤 満	佐藤 満		

授業形態	講義15回	担当者	
授業計画	第1回	人工知能の定義，ロボットの定義 未来社会に多大な変革をもたらす技術とされる人工知能技術、およびロボット技術の位置づけを類似従来技術との差から考察することで、人工知能、ロボットの技術的特徴を理解する。	佐藤 満
	第2回	人工知能の歴史 これまでの人工知能技術開発の歴史と経過を考察し、その折々での技術水準と技術の限界を確認することで、現在の人工知能技術の到達水準と弱点を理解する。	佐藤 満
	第3回	人工知能の仕組みとその学習方法 人工知能技術の仕組みとしての人工ニューロンのネットワークの概念を理解する。また人工知能に学習させる方法の種類とその特徴について理解する。	佐藤 満
	第4回	身のまわりにある人工知能技術① 我々の日々の暮らしのまわりには、すでに多くの人工知能技術が導入されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。	佐藤 満
	第5回	身のまわりにある人工知能技術② 人工知能技術の社会応用事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに決定した学習項目の資料探索を各自で行い、その成果をサマリーに集約して提出する。	佐藤 満
	第6回	身のまわりにある人工知能技術③ 人工知能技術の社会応用事例に関して個人で学習した成果をグループ内で共有し、必要に応じて不足している学習内容を追加で探索して、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第7回	身のまわりにある人工知能技術④ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の社会応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第8回	人工知能技術と医療① 人工知能技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第9回	人工知能技術と医療② 人工知能技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満
	第10回	人工知能技術と医療③ 前回までにグループでまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、人工知能の医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。	佐藤 満
	第11回	ロボットと社会 ロボット技術の応用により、社会のあり方も大きく変化すると予想されている。既に社会に実装されている事例と、研究段階あるいは応用が試みられている事例を概観することで、ロボット技術が近未来社会に与える影響について理解する。	佐藤 満
	第12回	ロボットと医療① ロボット技術の応用は、医療とリハビリテーションの分野にも技術的進歩をもたらすと予想されている。これらの事例に関してグループ単位で割り当てられたキーワードを頼りに自己探索による能動的学習の学習項目を決定する。さらに学習項目の資料探索を行い、成果をサマリーに集約する。	佐藤 満
	第13回	ロボットと医療② ロボット技術の医療応用事例に関して学習した成果をグループで共有し、グループとしての成果報告居を作成する。	佐藤 満

	<p>第14回 ロボットと医療③ 前回までにグループ単位でまとめた自己探索学習の成果を発表し、討論を経ることで、ロボットの医療応用に関する学習成果へのフィードバックを得る。</p> <p>第15回 人工知能とロボットの未来 人工知能やロボット技術が際限なく進歩すると、人間や社会との共存という視点からさまざまな問題が生じると予想されている。それら課題を踏まえて、今後の社会生活と職業領域に与える変化とその対応について検討し理解する。</p>	<p>佐藤 満</p> <p>佐藤 満</p>
科目の目的	<p>本科目はこれからの医療と社会に大きな変革をもたらす人工知能とロボット技術に関して医療人として必要な基礎的知識と教養を身に付けることが目的です。また、主体的に疑問や課題を発見して、主体的に調査や検討を実施する課題解決のプロセスを通して、将来的に人工知能とロボット技術に適切に向き合うことができる能力を身に付けます。以上より、リハビリテーション学部のデュプロマ・ポリシーの「人間や社会に関する幅広い教養に根差し、リハビリテーションを取り巻く諸問題を認識できる能力」および「自己研鑽に励み、人格的成長を目指す姿勢」の獲得を目的とします。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>人工知能技術やロボット技術がもつ特色、期待される役割、技術の到達レベルを説明することができる。</p> <p>人工知能技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>ロボット技術が医療の進歩や社会の発展に与える効果や影響を説明することができる。</p> <p>人工知能技術やロボット技術が多大な進歩を遂げた際に生じる課題や問題を説明することができる。</p>	
関連科目	<p>教養科目群・共通基盤科目群：基礎統計学 専門基礎科目群：リハビリテーション概論、リハビリテーション医学</p>	
成績評価方法・基準	<p>成績は講義内で作成する課題（60%）と定期試験（40%）にて評価します。定期試験の出題範囲は全ての講義で扱った内容とし、講義資料だけでなく講義で言及した内容を含めます。講義内で作成する課題は講義中に発表します。その際に課題へのフィードバックを行います。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>事前にシラバスの講義内容に目を通し、関連する単語や概念について調べてください。講義中に十分理解できなかった内容については、講義後に調べて、それでも解決しなかった際にはメールで質問してください。予習と復習を合わせて1講義につき1時間の時間を掛けることが望ましいです。</p>	
教科書・参考書	<p>【教科書】 指定しません。 【参考書】 講義の中で紹介します。</p>	
オフィス・アワー	<p>日時:講義日の17:50~18:20 場所:1号館6階611研究室</p>	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<p>講義開始前までに講義資料を配布する。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	<p>グループによる自己探索型学習を実施（3回）。</p>	

講義科目名称： 環境学

授業コード： 10018

英文科目名称： Environmental Studies

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
西菌 大実			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 環境とは 環境問題の範囲と背景、SDGs 第2回 地球の環境の構造 地球の自然の成り立ち 第3回 生活を支える資源と持続可能社会 再生可能資源と再生不能資源、持続可能性とは 第4回 環境問題の変遷 公害問題から地球環境問題へ 第5回 典型七公害 大気・水・土壌の汚染、足尾鉍毒、四大公害病 第6回 有害物質による環境汚染 イタイイタイ病を事例として 第7回 水質汚濁（Ⅰ） 水質汚濁の原因、生活排水、BOD 第8回 水質汚濁（Ⅱ） 水質汚濁の対策、下水道と浄化槽、多自然川づくり 第9回 気候変動（Ⅰ） 気候変動の具体的な影響、豪雨・熱中症・感染症等の増加 第10回 気候変動（Ⅱ） 温室効果ガス、気候変動の状況と将来予測 第11回 気候変動（Ⅲ） 予防原則、先進国・途上国の責任、パリ協定 第12回 エネルギー問題と低炭素社会への流れ 1次エネルギー、再生可能エネルギー 第13回 廃棄物問題と循環型社会への流れ 一般廃棄物・産業廃棄物・感染性廃棄物と3R 第14回 低炭素社会と循環型社会の融合 再生可能エネルギー・再生可能資源を中心とした社会づくり 第15回 持続可能社会の構築をめざして 低炭素社会と循環型社会を具体化した未来社会の在り方を考える	西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実 西菌 大実
科目の目的	環境問題への認識は、現代社会を生きていくために不可欠の要素である。また、疾病の発症するバックグラウンドとして、その時代の環境が色濃く反映している。環境理解を深めることによって、社会人としてよりよく生き、適切な保健医療サービスを提供できるようになることを目指す。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 環境問題の背景と発生原因を理解する 2. 公害問題、地球環境問題とその対策の考え方を理解する 3. 資源・エネルギーの適切な利用と低炭素社会・循環型社会・持続可能社会構築への認識を持つ	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	定期試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義資料をもとに授業該当箇所の予習・復習（自筆ノートの整備）を行う。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり4時間。	
教科書・参考書	使用しない（プリント配布）	
オフィス・アワー	授業の前後・非常勤講師室	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	教室内でのグループ・ディスカッション	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
佐藤 久美子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 ヒトへの進化 生命を支える物質（1） ①生命の誕生と進化、ヒトへの進化について概説 ②生命現象の普遍的な特質、一様性、多様性、連続性について ③生命活動に主要な役割を持つ構成成分(1) ・水の重要性 ・タンパク質</p> <p>第2回 生命を支える物質（2） 生命活動に主要な役割を持つ構成成分(2) ・炭水化物（糖質） ・脂質 ・核酸 ・無機質（無機塩類）</p> <p>第2回・3回 生命の単位 ①ウイルス、原核細胞（細菌類を含む）、真核細胞 ②真核細胞の構造と機能 ・細胞膜の構造と機能 ・細胞質基質の役割 ・核の構造と機能 ・粗面小胞体の構造と機能 ・滑面小胞体の構造と機能 ・ゴルジ体の構造と機能 ・リソソーム ・ペルオキシソーム ・ミトコンドリア ・色素体 ・細胞骨格の種類とその役割</p> <p>第4回・5回 細胞の増殖・生殖細胞の形成 ①細胞周期 ②間期（S期、G2期、G1期） ③細胞周期の調節 ④分裂期（M期） ・体細胞分裂～染色体の構造、娘細胞への染色体（遺伝子）の分配～ ・減数分裂～生殖細胞の形成、配偶子の形成～</p> <p>第6・7回 受精、発生、分化 ①無性生殖と有性生殖 ②受精 ③発生と分化のしくみ 卵割と胞胚形成、遺伝子の働き ④胚葉形成（中期胞胚変（遷）移と母性胚性変（遷）移） ⑤器官形成 ⑥形態形成とアポトーシス</p> <p>第8回 ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則と形質の遺伝 ①ヒトの染色体と遺伝子 ②メンデルの法則と形質の遺伝 ③A B O血液型の遺伝 ④家系図の書き方 ⑤遺伝病の原因———遺伝子変異</p>	<p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p> <p>佐藤久美子</p>
科目の目的	基礎生物学（前期）、生物学（後期）では、高等学校「生物基礎」履修済みを前提に、医療系専門職の専門課程の学習を理解するために必要な生命現象の基礎知識を深めることを目的とする。特に基礎生物学では生体を構成する基本単位である細胞について、その構造と機能、細胞の増殖と生殖細胞の形成などを学び、さらに生命の連続性を担保する受精、発生、形質の遺伝について知識を深めることを目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	ヒトの生命活動の全体像を理解するために次の事項を理解し、説明できる力を身につける。 ①生命の起源からヒトへの進化、生命現象の特質について理解する。 ②細胞構成成分である水の重要性を理解し、タンパク質、糖、脂質、核酸、無機質について説明できる ③細胞の構造、細胞構成成分、細胞内小器官の働きや仕組みを理解する ④細胞の周期とその調節、体細胞分裂と減数分裂を図示して詳細に説明できる。 ⑤生殖、発生、分化のしくみ、形態形成とアポトーシスについて理解する。 ⑥ヒトの染色体と遺伝子、メンデルの法則とヒト正常形質の遺伝について説明できる。	
関連科目	化学、解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生化学	
成績評価方法・基準	定期試験の成績（75%）及び講義終了時に提出するリアクションペーパー（25%）により評価する。	

準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回ともシラバスの講義内容に一致する高等学校生物の教科書または補助教材を1時間程度復習しておくこと。特に、授業範囲の専門用語についてはわからないときには生物学事典（岩波書店、東京化学同人社など）で調べ、理解しておくこと。
教科書・参考書	教科書：「人の生命科学」 佐々木史江、堀口 毅、岸 邦和、西川純雄（医歯薬出版株式会社） 参考書：1. 「Essential細胞生物学原書第4版」中村桂子、松原謙一 監訳（南工堂） 2. アメリカ版「大学生物学の教科書1巻～3巻」 D. サダヴァ他著 ブルーバックス（講談社） 3. 「基礎から学ぶ生物学・細胞生物学」 和田 勝（羊土社）
オフィス・アワー	授業終了後に教室で、または随時e-mailで質問を受ける。
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	講義資料は事前に（4～5日前）アップロードするので、予め印刷して目を通し、当日持参すること。生物学全般、特に生命活動を支えるエネルギーの産生や生物学分野の基礎研究が医療に生かされている現状、ヒトの遺伝などを理解するために、後期に開講される生物学を併せて履修することが望ましい。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし。

講義科目名称：基礎数学

授業コード：10021

英文科目名称：Basic Mathematics

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 数と式 多項式の四則演算を復習する。日常で数や式を操作するセンスを伸ばすことを促す。	井上 浩一
	第2回 方程式と不等式 1次不等式、2次方程式の復習をする。日常や医療の場でもそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第3回 2次関数 関数とグラフの概念を復習する。 関数の最大・最小の求め方を整理する。 2次関数のグラフと2次方程式・2次不等式の関係。 生活の中で数量的なセンスを発揮することを促す。	井上 浩一
	第4回 図形と計量 三角比、正弦定理と余弦定理、図形の計量に関して復習する。 生活の中でそのセンスを磨くことを考える。	井上 浩一
	第5回 個数の処理 集合とその要素の個数、場合の数、順列、組み合わせ・二項定理の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを促す。	井上 浩一
	第6回 確率 事象と確率、確率の性質、反復試行の確率、期待値の復習。生活の中でそのセンスを役立てることを考える。	井上 浩一
	第7回 論理と命題 命題と条件、必要条件、十分条件、逆、裏、対偶の復習。生活や医療の場で論理的なものごとをとらえるセンスを磨くことを促す。	井上 浩一
	第8回 基礎統計学 資料の整理を復習し、データの特徴的な値を求める。	井上 浩一
科目の目的	高校数学の基礎を復習し、数学の各分野の概念を再確認し、それを医療を含む生活での現象に結びつけて応用するセンスと技能を伸ばし、将来、医療従事者として数理現象を見出し、定量的に表現し、その上で分析、評価するための基礎的な能力を磨く。具体的には、数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量、場合の数と確率、論理と命題、基礎統計学について学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 基礎的な数学の概念の復習をする。 2. 数学の概念や道具を自力で扱えるようにする。 3. 定量的なものごとを評価するセンスを磨く。	
関連科目	基礎統計学，基礎物理学，物理学，基礎化学，化学	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・高校数学の教科書の相当部分を読んでおく。(30分程度) ・プリントや問題集の問題を解く。(90分程度)	
教科書・参考書	教科書・参考書：特になし 毎回、講義内容のプリントをActive Academyで配布する 配布期間：前回授業翌日から当該日まで 持参方法：各自印刷して授業に持参すること	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 基礎統計学

授業コード： 10022

英文科目名称： Basic Statistics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 浩一			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーションおよび高校数学 授業の内容・進め方、成績評価の仕方を説明した後、講義に必要な高校数学(微分・積分など)を復習する。</p> <p>第2回 確率分布 確率変数および確率分布の概念を学び、離散型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学ぶ。</p> <p>第3回 代表的な確率分布(1) 代表的な離散型確率分布である二項分布を学ぶ。</p> <p>第4回 代表的な確率分布(2) 連続型確率変数の基本事項(期待値、分散など)を学び、とりわけ正規分布を学ぶ。</p> <p>第5回 相関 2変数データを散布図にまとめて、その分布を視覚的に把握する方法を学ぶ。</p> <p>第6回 標本調査 母集団の特徴を表す母平均・母分散、また基本的な統計量である標本平均とその分布を学ぶ。</p> <p>第7回 推定 母集団のある値を、標本のデータから推定する方法を学ぶ。</p> <p>第8回 検定 母集団についてのある仮説が、標本のデータに基づいて、その仮説を否定できるかどうかを判定する方法を学ぶ。</p>	<p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p> <p>井上浩一</p>
科目の目的	データを処理する上で必要となる統計的な見方・考え方および手法を学び、将来、仕事などで統計を用いる際の土台をつくる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確率分布の概念を理解し、その特徴を表す値(期待値、分散など)を求めることができる。 2. データの相関を把握し、それらを的確に表現することができる。 3. 推定・検定の意味を理解して、母集団の考察に活用できる。 	
関連科目	基礎数学、データサイエンス入門	
成績評価方法・基準	筆記試験(90%) + 小テスト(10%) なお、社会情勢に応じて、筆記試験の代わりにレポート試験をすることもありうる。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>予習：授業前に配布したプリントに目を通しておく。(30分程度)</p> <p>復習：教科書または参考書の演習問題を解いてみる。(90分程度)</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：「Excelによるメディカル/コ・メディカル統計入門」勝野恵子・井川俊彦(共立出版)</p> <p>参考書1：「はじめての統計学」道家暎幸・伊藤真吾・宮崎直・酒井祐貴子(コロナ社)</p> <p>参考書2：高校数学Bの教科書</p>	
オフィス・アワー	授業前後の休憩時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	<p>○履修条件 講義「基礎数学」も履修することが望ましい。</p> <p>○履修上の注意 教科書の第3章から始めて、目次通りに授業を進めるが、時間の制約上、すべてを網羅できないことをご了承していただきたい。なお、第1、2章の内容は講義「基礎数学」に含まれています。また、講義内容をまとめたプリントをActive Academyに登録しておくので、講義日までに各自でダウンロードしておいてください。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 基礎化学

授業コード： 10023

英文科目名称： Basic Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 化学の立場から医療を考える 歴史的に重要な化学物質を取り上げて、化学物質がどのように医療に貢献してきたか考える。	日置 英彰
	第2回 物質の成り立ち 物質を構成している分子と原子の構造、原子軌道、分子軌道について解説する。	日置 英彰
	第3回 元素と周期表 自然にはどのような元素があるのか、元素の分類と周期表の読み方について解説する。	日置 英彰
	第4回 イオン イオンとイオン結合の原理、生体内でのイオンの役割について解説する。	日置 英彰
	第5回 共有結合化合物と有機分子 生体を構成している物質のほとんどは有機分子である。有機分子の結合様式、特異な形、一般的な性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 水の性質と物質の状態変化 ヒトの体の半分以上を占める水の性質と物質の三態（気体、液体、固体）について解説する。	日置 英彰
	第7回 物質の変化における速度論と平衡論 物質の変化は、速度論と平衡論の両面から考察する必要がある。これらについて概説する。	日置 英彰
	第8回 放射線と放射能 放射性崩壊と半減期、医療における放射性同位体の利用について解説する。	日置 英彰
科目の目的	地球上に生きるすべての生命を持つものを物質から見れば、巨視的に見えるものから究極を突き詰めれば見えないものは原子や分子の世界まで行きつくことになる。本科目では、物質の科学であると言われる化学について、物質についての基本的な事項を高校化学の基礎にさかのぼり学び、専門課程の理解のための基礎的知識を身につけることを目的とする。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	専門課程で学習する内容を理解するために、化学分野の基礎的知識を習得する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出席されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特に指定なし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	

講義科目名称： 化学

授業コード： 10024

英文科目名称： Chemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
日置 英彰			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 病気と関わる化学物質 くすりは体の中でどのように作用するのか概説しながら、医療と化学がどのように関わっているのか考える。	日置 英彰
	第2回 生体内ではたらく有機化合物 ホルモンや神経伝達物質をはじめ多くの有機化合物が生命活動を維持する上で重要な役割を果たしている。これら有機化合物の性質を官能基別に解説する。	日置 英彰
	第3回 酸と塩基 酸、塩基、緩衝液について解説する。	日置 英彰
	第4回 酸化と還元 物質の酸化と還元、生体内での酸化還元反応について解説する。	日置 英彰
	第5回 生体高分子 糖、タンパク質、核酸の化学構造とその性質について解説する。	日置 英彰
	第6回 触媒と酵素 生体内の化学反応は酵素が触媒している。化学反応における触媒の役割、酵素の構造と触媒作用について解説する。	日置 英彰
	第7回 合成高分子 医療材料には多くの高分子素材が使われている。各種高分子の性質と医療材料への応用について解説する	日置 英彰
	第8回 拡散と浸透現象 細胞への物質の出入りや人工透析などを考える上で重要な拡散と浸透現象原理について解説する。	日置 英彰
科目の目的	医療と化学の関係は深い。生命活動自身が秩序だった化学反応であり、医薬品、医用材料、臨床検査薬等を扱うには化学的な見方・考え方は重要である。本講義ではその基本的知識を習得する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	生体関連物質、医薬品、医用材料など医療に密接に関係している化学物質の性質や反応を理解する。	
関連科目	生化学	
成績評価方法・基準	試験（80%）、毎講義ごとのリアクションペーパー（Active Academyのアンケート機能を利用）の提出（20%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は必要ないが、毎回の講義の理解度を確認するために、各講義ごとに出题されるチェックテストを活用して復習してください。準備学習時間の目安：1時間	
教科書・参考書	教科書：看護系で役立つ化学の基本 有本淳一・西沢いづみ著 化学同人 参考書：特になし	
オフィス・アワー	講義前後の時間	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特にありません。	
アクティブ・ラーニングの実施	受講内容に関連することで興味を持ったことを積極的に調べるなど、能動的な学習を行ってください。各回ごとに提出するリアクションペーパーにはその内容を記述してください。	

講義科目名称： 基礎物理学

授業コード： 10025

英文科目名称： Basic Physics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 物理量の次元と単位 補助単位、組立単位、同次元の単位の変換。	山崎真
	第2回 静止系 力の釣り合い、モーメントの釣り合い、バネの力	山崎真
	第3回 運動 瞬間の速度、加速度。等速直線運動、等加速度運動。	山崎真
	第4回 運動方程式 1 力学の問題の標準的な手続き。	山崎真
	第5回 運動方程式 2 坂道、バネなどの典型問題。	山崎真
	第6回 仕事とエネルギー 位置エネルギー、運動エネルギー、弾性エネルギー。エネルギー保存則。	山崎真
	第7回 円運動 等速円運動。	山崎真
	第8回 バネと単振動 単振動	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 高校物理を履修済みの学生にとっても新たな発見があるよう、別の視点の紹介も行う。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。 分野は概ね初等力学。	
関連科目	物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(90%)，講義内レポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	随時。	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 物理学

授業コード： 10026

英文科目名称： Physics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
山崎 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 熱現象 1 熱と温度、比熱	山崎真
	第2回 熱現象 2 気体の状態方程式、仕事と熱	山崎真
	第3回 熱現象 3 気体分子運動論	山崎真
	第4回 波動 1 回折、屈折、波の式、干渉	山崎真
	第5回 波動 2 ドップラー効果	山崎真
	第6回 電気の基礎 1 クーロン力、電界、電位	山崎真
	第7回 電気の基礎 2 電気力線とガウスの法則、コンデンサ	山崎真
	第8回 電磁波・放射線 電磁波と各種核崩壊	山崎真
科目の目的	高等学校で物理を履修していない学生を想定し、物理の基礎を身につける。 基礎物理学に続き熱と波動、電気の基礎を学ぶ。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	物理学の基礎的な概念を知り、標準的なアプローチを身につけ、物理現象を定量的・定性的に取り扱えるようになる。	
関連科目	基礎物理学	
成績評価方法・基準	定期試験(90%)，講義内レポート(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校物理教科書や参考書を読んでから講義に臨めばより効果的だが、受講生には予習よりも講義の復習を期待する。前回分の演習問題を解いておくこと。 30分～1時間程度(定期試験前の復習は別)	
教科書・参考書	教科書：自作テキスト	
オフィス・アワー	随時	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	基礎物理学も履修しておくことを強く勧める。	
アクティブ・ラーニングの実施	問題解決学修	

講義科目名称： 英語リーディング

授業コード： 10027

英文科目名称： General English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上 まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction、Self Introduction 授業の説明、自己紹介 第2回 Lesson 1 Communication Communicationの持つ力についての会話練習、英文読解。 第3回 Lesson 2 Friendship 様々なfriendshipの形についての会話練習、英文読解。 第4回 Lesson 3 Health Healthに留意することの意義についての会話練習、英文読解。 第5回 Lesson 4 Environment 絶滅危惧種を守るためにすべきことについての会話練習、英文読解。 第6回 Lesson 5 Fashion 着物の変遷に関する会話練習、英文読解。 第7回 Lesson 6 Food 人気のある食べ物についての会話練習、英文読解。 第8回 Lesson 8 Study Abroad 海外留学の意義についての会話練習、英文読解。 第9回 Lesson 9 College Life in the U. S. 日本とアメリカの大学生活の違いについての会話練習、英文読解。 第10回 Lesson 10 Steve Jobs Steve Jobsの生涯に関する会話練習、英文読解。 第11回 Lesson 11 Volunteer Work ボランティア活動の意義に関する会話練習、英文読解。 第12回 Lesson 12 Internship インターンシップの意義に関する会話練習、英文読解。 第13回 Lesson 13 Travel 交通手段の発展の歴史に関する会話練習、英文読解。 第14回 Lesson 14 Culture カルチャーショックに関する会話練習、英文読解。 第15回 Lesson 15 An International World 留学を通して得られたものについての会話練習、英文読解。	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むための基礎力、特にリーディング力、リスニング力を養成する。英語を学ぶことを通じて、将来の医療人として人間や社会に対する興味・関心の幅を広げ、関心・興味を持った事柄に関して調べ、自分の考え・意見を持ち、それらを表現する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストや各自の力と興味に合わせた本を読むことを通じて、多くの英文に接し、構文を正しく理解し、英文の内容を理解することができる。 ・テキストのトピックについて調べ、自分の考え・意見を持ち、グループやペアでの話し合いを通じて、他者の考え・意見も聞き、最終的に自分の考え・意見をまとめ、表現することができる。 ・テキスト教材の音声聞いて、単語や文章を聴き取り、発音することができる。 ・extensive readingの目標は10,000words。易しい英文を楽しみながら読むことができ、口語表現、日常生活での英語表現が理解できる。 	
関連科目	医療英語会話、医療英語リーディング、英語会話、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (60%) 課題(30%) extensive reading(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。exercise等もあらかじめやっておく。 復習：その日に学習したことを整理し、英文を理解する。課題を行う。予習復習合わせて約1時間。 extensive readingについては、目標達成に向けて、各自のペースで計画的に進める。	
教科書・参考書	教科書：Journeys: Communication for the Future 阿野幸一ほか4名 (朝日出版社)	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
----------------	------

講義科目名称： 医療英語会話

授業コード： 10028

英文科目名称： Medical English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction/Icebreaking イントロダクション、本授業について（シラバスや成績評価方法等）。 初対面で使う表現および授業中よく使われる表現の紹介、練習。	David Andrews
	第2回 Unit 1: Meeting patients	David Andrews
	第3回 Body Partsの小テスト（1） + Unit 2: Taking a medical history	David Andrews
	第4回 Unit 2の小テスト + Unit 3: Assessing symptoms	David Andrews
	第5回 Unit 3の小テスト + Unit 4: Taking vital signs および第1回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーション + Unit 4: Taking vital signs	David Andrews
	第7回 Unit 4の小テスト + Unit 5: Taking a specimen	David Andrews
	第8回 Unit 5の小テスト + Unit 6: Conducting a medical examination	David Andrews
	第9回 Body Partsの小テスト（2） + Unit 7: Assessing pain	David Andrews
	第10回 Unit 7の小テスト + Unit 8: Advising about medication および第2回目のプレゼンテーション準備	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーション + Unit 8: Advising about medication	David Andrews
	第12回 Unit 8の小テスト + Unit 9: Improving Patients' mobility	David Andrews
	第13回 Unit 9の小テスト + Unit 10: Maintaining a good diet	David Andrews
	第14回 Body Partsの小テスト（3） + Unit 11: Caring for inpatients	David Andrews
	第15回 Unit 12: Coping with emergencies および定期試験（プレゼンテーション）の準備	David Andrews
科目の目的	現在、医療は、間違いなくグローバルな分野であり、「国際語」である英語を通じて様々なアイデアが世界中に共有されている。本授業では、医療分野において必要な医療用語や表現を知識として身に付け、実際の場で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。[キーワード：【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】]	
到達目標	医療業界において様々なシチュエーションに対応できるようになる。また、医療業界でよく使われている専門用語や表現等を聞き取り、言えるようになる。	
関連科目	英語会話、医療英語リーディング、英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト（30%）、中間プレゼンテーション（2回；1回目＝15%、2回目＝20%）、定期試験（プレゼンテーション）（35%） 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。予習：テキストに目を通して、オーディオを聞き、練習問題をやる。学習時間は合わせて1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4～6時間程度。	
教科書・参考書	教科書：Caring For People	
オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。	
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション	

講義科目名称： 医療英語リーディング

授業コード： 10029

英文科目名称： Medical English Reading

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
井上まゆみ			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction Test Your Reading Skill 授業の説明、各自のreading skillのチェック、単語力のチェック。 第2回 Unit 1 How Food Passes Through Our Body topicの英文読解、内容の把握。 第3回 Unit 2 Coping with Cancer topicの英文読解、内容の把握。 第4回 Unit 3 Where Medicine Meets Religion topicの英文読解、内容の把握。 第5回 Unit 4 Before Calling It Malpractice topicの英文読解、内容の把握。 第6回 Unit 5 How Are Drugs Developed? topicの英文読解、内容の把握。 第7回 Unit 6 What Comes First when Helping Others topicの英文読解、内容の把握。 第8回 Unit 7 How to Identify Reliable Health Information topicの英文読解、内容の把握。 第9回 Unit 8 What Is "Upstream" Thinking? topicの英文読解、内容の把握。 第10回 Unit 9 Actions Speaks Louder than Words topicの英文読解、内容の把握。 第11回 Unit 10 Genetic Counseling as an Emerging Field topicの英文読解、内容の把握。 第12回 Unit 11 Can Medical Tourism Be a White Knight? topicの英文読解、内容の把握。 第13回 Unit 12 Hopes in Regenerative Medicine topicの英文読解、内容の把握。 第14回 Unit 13 Traditional Medicine in the Modern World topicの英文読解、内容の把握。 第15回 Unit 14 Japan's Healthcare System Is the Envy of the World Reading Skill のチェック topicの英文読解、内容の把握。各自のreading skillの再チェック。単語力の再 チェック。	井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ 井上 まゆみ
科目の目的	専門分野の英語に取り組むためのリーディング力、リスニング力、表現力の養成と強化。医療系の基本的英語語彙力と英語表現力の強化。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療全般に関するトピックを読み、構文を正しくとらえ、内容を理解することができる。 ・トピックの内容をまとめ、関連する事柄について、自分の意見・考えを表現できる。 ・テキストの音声聞いて単語や文章を正しく聴き取ることができる。 ・医療の基本的英単語、英語表現を覚え、声に出して読んで書くことができる。 	
関連科目	英語リーディング 医療英語会話 英語会話 英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	定期試験 (90%) 課題(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習：次回に学習する範囲の英文、英単語の音声を聴く。英文を読んで、わからない単語は辞書で調べ、英文の大まかな内容をつかむ。どこがわからないのかを明確にする。 復習：その日に学習したことを整理し、英語構文を理解する。英単語、英語表現は覚え、正しく発音できるように音声教材をよく聴き、また、正しく書けるまで練習する。課題を行う。 予習復習合わせて約1時間。	
教科書・参考書	教科書：Medical World Walkabout 大野直子&ダシルヴァ石田牧子 (成美堂)	
オフィス・アワー	授業の前後 (場所：非常勤講師室)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	高校までの基本的英文法は理解しておいてください。	
アクティブ・ラー	実施なし	

講義科目名称： 英語会話

授業コード： 10030

英文科目名称： General English Conversation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
David Andrews			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Course introduction/Icebreaking Explanation of the syllabus and grading. Introduction of phrases that will commonly be used in the class.	David Andrews
	第2回 Unit 1: Which do you prefer, dogs or cats? Talking about yourself, your hobbies, and your interests.	David Andrews
	第3回 小テストU1 および Unit 2: Where would you like to visit? Talking about countries and places that interest you.	David Andrews
	第4回 小テストU2 および Unit 3: Let's talk about money Expressing money amounts, dealing with currency exchange, and using an ATM.	David Andrews
	第5回 小テストU3 および Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 1) および第1回目のプレゼンテーション準備 Making reservations and checking in to a hotel および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第6回 第1回目のプレゼンテーションおよび Unit 4: Let's go to Hawaii! (part 2) 第1回目のプレゼンテーションおよび Making reservations and checking in to a hotel (continued)	David Andrews
	第7回 小テストU4 および Unit 5: Let's do this! Talking about resort activities and making plans.	David Andrews
	第8回 小テストU5 および Unit 6: How do I get to the Koi Pond? Asking and giving directions.	David Andrews
	第9回 小テストU6 および Unit 7: Where are you headed? Asking for a taxi and making small talk.	David Andrews
	第10回 小テストU7 および Unit 8: Let's take a tour! (part 1) および第2回目のプレゼンテーション準備 Talking about various island tours and activities および各Unitより会話の作成。	David Andrews
	第11回 第2回目のプレゼンテーションおよび Unit 8: Let's take a tour! (part 2) 第2回目のプレゼンテーションおよび Talking about various island tours and activities (continued)	David Andrews
	第12回 小テストU8 および Unit 9: How much is this T-shirt? Going shopping and buying things.	David Andrews
	第13回 小テストU9 および Unit 10: Let's go out to eat! Ordering food at a restaurant.	David Andrews
	第14回 小テストU10 および Unit 11: Lost and Found Describing an item you have lost.	David Andrews
	第15回 Unit 12: How was your vacation? および定期試験 (プレゼンテーション) の準備 Talking about your experiences および各Unitより会話の作成。	David Andrews
科目の目的	本授業では、英語でコミュニケーションをとる際に役立つ用語や表現、異文化に対する寛容さを身に付け、様々な状況や場面で使えるように実用的なコミュニケーションスキルを学ぶ。【キーワード：【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】】	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや身の回りのことについて英語で伝えることができる。 ・様々な場面において実用的なコミュニケーションスキル(要求、指示など)を習得する。 ・英語圏の文化や風習を理解する。 	
関連科目	医療英語会話、英語リーディング、医療英語リーディング、英語アカデミックリーディング・ライティング	
成績評価方法・基準	小テスト (30%)、中間プレゼンテーション (2回; 1回目=15%、2回目=20%)、定期試験 (プレゼンテーション) (35%) 授業中に小テストの結果を毎回確認させ、プレゼンテーションへのフィードバックを口頭で行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	復習：前回の授業で学んだことを定着させる。学習時間は1.5時間程度。また、中間プレゼンテーションの準備時間は合わせて4~6時間程度。	
教科書・参考書	教科書：使用せず 適宜、教材用資料を配布	

オフィス・アワー	授業日の昼休み（1号館 ANNEX 6階619研究室）
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	予習は必ずすること。授業に辞書を持ってくる。
アクティブ・ラーニングの実施	ペアワーク、グループワーク、プレゼンテーション

講義科目名称： 中国語

授業コード： 10031

英文科目名称： Chinese

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
深町 悦子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス、中国語とは？ 発音、漢字、声調	深町 悦子
	第2回 中国語の発音のきまり 単母音、複合母音、声調	深町 悦子
	第3回 子音の発音と音節 母音、子音、音節表の読み方	深町 悦子
	第4回 発音のまとめ 自分の名前を中国語で読む練習	深町 悦子
	第5回 第1課の学習 第1課 [私は日本人です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第6回 第1課の復習と第2課の学習 第2課 [これは中国語の教科書です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第7回 第2課の復習と第3課の学習 第3課 [マクドナルドに行きましょう] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第8回 発音の総合復習と第1課から第3課までの復習 中間レポート提出	深町 悦子
	第9回 第3課の復習と第4課の学習 第4課 [明日の天気はあまりよくない] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第10回 第4課の復習と第5課の学習 第5課 [私は今年18歳です] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第11回 第5課の復習と第6課の学習 第6課 [食堂は図書館のむかいにあります] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第12回 第6課の復習と第7課の学習 第7課 [私は11時に寝ます] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第13回 第7課の復習と第8課の学習 第8課 [私は中日辞典を1冊買いに行きたい] 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第14回 第8課の復習と第9課の学習 第9課 [私は本屋でアルバイトをしています] 文法 単語 本文 置換練習 文法 単語 本文 置換練習	深町 悦子
	第15回 第1課から第9課までの復習 総合復習	深町 悦子
科目の目的	現代のグローバル化の社会の中で、一国際人として、多言語ができる人材を育成する。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	日常生活及び仕事の中で、簡単な会話ができること。	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	期末に筆記試験を行う。基準は筆記試験が80%、授業内にレポート及び感想文の提出が20%。提出されたレポートについては次回授業内でフィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前の予習と授業後の復習をすること。1時限ごとに30分ぐらい必要である。発音の練習は必ずしっかりする事、特に四声については、音声ファイルを聞きながら発声して覚えるように。	

教科書・参考書	教科書：グッと入門中国語 改訂版（金星堂） 参考書：なし
オフィス・アワー	講義の前後
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	教科書の購入が必要である
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
青木 順			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ハングルの読み方 基本母音 朝鮮半島、ソウル市などを簡単に紹介し、ハングルの由来、構造を簡単に説明。 基本母音10個の読み方、基本母音を含んだ単語、挨拶言葉等を学習する。	青木 順
	第2回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統料理を紹介する。	青木 順
	第3回 ハングルの読み方 基本子音 基本子音4個の読み方、その基本子音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第4回 ハングルの読み方 激音（濃音と比較しながら） 濃音と比較しながら激音5個の読み方、激音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として伝統茶を紹介する。	青木 順
	第5回 ハングルの読み方 濃音（激音と比較しながら） 激音と比較しながら濃音5個の読み方、濃音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第6回 ハングルの読み方 合成母音 合成母音11個の読み方、合成母音を含んだ単語、挨拶言葉を学習する。	青木 順
	第7回 ハングルの読み方 パッチム パッチムの読み方、パッチムを含んだ単語、挨拶言葉を学習する。 文化として食事のマナー、1歳の誕生日を紹介する。	青木 順
	第8回 「私は青木順です」① サンパッチム、連音の説明、練習を行う。	青木 順
	第9回 「私は青木順です」② 「は」「です」「～と申します」という文法の学習、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統家屋、伝統舞踊を紹介する。	青木 順
	第10回 「私は青木順です」のまとめと「何人家族ですか？」① 韓国語での自己紹介を一人一人行う。 関連単語、「ます」「ますか」等の文法の学習と練習を行う。 文化として伝統的結婚式、楽器等を紹介する。	青木 順
	第11回 「何人家族ですか」② 「お～になります」「が」「と」などの文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第12回 「何人家族ですか」③ 固有数字、関連会話文の読み、訳、会話練習等を行う。 文化として伝統遊びを紹介する。	青木 順
	第13回 「すみません」① 関連単語、「～してください」、意志を含んだ「ます」等の文法の学習と練習を行う。	青木 順
	第14回 「すみません」② 「いる（いない）」「ある（ない）」の説明と練習。 固有数字を使う助数詞、関連会話文の読み、訳を行う。 文化として伝統刺繍を紹介する。	青木 順
	第15回 「すみません」③とまとめ 会話練習、文法のまとめ、試験問題の説明を行う。	青木 順
科目の目的	グローバルな視点を養い、限定的な場面でのコミュニケーション能力を身に付けることができる。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ハングル文字を正確に読み書きできるようになる。 ・正確な発音をマスターする。 ・挨拶をはじめ、簡単な日常会話を身につける。 	
関連科目	特になし。	
成績評価方法・基準	課題への取り組み（40％）・期末テスト（60％）	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	授業で学習した内容はその都度復習しておくこと。 外国語の学習は反復・継続することが何より大切なので、毎日10分でもよいので、積極的に取り組むこと。
教科書・参考書	講師作成教材使用予定(コピー)
オフィス・アワー	コリア語の授業のある日12:30~12:50非常勤教員室
国家試験出題基準	特になし。
履修条件・履修上の 注意	講師作成の教材を使用する。 配布期間：前回の授業翌日から当該日まで。 持参方法：各自印刷して授業に持参すること（課題も含まれているため、印刷必須）。
アクティブ・ラー ニングの実施	二人一組で、与えられた課題に取り組む方法をとる。

講義科目名称： ドイツ語

授業コード： 10033

英文科目名称： German

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
菅谷 優			

授業形態	講義	担当者
授業計画	Lektion1 動詞の現在人称変化1	菅谷 優
	Lektion2 名詞と冠詞の格変化	菅谷 優
	Lektion3 名詞の複数形・人称代名詞	菅谷 優
	Lektion4 動詞の現在人称変化2・命令法	菅谷 優
	Lektion5 定冠詞類・不定冠詞類	菅谷 優
	Lektion6 前置詞	菅谷 優
	Lektion7 話法の助動詞・未来形・非人称動詞	菅谷 優
	Lektion8 分離動詞と非分離動詞・接続詞	菅谷 優
	Lektion9 動詞の三基本形・過去人称変化	菅谷 優
	Lektion10 現在完了・再帰表現	菅谷 優
	Lektion11 形容詞の格変化	菅谷 優
	Lektion12 形容詞と副詞の比較変化・zu不定詞	菅谷 優
	Lektion13 関係代名詞・指示代名詞	菅谷 優
	Lektion14 受動態	菅谷 優
	Lektion15 接続法	菅谷 優
科目の目的	ドイツ語の基礎文法を一巡する。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	講師のいない独習においても辞書と教科書を用いてドイツ語の文章が理解できるようにする。	
関連科目	健康スポーツ実技 現代文学 英語リーディング 医療英語会話 中国語 コリア語 ポルトガル語 情報処理	
成績評価方法・基準	期末試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各文法事項一課につき予習復習込みで二時間	
教科書・参考書	教科書は郁文堂からでているDeutsche Grammatik System und Praxis Leicht ISBN978-4-261-01272-9を使用。辞書は郁文堂：新キャンパス独和辞典978-4-261-07306-5をお買い求めください。参考書として朝日出版社から出ている単語帳：ドイツ語基礎単語帳をお勧めいたします	
オフィス・アワー	授業終了後、教室前、あるいは講師室にて	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称：ポルトガル語

授業コード：10034

英文科目名称：Portuguese

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
Hilda Harumi Handa			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas. Introduction / Apresentacao Explaining how the class will be given, and grades / Explicar como serao as aulas e as notas.	Hilda Harumi Handa
	第2回 Brazil and the other nine countries that speak Portuguese / Brasil e os outros nove paises que falam português. A brief lecture about Brazil and nine other countries whose official language is Portuguese	Hilda Harumi Handa
	第3回 Greetings and Pronouns Greetings / Cumprimentos/Apresentacao Possessive adjectives/pronouns / Pronomes possessivos Saying hello and goodbye / Encontrar-se/despedir-se	Hilda Harumi Handa
	第4回 Alphabet and pronunciation / Alfabeto e pronuncia Syllables / Formacao das silabas Introduction to Portuguese Alphabet	Hilda Harumi Handa
	第5回 Stress / Acentuacao Stress rules Oxitonas/paroxitonas/proparoxitonas Rules for stressing.	Hilda Harumi Handa
	第6回 Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos We'll talk about kinds of nouns and adjectives.	Hilda Harumi Handa
	第7回 Articles / Artigos definidos/indefinidos Prepositions / Preposicoes Verbs / Verbos Adverbs / Adverbios Nouns / Substantivos Adjectives / Adjetivos Learning about articles, prepositions, verbs, and adverbs.	Hilda Harumi Handa
	第8回 Conjunctions / Conjuncoes Time / Horas Seasons/Weather / Estacoes/climas Class about conjunctions, and how to talk about time and the weather.	Hilda Harumi Handa
	第9回 Cardinal/ordinal numbers / Numeros Cardinais/ordinais Phone / Telefone Email All about numbers.	Hilda Harumi Handa
	第10回 Subject pronoun / Pronomes Pessoais Verb Be I / Verbos ser e estar I More pronouns and the verb Be, that means more than one verb in Portuguese.	Hilda Harumi Handa
	第11回 Verb Be II / Verbos Ser e estar II Continuing with the verb Be.	Hilda Harumi Handa
	第12回 Family / Familia Week/month/year / Semana/meses/ano Colors / Cores Light class about family, dates, and colors.	Hilda Harumi Handa
	第13回 Human Body / Corpo Humano Clothing / Roupas Special class about the human body.	Hilda Harumi Handa
	第14回 Food & Culture / Gastronomia e cultura Let's learn about Brazilian food, and maybe taste some of it.	Hilda Harumi Handa

	第15回 Exam Let's see how much you learned from the previous classes.	Hilda Harumi Handa
科目の目的	<p>ポルトガル語は主にブラジルで話される言語で、1万人以上のブラジル系住民が生活する群馬県内でも接する機会が多い言語です。群馬県内(特に東毛地区)において地域に関わる仕事(例えば、公務員や教員、医療関係など)を希望している学生にはポルトガル語の習得をお勧めします。</p> <p>また、ポルトガル語はブラジル以外の国々でも公用語とされているところがあり、国際的に活動したいという際にも役立てることができます。</p> <p>ポルトガル語は英語に近い構造のヨーロッパ言語で、英文法や語彙の知識が応用できる項目もあり、一方で英語の理解にも役立ちます。</p> <p>本授業の目標はポルトガル語の入門にとどまりますが、初級、中級へと学習を進めるためのきっかけとなると同時に、「英語以外のヨーロッパ言語」に関心を持っていただくこと、加えて可能な限り、ブラジルを中心としたポルトガル語圏の文化についても授業内で紹介し、ポルトガル語に関わる事柄の知見を広めることも目指します。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>本授業では欧州言語共通参照枠(CEFR)のA1レベルを習熟目標とし、ポルトガル語の基本中の基本となる以下の基礎文法と基礎的なコミュニケーション表現を習得することを目指します。</p> <p>(1)ポルトガル語を読める (2)名詞や形容詞の性数の考え方が理解できる (3)挨拶など基礎的な表現ができる (4)基礎的な語彙を使うことができる (5)動詞の活用ができる</p> <p>これらに加え、とりわけブラジル人との日常的なコミュニケーションに関わる文化の知識(食文化、交通など)を身につけることも目標とします。</p>	
関連科目	特になし	
成績評価方法・基準	50% from final exam, and 40% participation (not attendance) in class, 10% assignments.	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	No special knowledge is required for it's a class for beginners. However, students should prepare by reviewing the handouts from the previous class and reading the newspapers or magazines mentioned in class. Students are advised to study about 2-3 hours per week in preparation for each 90-minute lesson.	
教科書・参考書	Teacher will provide handouts. Students will be encouraged to read some books, newspapers or magazines, that will be mentioned during class.	
オフィス・アワー	Students can communicate through email that will be provided on the first class.	
国家試験出題基準	特になし	
履修条件・履修上の注意	<p>5回以上の欠席がある場合は期末試験を受けられません。 また、特別な事情がない場合の30分以上の遅刻は欠席と見なします。 就職活動や特別な事情による欠席は考慮いたします。</p> <p>大学生として相応な英語力と意欲、情熱があることが望ましいです。</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	discussion , conversation and pair work	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	演習	担当者
授業計画	第1回 本講義の概要、1章&2章 本講義の概要とOfficeの基本について学ぶ テキスト（目次） 本書と連携サイトの活用法	西谷 泉
	第2回 3章 Word 文書作成 Wordを使った具体的な文書作成について学ぶ テキスト（第1章） コンピューターの仕組み	西谷 泉
	第3回 3章 Word 画像や図形を活用した文書作成 Wordを使って画像や図形を活用した文書作成について学ぶ	西谷 泉
	第4回 4章 Excel 表計算のデータ入力 Excelを使って表計算のデータ入力の基本について学ぶ	西谷 泉
	第5回 4章 Excel 関数を使った表計算 Excelを使って重要な関数を活用した表計算を具体例を通して学ぶ	西谷 泉
	第6回 4章 Excel グラフ作成 Excelを使って表の内容をグラフに表現することを学ぶ	西谷 泉
	第7回 4章 Excel 検索関数の利用 Excelを使って条件を満たすデータを検索することを学ぶI	西谷 泉
	第8回 4章 Excelの便利な機能 Excelの便利な機能を使った分かりやすい表作成を学ぶ	西谷 泉
	第9回 4章 Excel 実習問題 これまで学んだ内容についての実習問題に取り組む テキスト（第7章） レポート作成（Word） ▼レポート作成サンプルファイル	西谷 泉
	第10回 万年カレンダーの作成 Excelに関して学んだことを使って、万年カレンダーを作成する	西谷 泉
	第11回 5章 PowerPoint プレゼンテーションの基本について学ぶ PowerPointの使い方とスライド作成の基本について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel）	西谷 泉
	第12回 5章 PowerPoint アニメーションなどの活用 PowerPointのアニメーションを使った分かりやすいスライド作成について学ぶ テキスト（第9章） グラフ作成（Excel） ▼集計表、グラフ作成サンプルファイル	西谷 泉
	第13回 5章 PowerPoint スライドショーと資料作成 PowerPointのスライドショーとプレゼン資料について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint）	西谷 泉
	第14回 6章 Office フォトレタッチ機能 Officeソフトを使った画像編集について学ぶ テキスト（第10章） プレゼンテーション作成（PowerPoint） ▼プレゼンテーション作成サンプルファイル	西谷 泉
	第15回 試験 これまでの学習の理解度を確認する	西谷 泉
科目の目的	膨大な情報が溢れる現代社会に生きている私たちは、適切に情報を収集・処理し、それらを有効に活用する能力を身に付けることが求められている。情報を適切に処理するためにはコンピュータとソフトウェアを活用することが重要である。本授業では、情報処理において世界的に活用されているソフトウェアのMicrosoft Officeを使った情報処理、情報伝達などについて、豊富な具体例を通して実習的に学習する。それによって情報処理の能力に向上を目指す。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	パソコンのソフトウェアであるOffice内の、Word,Excel,PowerPointを有効に活用できるようになることと、それによって適切な情報の処理、分析、さらにそれらを他者に伝達する能力を身に付けることを目標とする。	
関連科目	情報リテラシー	
成績評価方法・基準	課題(40%)、テスト(40%)、リアクションペーパー(20%) 合わせて100%	

準備学習の内容・ 準備学習に必要な 学習時間の目安	この授業では、テキストを利用して、授業（60分）、自己学習（30分）を演習を通して実施します。 関連する項目を事後学習（40分）で理解を深め、課題にも取り組むことを想定している。
教科書・参考書	教科書：「30時間でマスター Office2019」実教出版
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上 の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (Windows10対応) を持参してください。
アクティブ・ラー ニングの実施	実施なし

講義科目名称： 情報リテラシー

授業コード： 10036

英文科目名称： Information Literacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
西谷 泉			

授業形態	講義と実習	担当者
授業計画	第1回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第2回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第3回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第4回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第5回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第6回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第7回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第8回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第9回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第10回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第11回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第12回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第13回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第14回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
	第15回 社会的問題や医療分野の諸課題等に関して、情報収集・整理・表現・伝達について学習する。テーマは毎回指示する。 課題等は返却はしない	西谷 泉
科目の目的	高度情報化社会である現在社会において、様々な情報が溢れている。そのような情報を収集・整理・分析し、それを適切に表現・伝達する能力の重要性が増している。本授業では、受講生の主体的な取り組みを重視し、Active Learningを生かした活動を通して、そのような能力の育成を目指す	

	す。合わせて、情報社会における守るべき情報倫理やルール、セキュリティなどについても学習する。これらの学習活動は、様々な課題に取り組む将来医療従事者として活動する上で、役立つものであると考える。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】
到達目標	適切な情報収集と表現・伝達を通して、情報活用能力の重要性を理解する。 個別目標： 1. さまざまな情報メディアを通して情報を活用・伝達する能力を身につける。 2. マルチメディアによる情報表現・伝達の手法を理解し、基本的ルールやモラルを身に付ける。 3. 情報表現における倫理やルールを理解し、情報セキュリティを実践できる。
関連科目	情報処理
成績評価方法・基準	演習課題（授業毎のプレゼンテーションと課題提出70%、リアクションペーパー30%）100%
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	この授業では、インターネットを使って、様々な社会的課題について情報収集し、それを整理・分析し、さらに表現・伝達する過程を演習の形で学習する。授業の学習効果を高めるためには、常々現代社会や医療分野における様々な状況や課題等について、関心をもつことが大切である。関連する項目を1時間程度の事前学習で理解し、併せて関連サイトを自己学習することが望まれます。
教科書・参考書	テキストは使用しません。
オフィス・アワー	未定
国家試験出題基準	
履修条件・履修上の注意	MS-Office (MS-Word, MS-Excel, MS-PowerPoint) ウェブブラウザをインストールしたPC (WindowsPC、Mac等) を持参してください。
アクティブ・ラーニングの実施	プレゼンテーションを実施

講義科目名称： データサイエンス入門

授業コード： 10037

英文科目名称： Introduction to Date Science

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
星野 修平			

授業形態	講義と演習	担当者
授業計画	第1回 社会におけるデータ・AI利活用 データサイエンスとは/社会における変化/本講義の概要と授業準備として、パソコンの利用方法、具体的な活用について学ぶ	星野修平
	第2回 社会で活用されているデータ	星野修平
	第3回 データ・AIの活用領域	星野修平
	第4回 データ・AI利活用のための技術	星野修平
	第5回 データ・AI利活用の現場	星野修平
	第6回 データ・AI利活用の最新動向	星野修平
	第7回 時系列データの可視化	星野修平
	第8回 平均、標準偏差の算出とその可視化	星野修平
	第9回 大量のデータを扱う方法	星野修平
	第10回 基本統計量の算出と箱ひげ図	星野修平
	第11回 度数分布表とヒストグラムの作成	星野修平
	第12回 散布図の作成と相関係数の算出	星野修平
	第13回 定性データの扱い方とクロス集計	星野修平
	第14回 データ・AIを扱う上での留意事項	星野修平
	第15回 データを守る上での留意事項	星野修平
科目の目的	現代社会においては、ICTの進歩に伴い、大容量データの収集、蓄積と解析によって、様々な情報・知識を得ることが可能となった。ビッグデータやAI、機械学習などを経て、様々な問題解決を行うデータサイエンスの基礎を学び、そのために必要なコンピュータの利用、統計学の知識、データ処理の手法を理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	データサイエンスに関する基礎的概念について理解し、コンピュータによってデータ解析が実践できる。 個別目標： ・データサイエンスについて基礎的概念を説明できる。 ・データサイエンスに必要なコンピュータの基本的操作が行える。	
関連科目	情報処理・情報リテラシー・統計学・医療統計学	
成績評価方法・基準	授業中に実施するミニテスト（50%）と演習課題（50%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前学習（90分）で理解し、授業を通して学んだことの事後学習（45分）	
教科書・参考書	教科書：基礎学習 AIデータサイエンスリテラシー入門 吉岡剛志, 小林領, 照屋健作 共著 2022. 技術評論社 参考書：データサイエンスの考え方 小澤 誠一・斎藤 政彦 共著、オーム社	
オフィス・アワー	授業の前後、昼休み、4号館7階研究室 事前にE-mail にて予約(s-hoshino@paz.ac.jp)	
国家試験出題基準		
履修条件・履修上の注意	MS-ExcelをインストールしたPC（WindowsPC、Mac等）を持参してください。	

アクティブ・ラーニングの実施	演習、事前課題、事後課題なその課題演習にて、学生の招待的な学びを実践的にこなう。
----------------	--

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和	石井良和 村田和香	竹原 敦 南 征吾	宮寺寛子 馬場順子
	吉岡和哉 岡田直純	近藤 健 石代敏拓	

授業形態	講義（1回）および演習（14回）		担当者
授業計画	第1回	保健学を知る 保健学の広がりとは作業療法の専門性の関係の理解 オリエンテーション、討議や発表の技法、省察的実践家 (Reflective Practitioner)とは何か	石井
	第2回	作業療法士像の探究1：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する	石井・村田
	第3回	作業療法士像の探究2：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する	石井・竹原・南
	第4回	作業療法士像の探究3：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する	石井・宮寺・馬場
	第5回	作業療法士像の探究4：作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する	石井・吉岡・岡田
	第6回	作業療法士像の探究5：「作業療法士の学科教員」から話題提供と集団討議 作業療法士の物語・経験からのメッセージを受けて論議する	石井・近藤・石代
	第7回	グループディスカッション1：作業療法士としての能力を習得するために テーマ① エンド・オブ・ライフケア	石井・南
	第8回	グループディスカッション2：作業療法士としての能力を習得するために テーマ② 子どもと大人の違い	石井・吉岡
	第9回	グループディスカッション3：作業療法士としての能力を習得するために テーマ③ 自分の作業歴を考える	石井・石代
	第10回	グループディスカッション4：作業療法士としての能力を習得するために テーマ④ 高齢入院患者の身体拘束	石井・近藤
	第11回	グループディスカッション5：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑤ 理解すること	石井・竹原
	第12回	グループディスカッション6：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑥ サービス	石井・馬場
	第13回	グループディスカッション7：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑦ 考えること	石井・岡田
	第14回	グループディスカッション8：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑧ あそぶこと	石井・宮寺
	第15回	グループディスカッション9：作業療法士としての能力を習得するために テーマ⑨ 自分らしさとは何か	石井・村田
科目の目的	これからの学びおよび将来医療職に就くものとして必要な態度やスキル、知識を学ぶことの導入に重点を置き、演習ではコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上をはかる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	グループ学習による課題への取り組みとコミュニケーション能力の向上をはかる。 取り組んだ課題を他のグループへわかりやすく伝えることができる。		
関連科目	作業療法概論、リハビリテーション概論		
成績評価方法・基準	参加態度50%、課題レポート50% 参加態度については、グループワーク等での態度や発言などを加味したプレゼンテーションの出来（3段階）によって評価する。課題レポートは単位認定者および担当者が評価し、個別にフィードバックする。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業外学習：事前に提示されたテーマについて予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。わかりにくい概念などをチェックしておき、復習時に確認しておくこと。目安となる時間は約45分程度。		
教科書・参考書	テキスト・参考書等は特に指定しませんが、村田和香著「“私らしさ”を支えるための高齢期作業療法10の戦略」（医学書院）は参考となる。		
オフィス・アワー	講義当日は講義終了後18時まで可。他の曜日は事前に連絡すれば可。場所は石井研究室。ほかの教員についての質問等も同様。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	とくに第7回以降は各教員よりテーマが出されるので、グループディスカッションと発表が中心となる。なお、担当教員の順序は暫定的ですのでその都度お知らせします。		



講義科目名称： 多職種理解と連携

授業コード： 10040

英文科目名称： Multidisciplinary Understanding and Cooperation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
村田 和香	村田和香・佐藤 満・白坂康俊	矢島正栄・廣田幸子・中島久美子	長田 誠・渡邊 浩・近土真由美
	金谷春代・宗宮 真	藤井裕哉・石井純子・平井正利	

授業形態	講義14回および演習（グループ・ディスカッション）1回		担当者
授業計画	第1回	理学療法領域における最近のトピックス	佐藤 満
	第2回	看護師の役割および看護領域における最近のトピックス	矢島正栄
	第3回	臨床工学技士の役割および臨床工学領域における最近のトピックス	近土真由美
	第4回	診療放射線技士の役割および診療放射線領域における最近のトピックス	渡邊 浩
	第5回	臨床検査技士の役割および臨床検査領域における最近のトピックス	長田 誠
	第6回	言語聴覚領域における最近のトピックス	白坂康俊
	第7回	作業療法領域における最近のトピックス	村田和香
	第8回	保健師の役割および地域保健における最近のトピックス	廣田幸子
	第9回	助産師の役割および妊娠出産に関わる最近のトピックス	中島久美子
	第10回	リハ医の役割およびリハビリテーション医学領域の最近のトピックス	宗宮 真
	第11回	社会福祉士の役割および最近のトピックス	金谷春代
	第12回	精神保健福祉士の役割および最近のトピックス	藤井裕哉
	第13回	ケア・マネージャーの役割および最近のトピックス	石井純子
	第14回	義肢装具士の役割および最近のトピックス	平井正利
	第15回	私たちが期待されている活動 グループワークおよびディスカッション	村田和香
科目の目的	リハビリテーションは多数の職種が参加するチームで展開される。より良いチームアプローチのためには、コミュニケーションと目標の共有が大切である。専門職間のコミュニケーションを高め、互いの専門性に対する理解を深め、どのように連携し、チームを推進するのか、他の専門職の役割や最近のトピックスなどを学ぶ。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	1. 各専門職種の業務内容の実際と期待される活動内容を述べることができる。 2. 地域における多職種連携について、職種、連携の方法を述べることができる。		
関連科目	大学の学びー専門への誘いー、リハビリテーション概論、チーム医療とリハビリテーション、社会福祉・地域サービス論、作業療法概論、作業療法管理学		
成績評価方法・基準	授業終了時レポート（80%）：レポートはActiveAcademy及び口頭でフィードバックする予定である。 グループディスカッションおよび授業中の発言（20%）：ルーブリック評価で行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業前学習として、各専門職団体および本学HPを確認しておくこと。 わかりにくい概念などをチェックし、復習時に確認すること。 目安となる時間は約30分程度。		
教科書・参考書	特に指定はしないが、授業資料が提供される可能性がある。		
オフィス・アワー	担当教員：講義終了後、もしくはお昼休み。		
国家試験出題基準			
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	グループワークとディスカッション		

講義科目名称： 運動器解剖学

授業コード： 10041

英文科目名称： Anatomy of Musculoskeletal System

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、演習	担当者
授業計画	第1回 解剖学の総論 解剖学の位置付け；人体の階層；基準面；身体部位の名称；向きと位置を表す言葉 第2回 運動器系の総論 骨と筋の一般的構造；骨の発生；身体運動の名称 第3回 体幹骨と関節1 椎骨の基本構造；頸椎、胸椎、仙椎、尾椎の構造；椎骨の連結様式と靭帯；脊柱と胸郭の構造 第4回 体幹骨と関節2 体幹骨のスケッチ 第5回 体幹筋1 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止 第6回 体幹筋2 胸壁、腹壁、骨盤底を構成する筋の名称、起始、停止；固有背筋の名称、起始、停止 第7回 上肢骨と関節1 上肢骨の名称と各部の構造；上肢骨の連結と靭帯 第8回 上肢骨と関節2 上肢骨のスケッチ 第9回 上肢筋1 上肢筋の名称、起始、停止 第10回 上肢筋2 上肢筋の名称、起始、停止 第11回 下肢骨と関節1 下肢骨の名称と各部の構造；下肢骨の連結と靭帯 第12回 下肢骨と関節2 下肢骨のスケッチ 第13回 下肢筋1 下肢筋の名称、起始、停止 第14回 下肢筋2 下肢筋の名称、起始、停止 第15回 運動器解剖学の総括 運動器解剖学で学習した内容を総括する。	後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑 後藤 遼佑
科目の目的	ヒトの筋骨格系における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	(1) ヒトの筋骨格系の基本的な構造を説明できる。 (2) 筋骨格系の構造にもとづき、各関節で生じる運動を推論できる。	
関連科目	臓器解剖学；生理学Ⅰ；生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60%；小テスト30%；提出課題10%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業後には、配布したプリントに取り組むこと。授業の予習として1時間、授業後の復習として1時間程度の学習を勧める。	
教科書・参考書	教科書：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	≪ 専門基礎 ≫- I-1-A~D, ≪ 専門基礎 ≫- I-1-H, ≪ 専門基礎 ≫- I-1-I-a~b	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラー	実施なし	

講義科目名称： 臓器解剖学

授業コード： 10042

英文科目名称： Anatomy of Internal Organs

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 神経系総論 神経系の全体像（中枢神経系と末梢神経系）；神経系の発生；求心性神経と遠心性神経、体性神経系と臓性神経系	後藤遼佑
	第2回 中枢神経系1 脳幹の構造；脳神経核と脳神経	後藤遼佑
	第3回 中枢神経系2 大脳と小脳の構造；皮質の構造；大脳と小脳の神経核	後藤遼佑
	第4回 末梢神経系1 求心性神経と遠心性神経の分節性；脊髄神経の基本的な走行；肋間神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第5回 末梢神経系2 頸神経叢と腕神経叢；上肢の末梢神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第6回 末梢神経系3 腰神経叢と仙骨神経叢；下肢の末梢神経の起始、走行、分布	後藤遼佑
	第7回 循環器系1 血管の構造；大循環と小循環；心臓と縦隔の構造；冠状血管系	後藤遼佑
	第8回 循環器系2 上下肢と体幹の動脈、静脈、リンパ	後藤遼佑
	第9回 循環器系3 頭部の動脈と静脈；脳室と脳脊髄液の循環	後藤遼佑
	第10回 消化器系1 消化管の基本構造；自律神経系；消化管の局所解剖	後藤遼佑
	第11回 消化器系2 肝臓、胆嚢、膵臓の構造；消化管と血管系；門脈	後藤遼佑
	第12回 呼吸器系 喉頭、気管、気管支、肺の構造；呼吸にかかわる反射とその中枢	後藤遼佑
	第13回 泌尿器系 腎臓、膀胱の構造；浸透圧調節機構	後藤遼佑
	第14回 生殖器系 生殖器の構造；性ホルモンの働き	後藤遼佑
	第15回 総復習 これまで学習した内容を総括する。	後藤遼佑
科目の目的	ヒトの内臓における肉眼解剖学的構造を理解する。 【倫理観と幅広い教養】【基本的知識と技術】【地域リハビリテーションの理解・問題解決力】 【自己研鑽・探求力】	
到達目標	(1) 内臓の基本的な構造について説明できる。 (2) 神経系の構造にもとづき、器質的障害にもなう機能障害を推察できる。	
関連科目	運動器解剖学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ	
成績評価方法・基準	定期試験60% 小テスト40%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書に指定した「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。授業前の予習に一時間、授業後の復習に一時間程度をかけること。授業後の復習として配布したプリントに取り組むこと。	
教科書・参考書	教科書1：「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか（医学書院） 教科書2：「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳（南江堂）	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -1-E~G, 《専門基礎》- I -1-I-c, 《専門基礎》- I -1-J, 《専門基礎》- I -2-K-f~g, 《専門基礎》- I -2-L~Q	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 局所解剖学（言語・聴覚・発声・嚥下）

授業コード： 10043

英文科目名称： Specific Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
浅見知市郎			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 感覚器 聴覚器（外耳・中耳・内耳）について	浅見知市郎
	第2回 神経系1 言語・聴覚を中心とする中枢神経系について	浅見知市郎
	第3回 神経系2 言語・聴覚に関する脳神経を中心とする末梢神経について	浅見知市郎
	第4回 骨格系 頭蓋を構成する骨について	浅見知市郎
	第5回 筋系 発語、咀嚼、嚥下に関係する筋について	浅見知市郎
	第6回 消化器系 口腔を中心とする諸器官について	浅見知市郎
	第7回 呼吸器系 鼻腔・咽頭・喉頭を中心とする諸器官について	浅見知市郎
	第8回 発生学 頭頸部の形成を中心とする発生学について	浅見知市郎
科目の目的	リハビリテーション専門職に重要と考えられる言語・聴覚・発声・嚥下に関わる解剖学を習得する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	言語・聴覚・発声・嚥下に関わる器官を解剖学的に説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学実習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習	
成績評価方法・基準	試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	Active Academyで配布する講義資料を理解しながら通読すると概ね1時間を要する。	
教科書・参考書	教科書：なし 参考書：「ネッター 頭頸部・口腔顎顔面の臨床解剖アトラス」前田健康監訳 医歯薬出版 「入門人体解剖学」藤田恒夫（南江堂）	
オフィス・アワー	講義終了後の10分間に教室で質問を受け付ける。または昼休みの12：30～12：50の間。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する(asami@paz.ac.jp)。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-1-G	
履修条件・履修上の注意	Active Academyによる講義資料の配付期間：講義の1週間前から学期末まで。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 解剖学演習

授業コード： 10044

英文科目名称： Practice in Anatomy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 遼佑			

授業形態	講義、実習	担当者
授業計画	<p>第1回 総復習と解剖実習のガイダンス 運動器解剖学および臓器解剖学を復習；ブタ胎仔標本の解剖手順に関する説明</p> <p>第2回 総復習と解剖実習のガイダンス 運動器解剖学および臓器解剖学を復習；ブタ胎仔標本の解剖手順に関する説明</p> <p>第3回 腕神経叢の解剖1 皮剥と皮筋の解剖；胸鎖乳突筋、頰神経叢の皮枝、副神経の剖出；肩帯筋の解剖</p> <p>第4回 腕神経叢の解剖2 肩甲骨を切断し、腋窩を背側から解放；背側からの腕神経叢の剖出と背側の枝の観察</p> <p>第5回 腕神経叢の解剖3 背側からの腕神経叢の剖出と背側の枝の観察</p> <p>第6回 腕神経叢の解剖4 深胸筋、浅胸筋、鎖骨下筋の解剖；腹側から腋窩解放し、腕神経叢を剖出</p> <p>第7回 腕神経叢の解剖5 腕神経叢の腹側の枝を観察</p> <p>第8回 腕神経叢の観察と記録1 背側と腹側から解放した腋窩において腕神経叢を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第9回 腕神経叢の観察と記録2 背側と腹側から解放した腋窩において腕神経叢を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第10回 観察記録報告会 グループごとに記録したスケッチを用いて、観察結果を報告し、議論を行う。</p> <p>第11回 人体解剖実習見学1 ヒトを対象とする解剖実習を見学</p> <p>第12回 人体解剖実習見学2 ヒトを対象とする解剖実習を見学</p> <p>第13回 中枢神経系の解剖1 固有背筋を解剖して脊柱管を露出させた後、椎弓を切除して脊髄を背側から観察する。</p> <p>第14回 脊髄の観察と記録 背側から解放した脊柱管において脊髄を観察し、スケッチとして記録</p> <p>第15回 中枢神経系の解剖2 脳頭蓋を切断し、脳と脊髄を一括摘出の後、中枢神経系を観察</p>	<p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p> <p>後藤 遼佑</p>
科目の目的	ヒトの骨模型のスケッチ、ブタ胎児標本の肉眼解剖を通して、講義で習得した知識を統合し、人体構造を三次元的に正確に理解する。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	(1) 四肢体幹骨の構造と各部の名称を説明できる。 (2) 腕神経叢の構造を説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学	
成績評価方法・基準	定期試験40%、小テスト40%、提出課題20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」の該当箇所を精読すること。一時間程度をかけて、授業前の予習と授業後の復習をすること。	
教科書・参考書	教科書1: 「標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学」野村嗟ほか (医学書院) 教科書2: 「ネッター解剖学アトラス」相磯貞和訳 (南江堂)	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前の連絡によって随時対応する。	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-1-A~D	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実習としてブタの胎仔標本解剖を行う。各標本の腕神経叢の構造を調査し、観察成果をプレゼンテーションする。プレゼンテーションにおいては質疑応答を通して双方向型のディスカッションを	

行う。

講義科目名称： 生理学 I

授業コード： 10045

英文科目名称： Physiology I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 ガイダンス 生理学の基礎の基礎 生理学講義を受講するにあたって 細胞・組織・器官 第2・3回 神経の基本的機能 神経細胞の形態、興奮伝導、興奮伝達 第4・5回 筋肉の基本的機能 筋細胞の形態と興奮、骨格筋の収縮 第6-8回 神経系の機能 末梢神経系(体性神経系、自律神経系)、中枢神経系、運動機能の調節 第9-12回 感覚の生理学 様々な感覚の受容と知覚のメカニズム 第13-15回 睡眠・記憶・情動 脳の高次機能	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー： 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2+期末テストの点数×0.8 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ 人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-A~F	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 生理学Ⅱ

授業コード： 10046

英文科目名称： Physiology II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1・2回 内分泌系の機能 ホルモンの一般的特徴、内分泌器官の機能 第3-5回 循環の生理学 心臓血管系の基本構造と機能、調節 第6・7回 呼吸の生理学 呼吸器系基本構造と機能、調節 第8・9回 尿の生成と排泄および体液とその調節 腎臓の構造と機能、調整、尿生成、蓄尿と排尿、体液の恒常性を維持する仕組み 第10・11回 消化と吸収 消化管の基本構造と機能、調節 第12・13回 血液の生理学 血液の組成とその機能 第14・15回 体温とその調節 体温の意義とその調節メカニズム	洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘 洞口 貴弘
科目の目的	人体の各部分の構造と機能を学び、医療職に必要な基礎知識を身につける(ディプロマポリシー： 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】)	
到達目標	選択肢の中から、正しい人体の機能や、それを生み出すしくみを選ぶことができる	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、生化学	
成績評価方法・基準	講義題目毎に課題を行う(解答・解説はAAにて行う) 課題の平均点×0.2+期末テストの点数×0.8 で最終的な成績を決定する	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業内容および課題や期末テストの内容は、指定した教科書に準ずる そのため、指定した教科書を中心とした予習・復習が単位認定のカギとなる(約2時間)	
教科書・参考書	教科書：「シンプル生理学 第8版」貴邑富久子、根木英雄(南江堂) 参考書：「標準生理学」(医学書院) 「人体の正常構造と機能」(日本医事新報社) 「トートラ人体の構造と機能」(丸善) 他	
オフィス・アワー	講義実施日の18:00~19:00	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-I-2-G~J, ≪専門基礎≫-I-2-K-a~e	
履修条件・履修上の注意	15コマ講義なので、5回の欠席で履修放棄となるので注意	
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない	

講義科目名称： 生理学実習

授業コード： 10047

英文科目名称： Practice in Physiology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
洞口 貴弘	近藤 健		

授業形態	実習		担当者
授業計画	第1-2回	木村博一教授によるバイオセーフティの講義およびガイダンス 生理学実習履修にあたっての諸注意 レポートの書き方 統計処理法を学ぶ	洞口 貴弘、近藤 健
	第3-4回	浸透圧 卵半透膜を使用し、浸透圧を理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第5-6回	血圧 血圧を測定し、そのメカニズムを理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第7-8回	血糖値とその変化 糖質を摂食し、血糖値制御のメカニズムについて理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第9-10回	心電図 標準肢誘導により心電図を記録し、心臓の活動電位について理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、近藤 健
	第11-12回	表面筋電図 荷重負荷時の筋電図を記録し、筋の収縮メカニズムについて理解するとともに、電気生理学機器について習熟する	洞口 貴弘、近藤 健
	第13-14回	ストレス反応 ストレス負荷をかけた際の生体反応を計測し、その発生メカニズムを理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第15-16回	記録電極と刺激電極の極性の違いによる活動電位の向きと神経の興奮性 尺骨神経を刺激して誘発される筋電図を用い、刺激電極と記録電極の極性を変えることで、刺激により得られる波形にどのような違いが生じるかを理解するとともに、刺激装置について習熟する	洞口 貴弘、近藤 健
	第17-18回	尺骨神経の運動神経伝導速度 尺骨神経を2箇所刺激して誘発される2種類の筋電図を用い、神経の伝導速度およびその測定のメカニズムを理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第19-20回	神経の興奮と伝導 カエル神経標本を作製・刺激し、神経の興奮とその伝導メカニズムを理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第21-22回	骨格筋の収縮 カエル神経筋標本を作成・刺激し、骨格筋の収縮メカニズムを理解する	洞口 貴弘、近藤 健
	第23-24回	誘発筋電図 ヒト脛骨神経を刺激して下腿三頭筋の筋電図を誘発し、中枢および末梢神経系と筋を理解する	洞口 貴弘、近藤 健
科目の目的	生理学の講義で学習した人体の機能について実際に確認し、理解を深める(ディプロマポリシー【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】に相当)		
到達目標	種々の生理学機能測定器具を用い、人体の機能に関するデータの収集し、判読できるようになる 生理学の講義で得られた知識をもとに、判読した結果のメカニズムを類推することができるようになる 得られたデータを他者に分かりやすく報告することができるようになる		
関連科目	生理学 I・II、運動器解剖学、臓器解剖学		
成績評価方法・基準	期末テスト65%、レポート35%(実習内でフィードバックする) で最終成績を算出する		
準備学習の内容・	既に履修済みである、生理学I、IIの復習(約1時間)		

準備学習に必要な学習時間の目安	
教科書・参考書	教科書：特に無し 参考書：「シンプル生理学」（南江堂） 「標準生理学」（医学書院） 「人体の正常構造と機能」（日本医事新報社） 他
オフィス・アワー	実施日の18：00～19：00
国家試験出題基準	《専門基礎》- I -2-B, 《専門基礎》- I -2-C-a～b, 《専門基礎》- I -2-D, 《専門基礎》- I -2-G～I
履修条件・履修上の注意	行われる実習内容を理解するために、実習書には1年次に学んだ生理学の内容を問う課題が記載されている。 また実習書には、行われた実習において、なぜそのような結果になったのかを理解するための課題が記載されている。 それらの量は、決して少なくなく、さらに、期末試験ではそれらの正解が理解できていたら解ける問題が出題される。 そのため、あらかじめ実習書に目を通し、課題を遂行することが、単位取得のカギとなる。
アクティブ・ラーニングの実施	実施しない

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
高橋 正明			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 身体運動成り立ちの原則1 運動学総論 運動学を学ぶ心構え 身体運動の機能-構造学 進化から見た人の運動の特異性 関節運動の基本原則 基本面上の回転運動と名称 運動軸と運動自由度 剛体と分節構造の違い 分節構造による運動連鎖	高橋正明
	第2回 身体運動成り立ちの原則2 運動器の機能解剖 骨・関節の機能解剖 骨の構成成分と基本構造 関節の分類と運動自由度 関節の構造 関節包内運動 筋の機能解剖 動筋と拮抗筋 収縮様式 筋張力vs筋長, 収縮速度 共同運動 最大張力と筋断面積	高橋正明
	第3回 身体運動成り立ちの原則3 生体力学の基礎 運動法則 重力とバランス 力のモーメント テコの原理と人体のテコ 共同運動 リンク構造の運動学 二関節の役割	高橋正明
	第4回 肩甲帯・肩の運動1 肩の可動域と肩複合体を構成する5関節 肩の進化 肩甲帯の役割 滑膜性関節と機能的関節 各関節の特徴と役割 肩複合体での各関節の役割	高橋正明
	第5回 肩甲帯・肩の運動2 筋の基本的役割 各筋の基本的役割と肩複合体での機能(回旋筋腱板, 偶力としての働き) 肩甲上腕リズム	高橋正明
	第6回 肩甲帯・肩の運動3 動作における筋の役割(まとめ) 肘・前腕の運動1 運動と可動域 日常生活での筋の働き 肘関節・橈尺関節の特徴およびその動き	高橋正明
	第7回 肘・前腕の運動2 肘関節の機能-構造 肩と肘・前腕の小テスト 肘関節及び上・下橈尺関節の構造と機能 クランクカーブ 肘と前腕に働く筋 骨間膜の役割 運搬角と回内優位	高橋正明
	第8回 肘・前腕の運動3 2種類矛盾 解剖学での回旋運動軸 shunt muscleとspurt muscle, 屈筋群間の役割の違い 2関節筋の役割	高橋正明
	第9回 手関節・手の運動1 手関節の機能-構造 手関節の構造と機能の特徴 TFCC 関節の緩み	高橋正明
	第10回 手関節・手の運動2 指・手関節の運動 手根管 手掌腱膜の役割 腱鞘 外来筋・手内筋の運動 共同運動 指背腱膜と指の伸展運動	高橋正明
	第11回 手関節・手の運動3 母指の運動 母指対立運動のメカニズム 手のアーチ ユニットとしての手	高橋正明
	第12回 頸部・体幹の運動1 脊柱の成り立ち 脊柱の進化 脊椎の構造と機能 関節円板の形態と役割 脊椎の12方向への動き	高橋正明
	第13回 頸部・体幹の運動2 脊柱に作用する筋 脊柱起立筋と短背筋群、他	高橋正明
	第14回 頸部・体幹の運動3 胸部の働き 呼吸運動 肩甲帯の安定化 上肢とのつながり 腹筋群のはたらき	高橋正明
	第15回 筋の機能解剖 機能解剖知識の確認 骨格筋の構造 筋の形状による分類 筋収縮の様態 最大張力と断面積 筋の粘性と弾性 共同筋 二関節筋の機能	高橋正明
科目の目的	身体運動を機能-構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身や他人の関節運動を機能-構造的見方で説明することができる。これらの能力はディプロマポリシーに示された【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社	

	会に貢献する能力】を高めるのに役に立つ。
到達目標	身体運動を機能－構造の視点から分析するのに必要となる基本的な知識や概念を学び、自分自身や他人の関節運動を機能－構造的見方で説明することができる。
関連科目	運動器解剖学 臓器解剖学 解剖学演習 生理学Ⅰ・Ⅱ 生理学実習 運動学実習 リハビリテーション医学 生体計測身体障害の作業療法 身体障害の作業療法実習 日常生活活動学 日常生活活動学実習 義肢装具学
成績評価方法・基準	関節の機能解剖学的知識習得を確認するために小テストを2回行う(60%)。定期試験として運動の基本的原則を含む全範囲から出題する試験を行う(40%)。総合得点が60点以上を合格とする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	運動学は応用科学であるため、四肢体幹の解剖学の基礎知識を前提に授業を進める。該当部分を解剖学の教科書で確認しておくこと。30分～45分の準備学習が必要。
教科書・参考書	教科書 「標準理学療法学・作業療法学 運動学」高橋正明編 (医学書院) 参考書 「基礎運動学 第6版補訂」中村隆一, 他著(医歯薬出版)
オフィス・アワー	火曜日12:10～12:50、 金曜日12:10～12:50
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅰ-3-A～F
履修条件・履修上の注意	解剖学で学んだ専門用語の知識は知っているものとして授業を進めるため、それらを教科書で確認しておくこと。
アクティブ・ラーニングの実施	作成した1軸、2軸、3軸関節のモデルを操作してそれぞれの特徴を分析する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡崎 大資	近藤 健	石代 敏拓	

授業形態	実習14回・講義10回		担当者
授業計画	1. 講義	下肢の運動機能（骨盤・股関節1）	岡崎 近藤 石代
	2. 講義	下肢の運動機能（骨盤・股関節2）	岡崎 近藤 石代
	3. 講義	下肢の運動機能（膝関節1）	岡崎 近藤 石代
	4. 講義	下肢の運動機能（膝関節2）	岡崎 近藤 石代
	5. 講義	下肢の運動機能（足関節）	岡崎 近藤 石代
	6. 講義	身体バランスの運動学	岡崎 近藤 石代
	7. 講義	身体重心の運動学	岡崎 近藤 石代
	8. 講義	姿勢・動作の運動学	岡崎 近藤 石代
	9. 講義	歩行の運動学的基礎	岡崎 近藤 石代
	10. 講義	運動学習過程の理解	岡崎 近藤 石代
	11. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション1	岡崎 近藤 石代
	12. 実習	重心位置の測定 オリエンテーション2	岡崎 近藤 石代
	13. 実習	ランドマークを基準とした立位姿勢アライメントの計測	岡崎 近藤 石代
	14. 実習	重心動揺計を用いた重心線の測定	岡崎 近藤 石代
	15. 実習	セグメント法に基づく身体重心計測	岡崎 近藤 石代
	16. 実習	てこを用いた身体重心の位置の推定	岡崎 近藤 石代
	17. 実習	筋電計・筋収縮様式測定のアライメント	岡崎 近藤 石代
	18. 実習	運動学習のアライメント	岡崎 近藤 石代
	19. 実習	筋電計を用いた動作分析（1） 筋電計を用いた筋収縮様式の計測	岡崎 近藤 石代
	20. 実習	筋電計を用いた動作分析（2） 筋電図処理方法の実習	岡崎 近藤 石代
	21. 実習	運動学習過程の理解と測定（1） 箸を使った運動学習の測定	岡崎 近藤 石代
	22. 実習	運動学習過程の理解と測定（2） 学習の転移の検討	岡崎 近藤 石代
	23. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（1） 等尺性・等速性筋収縮様式を理解し、関節モーメントを測定	岡崎 近藤 石代
	24. 実習	筋収縮様式の理解と関節モーメント（2） 環境操作に伴う、関節モーメントの相違の検討	岡崎 近藤 石代
科目の目的	<p>(1) レポートを作成するために必要な単位や数値のまとめ方、レポートの構成や体裁などを学び、身体動作を運動としてとらえる視点と定量的にとらえるということを学ぶ。</p> <p>(2) 身体重心の位置や重心動揺、姿勢保持時の各肢節間のアライメントの測定など自分自身を対象とした測定実習を行い、基本的姿勢と動作について力学的理解を深める。</p> <p>(3) 運動や動作を解析する各種手法についてグループで実習し、運動学における分析法を修得する。</p> <p>【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>		
到達目標	<p>(1) 人の運動・動作を分析し、運動学的用語を用いた記述ができる。</p> <p>(2) 運動学的分析方法を習得し得られた結果より臨床的意義について理解を深める。</p> <p>(3) 実習内容を客観的に記述したレポート作成できる。</p>		

関連科目	運動学、運動器解剖学、臓器解剖学、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ
成績評価方法・基準	実習レポート（50％） 小テスト（10％） 定期テスト（40％）
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習：運動学で学んだ内容の復習と実習の手引き、実習書を熟読のうえ各実習単元にて行う内容を理解した状態で授業に臨むこと。（20分程度）
教科書・参考書	教科書：指定しない。 運動学実習の手引き、実習書を各自に配布する。 参考書：基礎運動学（第6版）中村隆一．医歯薬出版
オフィス・アワー	各教員 木曜日12：10-13：00
国家試験出題基準	《専門基礎》- I-3-B-b~d, 《専門基礎》- I-3-C~F
履修条件・履修上の注意	運動学・解剖学・生理学等で学んだ知識をリンクさせ各計測・分析を実施するため、基礎知識の予習が必要である。 講義開始前に実習書を熟読し、スムーズな実習を行えるように準備をすること。また、実習を中心とした授業であるため、受け身ではなく自ら学ぼうとする態度で受講すること。積極的な授業への参加を望む。 実習レポートの成績が不良の者は再提出を課す場合がある。原則として遅刻・欠席は認めない。
アクティブ・ラーニングの実施	14回の実習では、グループに分かれ実習書を参考に能動的に実験実習（グループワーク）を実施する。

講義科目名称： 生化学

授業コード： 10050

英文科目名称： Biochemistry

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 鮎子			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 生化学を学ぶための基礎 生化学を学ぶための基礎知識と各種生体構成成分の概要	木村 鮎子
	第2回 糖質 1 糖質の構造と分類(単糖, 二糖, 多糖), 糖代謝の概要	木村 鮎子
	第3回 糖質 2 各種糖代謝経路(解糖系, TCA回路, 糖新生, グリコーゲンの合成と分解など), 糖代謝異常	木村 鮎子
	第4回 脂質 脂質の構造(中性脂肪, 脂肪酸, コレステロール, リン脂質, リポタンパク質), 脂質代謝(脂肪酸の生合成と β 酸化, コレステロールの合成・輸送・蓄積), 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第5回 タンパク質とアミノ酸 各アミノ酸の性質とタンパク質の機能, アミノ酸代謝, 脂質代謝異常	木村 鮎子
	第6回 核酸 核酸の構造, 遺伝子の働きと変異, 核酸の代謝, 核酸代謝異常	木村 鮎子
	第7回 ホルモン 各種ホルモンの構造と分泌器官, ホルモンによる生体調節機構と疾患との関係	木村 鮎子
	第8回 ビタミン, ミネラル ビタミンの構造・性質と生理機能(補酵素, 遺伝子発現調節など), およびビタミン欠乏症, ミネラルの分類(多量・微量ミネラル)と生理機能	木村 鮎子
科目の目的	生体物質の構造, 機能とその代謝を学び, 病態に対する生化学の基礎知識を習得する。【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】	
到達目標	1. 糖質とその代謝, 脂質とその代謝, タンパク質とその分解, アミノ酸代謝, 核酸とその代謝, 生体エネルギーについて, 生合成や代謝の過程が理解できること。 2. 生体内でのビタミン, ホルモン, ミネラルの役割が理解できること。	
関連科目	化学基礎, 生物学基礎, 生理学, 薬理学	
成績評価方法・基準	定期試験(100%)により評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容が理解できるよう, 事前に教科書を30分程読んでおく。	
教科書・参考書	教科書: 指定する教科書は無い。講義ごとに資料を適宜配布する。 参考書: 栄養科学シリーズ NEXT 生化学(講談社)加藤 秀夫・中坊 幸弘 編 栄養科学イラストレイテッド生化学 改定第3版(羊土社) 藺田 勝 編	
オフィス・アワー	講義終了後に質問を受ける。個別の相談は, 事前連絡(ay-kimura@paz.ac.jp)によって随時対応する。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-I-2-N, 《専門基礎》-I-2-0-a, 《専門基礎》-II-3-A	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	なし	

講義科目名称： 人間発達学

授業コード： 10051

英文科目名称： Human Development

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態	講義, 演習	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション (小児の作業療法について)	吉岡 和哉
	第2回 定型発達, 運動発達① (姿勢反射/反応について, 0~3ヵ月児の発達について)	吉岡 和哉
	第3回 運動発達② (4~6ヵ月・7~9ヵ月児の発達について)	吉岡 和哉
	第4回 運動発達③ (10~12ヵ月・13~18ヵ月児の発達について) レポート課題あり (運動発達①②③について)	吉岡 和哉
	第5回 幼児の発達 (姿勢反射/反応と6歳までの発達, 上肢機能の発達について)	吉岡 和哉
	第6回 生活スキル, 社会生の発達 (ADLの発達, 感覚・知覚・認知・社会生の発達について)	吉岡 和哉
	第7回 学童・青年・成人・老年期の発達, 発達検査 (心理社会的発達について) レポート課題あり (発達検査について)	吉岡 和哉
	第8回 定型発達について	吉岡 和哉
科目の目的	発達領域の作業療法士において, 子どもや保護者の作業を理解し支援することが求められる. その支援のために, 子どもの発達 (成長) 段階を理解し把握したうえで支援を行うことが求められる. その為, この人間発達学では, 発達に関する基本的な知識を学習する. 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 人間発達について理解し説明することができる. 2. 姿勢反射/反応と運動発達を関連付けで理解し説明することができる. 3. 運動やADLの発達について説明することができる. 4. ライフステージに合った発達を理解し説明することができる.	
関連科目	発達領域の作業療法学, 発達領域の作業療法学演習	
成績評価方法・基準	筆記試験 (70%) レポート課題 (20%) : レポートはActiveAcademyまたは口頭でフィードバックする予定である. ポートフォリオ (10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う. 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ辺り2時間とする.	
教科書・参考書	教科書: イラストでわかる人間発達学, 上杉雅之他, 医歯薬出版株式会社 参考書: 発達を学ぶ, 森岡 周, 協同医書出版社	
オフィス・アワー	授業実施日の18時まで	
国家試験出題基準	《 専門基礎 》- I -4-A~B	
履修条件・履修上の注意	動ける服装が必要な回もあるため初回授業時に説明します (ジャージ等の準備をお願いします).	
アクティブ・ラーニングの実施	体験学習, グループワーク	

講義科目名称： 生涯発達心理学

授業コード： 10052

英文科目名称： Life-span Developmental Psychology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	選択
担当教員	担当者		
齊藤 吉人			

授業形態	講義15回 毎回の授業の最後に授業の「まとめ」を提出する。		担当者
授業計画	第1回	ヒトとは 直立二足歩行の意義・二足歩行からもたらされたヒト特有の疾患・ヒトの6大特徴	齊藤吉人
	第2回	生涯発達 発達の定義・人の生涯に影響を与える3つの要因・2025年問題・平均寿命と健康寿命の差・人間発達期の区分・成長・発達・成熟・発育の原則	齊藤吉人
	第3回	胎芽・胎児期 受精卵期・胎芽期・胎児期	齊藤吉人
	第4回	乳児期 ピアジェの認知構造・乳児実験における観察法・エリクソンのライフサイクル・コミュニケーションの発達段階・アタッチメント	齊藤吉人
	第5回	幼児期前期 粗大運動の発達・微細運動の発達・社会性・言語の発達・エリクソンの発達図式・児童虐待	齊藤吉人
	第6回	幼児期後期 粗大運動の発達・微細運動の発達・自己中心性・こころの理論・社会的遊びの発達の分類	齊藤吉人
	第7回	学童期 勤勉性と劣等感・脱中心化・向社会性	齊藤吉人
	第8回	青年期前期 思春期と青年期・自我同一性・モラトリアム・自己受容・エゴグラム性格診断テスト	齊藤吉人
	第9回	青年期後期 自我同一性・アイデンティティ・ステータス・マージナル・マン・ピーター・パン・シンδροーム・シンデレラ・コンプレックス・合理的配慮・トランスジェンダー	齊藤吉人
	第10回	成人期前期 親密性と孤独・職業的アイデンティティ・仁術・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・ニート・人口置き換え水準	齊藤吉人
	第11回	成人期中期 世代性と停滞・コーピング・スタイル・M字カーブ・3歳児神話	齊藤吉人
	第12回	成人期後期 成熟期・同一性再確立・自己肯定感・熟年の自殺	齊藤吉人
	第13回	高齢期 統合と絶望・結晶性知能と流動性知能・人格の尖鋭化・サクセスフル・エイジング・プロダクティブ・エイジング・ロコモティブ症候群・サルコペニア・フレイル・地域包括ケア	齊藤吉人
	第14回	発達理論 単一要因説・生得説・経験説・双生児統制法・成熟優位説・レディネス・反射階層理論・行動主義心理学・輻輳説・相互作用説・横断研究・縦断研究・非線形打ち消し効果	齊藤吉人
	第15回	発達理論 複雑系科学・創発・ゲシュタルト心理学・最近接発達領域	齊藤吉人
科目の目的	人間を生涯にわたり発達する存在としてとらえ、生命の誕生から小児期、青年期、成人期(老年期)を経て死に至るまでの量的・質的变化について学ぶ。ディプロマポリシー：【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	人間の発達、受胎、胎生期、新生児期、乳幼児期、児童期、青年期、成人期、老人期、死というライフステージに分けられる。障害のある人への支援を行う専門職には、そうしたライフステージの特徴を踏まえつつ、支援を行うことが求められている。ライフステージの各時期に発現する行動を広く、深く理解し、各時期に生じやすい発達上あるいは健康上の課題を説明できることを目標とする。		
関連科目	臨床心理学, 学習・認知心理学, 心理測定法		

成績評価方法・基準	評価点＝毎回提出する「まとめ」（1点×15回＝15%）＋定期試験成績（85%）。100点満点換算で60点以上を合格とし単位を与える。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業後に配布される「標準的まとめ」を復習する（各回45分程度）。
教科書・参考書	参考書：鈴木光太郎著：ヒトの心はどう進化したのかー狩猟採集生活が生んだもの, 筑摩書房, 2013
オフィス・アワー	月～金の昼休み
国家試験出題基準	《専門基礎》- I-4-A～B
履修条件・履修上の注意	1回の「まとめ」の提出に対し1点が与えられる。ただし、正答が60%を超えない場合、「まとめ」とは認めない。毎回の授業終了後、「標準的まとめ」をActive Academyにて配信する。定期試験は「標準的まとめ」から出題される。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
実務経験のある教員による授業	
実務経験	齊藤 吉人（言語聴覚士）
授業の概要	人の受胎から老衰・死に至るまでの生涯にわたる心身の発達についての学問である。発達を子どもの成長だけではなく、老化の過程も含めて最新の知見を学習する。連続性のある発達、文脈的・相互的視点、発達のための環境のコントロールという視点から人を理解することを学ぶ。

講義科目名称：薬理学

授業コード：10057

英文科目名称：Pharmacology

対象カリキュラム：2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 薬理学とは 薬理学の基本知識。薬物治療に影響を与える因子。	栗田昌裕
	第2回 薬物動態 投与経路と薬の吸収、分布、代謝、排泄。	栗田昌裕
	第3回 麻酔薬と中枢興奮薬 全身麻酔薬。局所麻酔薬。中枢興奮薬。	栗田昌裕
	第4回 解熱鎮痛薬・抗炎症薬と麻薬 解熱鎮痛薬・抗炎症薬。麻薬性鎮痛薬・麻薬拮抗性鎮痛薬。	栗田昌裕
	第5回 向精神薬と抗痙攣薬 向精神薬。抗痙攣薬（抗てんかん薬）。	栗田昌裕
	筋弛緩薬と抗パーキンソン薬 筋弛緩薬の作用と応用。パーキンソン症候群の理解と抗パーキンソン薬の作用。	栗田昌裕
	第6回 自律神経薬 自律神経の基礎知識。コリン作動薬とコリン作動性効果遮断薬。アドレナリン作動薬とアドレナリン遮断薬。	栗田昌裕
	第7回 オータコイド オータコイドの種類とその作用。プロスタグランジンの臨床応用。	栗田昌裕
第8回 強心薬 強心薬（ジギタリス）の投与法。ジギタリスの副作用とその対策。	栗田昌裕	
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「知識・理解」の項目の「保健医療専門職としての基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要とされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の中に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。	
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-3-B	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。	
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず	

講義科目名称： 臨床薬学

授業コード： 10058

英文科目名称： Clinical Pharmacy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	選択
担当教員	担当者		
栗田 昌裕			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 抗狭心症薬と抗不整脈薬 狭心症治療薬の作用と投与方法、不整脈の分類と治療、抗不整脈薬の種類。	栗田昌裕
	第2回 利尿薬と降圧薬 利尿薬、利尿薬の臨床的応用、降圧薬、抗動脈硬化薬。	栗田昌裕
	第3回 消化器病薬と駆虫薬 消化性潰瘍治療薬、健胃・消化薬、消化管運動促進薬、 制吐薬、下痢と止痢薬、潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬、駆虫薬。	栗田昌裕
	第4回 呼吸器病薬 呼吸器病薬、抗結核薬。	栗田昌裕
	第5回 内分泌薬 下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・糖尿病治療薬、 副腎皮質ホルモン・男性ホルモン・生殖系内分泌薬。	栗田昌裕
	第6回 血液病薬と抗癌薬 貧血の薬、止血薬、抗血栓療法薬、 抗癌薬の開発と化学療法、抗癌薬の副作用と組み合わせ。	栗田昌裕
	第7回 化学療法薬と免疫療法薬 化学療法薬、抗ウイルス剤、免疫について、免疫療法。	栗田昌裕
	第8回 消毒薬 滅菌・消毒法、消毒薬の濃度と殺菌速度。	栗田昌裕
科目の目的	ディプロマ・ポリシーとの関連では、「知識・理解」の項目の「保健医療専門職としての基本的知識」を得ることを目的とする科目である。具体的には、医療の中で投薬（服薬、注射、輸液、外用など）の役割は大きい。そこで、医療に携わる者は「薬物の種類とその作用に関する基本的な知識」を持ち、しかもそれに「的確な理解」が伴っている必要がある。薬理学概論ではそれらを見通しよく学習する。具体的にはその内容は以下の通りである。1) 薬理学の役割、構成、新薬の開発、医薬品の歴史、など薬理学の基本的知識を学ぶ。2) 薬物治療に影響を与える因子として、生体側、薬物側の因子を学び、副作用に関しても学ぶ。3) 薬の生体内運命と薬効との関係を学ぶ。ここでは、投与経路と吸収、分布・代謝・排泄に関して学ぶ。4) 薬物の種類と作用メカニズムの概略を系統的に学ぶ。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	薬物動態に関する基本的知識を得ること、薬物の作用機序による分類を知ること、主要な薬剤の適用に関する基礎的知識を持つこと、禁忌に関して学ぶこと。以上に関して、理学療法の実践に必要とされるレベルに到達することを目標とする。	
関連科目	生理学Ⅰ・Ⅱ、生化学	
成績評価方法・基準	試験（100％）。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	短期間の間に広範な内容を学ぶことになるので、毎回の講義で学んだことをよく復習することが望ましい。その際に、これまでに学んだ疾患に関する知識をよく思い出し、関連付けを明確にしておこう。それが次回の内容を受け入れやすくなり、準備学習を兼ねることになる。復習時間は約1時間。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病の成り立ちと回復の促進3」（医学書院）。	
オフィス・アワー	火曜日の昼休み。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-3-B	
履修条件・履修上の注意	Active Academyにより資料を事前配布します。配布期間は「授業前日から授業日まで」。持参方法は「各自印刷して授業に持参すること」。	
アクティブ・ラーニングの実施	施行せず	

講義科目名称： 公衆衛生学

授業コード： 10059

英文科目名称： Public Health

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
木村 博一	木村 朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 公衆衛生学総論・新型コロナウイルス感染症の概要 公衆衛生学・新型コロナウイルス感染症の概要について講義する。</p> <p>第2回 感染症疫学総論 感染症疫学について概説する。</p> <p>第3回 感染症各論 結核、エイズならびに新興再興感染症について概説する。</p> <p>第4回 疫学総論（集団の健康と疾病の概念） 疫学概要、記述疫学、分析疫学ならびにコホート研究について概説する。</p> <p>第5回 疫学各論（疫学の方法） 系統誤差・偶発誤差、因果関係論ならびに保健統計について概説する。</p> <p>第6回 生活習慣病総論（ライフスタイルと健康） NCDの概要、動脈硬化性疾患、予防ならびに健康教育について概説する。</p> <p>第7回 親子保健（発達・成長と健康） 親子保健（発達・成長と健康）の概要と課題について概説する。</p> <p>第8回 労働衛生・産業保健の概要 社会・環境と健康の概要と課題について概説する。</p> <p>第9回 健康危機管理（1） 食品衛生・食の安全について概説する。</p> <p>第10回 健康危機管理（2） 感染症発生時や災害時の対応について概説する。</p> <p>第11回 院内感染対策概説 院内感染の現状と対策について概説する。</p> <p>第12回 成人・精神保健概説 精神保健や自殺対策について概説する。</p> <p>第13回 生活環境・環境と健康・地球温暖化 生活環境・環境と健康・地球温暖化などの諸問題について概説する。</p> <p>第14回 保健医療行政概説 地域包括ケアシステムを含む保健医療行政について概説する。</p> <p>第15回 がんの統計と疫学 がん対策・がん登録について概説する。</p>	<p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村博一</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p> <p>木村 朗</p>
科目の目的	健康及び公衆衛生の基本的概念を学習する。各種疾患対策、環境対策と統計、疫学、健康教育、試験検査が織りなす総合科学であり、活動であることを理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活者の健康の保持・増進を目的とする公衆衛生活動を理解する。 2. 公衆衛生活動は、政治、経済、社会の動向と密接に関連していることを理解し、広い視野を養う。 3. 公衆衛生活動の基礎的技法として、集団からアプローチする疫学、保健統計、地域組織活動等を理解する。 	
関連科目	生命倫理、環境学、情報処理、作業療法学概論	
成績評価方法・基準	定期試験（期末試験）100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	準備学習に必要な学習時間の目安 1コマあたり2時間	
教科書・参考書	<p>【教科書】 「社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年版」柳川 洋、尾島 俊之 編集（医歯薬出版）</p> <p>【教科書】 実践身体活動学、木村 朗、（三共出版） 初めて学ぶやさしい疫学 日本疫学会標準テキスト（南江堂）</p>	
オフィス・アワー	講義の前後に質問を受け付ける（木村博一・木村朗） e-mail（木村博一）：h-kimura@paz.ac.jp；木村朗：a-kimura@paz.ac.jp e-mail（木村朗）：a-kimura@paz.ac.jp	
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-3-F, 《専門基礎》-II-4-A-c, 《専門基礎》-1-A-h, 《専門基礎》-III-1-B	
履修条件・履修上の注意		

アクティブ・ラーニングの実施	課題を提示するので、それまでに学習した内容を駆使して各自回答を仕上げるセッションを設ける。
----------------	---

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
三浦 佑介	加藤 英樹	小池 正行	今尾 仁

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 臨床検査学総論 臨床検査の必要性	三浦 佑介
	第2回 検体検査 (1) 一般検査の種類と実際	三浦 佑介
	第3回 検体検査 (2) 臨床血液検査の種類と実際	三浦 佑介
	第4回 検体検査 (3) 臨床化学検査の種類と実際	三浦 佑介
	第5回 検体検査 (4) 免疫検査・ホルモン検査の種類と実際	三浦 佑介
	第6回 検体検査 (5) 感染症検査・病理検査の種類と実際	三浦 佑介
	第7回 生体検査 (1) 心電図検査の測定の意義	三浦 佑介
	第8回 生体検査 (2) 呼吸機能検査・脳波検査の意義	三浦 佑介
	第9回 画像診断学総論	加藤 英樹
	第10回 頭部の画像診断	加藤 英樹
	第11回 胸部の画像診断 1 肺	加藤 英樹
	第12回 胸部の画像診断 2 心臓・大血管	小池 正行
	第13回 骨・関節の画像診断 (脊椎・脊髄を含む)	小池 正行
	第14回 肝胆膵の画像診断 (消化管を含む)	今尾 仁
	第15回 泌尿器・生殖器の画像診断	今尾 仁
科目の目的	多様な病気の正確な診断に、臨床検査・画像診断学は欠かせないものとなっている。特に生体検査として、X線、CT、MRI、超音波検査(US)、核医学(SPECT、PET)など多くの画像診断法が開発され、発展している。これらの画像検査によって正常解剖の理解が深まり、病気の発生による解剖学的異常や生体内の変化を目で見る事が出来るようになった。一方、血液、尿・便、喀痰等の検体検査の測定法も日々進化し、臨床判断に大いに寄与している。本科目を学習することにより、正常解剖・生理学を分かりやすく理解するとともに、病気の診断に臨床検査・画像診断がどのように利用されているか知ることを目的とする。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 血液検査など検体検査で何が判るか理解する。 2. 作業療法士として、臨床検査の重要性を十分把握する。 3. X線、CT、MRI、超音波検査 (US)、核医学検査 (SPECT) ・PETの原理を習得する。 4. 正常解剖画像、代表的な病気の典型的な画像を理解する。 5. 正確な病気の診断に画像診断がどのように利用されているか、その役割を理解する。	
関連科目	関連し合う教養科目－情報処理、生物学、化学、物理学 この科目が基盤となる専門基礎科目－解剖学Ⅰ・Ⅱ、生物学、生化学、病理学、薬理学、内科学、臨床医学関連領域論、小児科学	
成績評価方法・基準	定期試験 (100%) により成績を評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各回の授業内容について予習・復習を行い理解しておくこと。準備学習時間の目安は1時間程度とする。	
教科書・参考書	教科書：「画像診断コンパクトナビ」医学教育出版社 参考書：「系統看護学講座 別巻6 臨床検査」/大久保昭行 編 (医学書院)	
オフィス・アワー	三浦：講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前連絡によって随時対応する (miura@paz.ac.jp)。 加藤：講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前連絡によって随時対応する (h-katou@paz.ac.jp)。	

	小池：講義終了後に質問を受け付ける。 今尾：講義終了後に質問を受け付ける。個別の相談は事前連絡によって随時対応する (imao@paz.ac.jp)。
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-3-A
履修条件・履修上の注意	Active Academy Advanceにより資料を事前配付する。配布期間は前回授業翌日から一週間とし、PCにダウンロードして授業に持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 臨床医学関連領域論

授業コード： 10061

英文科目名称： Related Fields to Clinical Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真	正田 純史		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 外科領域 (1) 総論 外科領域の疾患と治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第2回 外科領域 (2) 胸部疾患 外科領域のうち胸部疾患とその治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第3回 外科領域 (3) 腹部疾患 外科領域のうち腹部疾患とその治療の概要について理解する。	宗宮 真
	第4回 感染症科・滅菌法・消毒法 感染症科領域における疾患と滅菌法・消毒法の概要について理解する。	正田 純史
	第5回 耳鼻咽喉科領域 耳鼻咽喉科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第6回 泌尿器科領域 泌尿器科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第7回 産婦人科領域 産婦人科領域における疾患を理解する。	正田 純史
	第8回 老年医学領域 高齢者に特徴的な症候と疾患について理解する。	宗宮 真
科目の目的	臨床医学のうち、外科、老年科（老年医学）、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法の概要について理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	臨床医学の各科（外科、老年科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科、感染症科・滅菌法・消毒法）で診る疾患の概要について理解し、説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ・Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、小児科学、リハビリテーション医学、救急・免疫・感染症学	
成績評価方法・基準	定期試験（90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり2時間（実時間数90分）の授業時間外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：各授業の際に適宜提示する。	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、宗宮真、場所：1号館6階研究室）、講義終了後（正田純史、場所：非常勤講師室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-3-C、《専門基礎》-Ⅱ-13-A-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-13-B-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-13-C-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-13-D-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-13-E-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-14-A-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-14-B-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-14-C-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-14-D-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-14-E-a～i、《専門基礎》-Ⅱ-15-A-a、《専門基礎》-Ⅱ-15-B-a、《専門基礎》-Ⅱ-15-C-a、《専門基礎》-Ⅱ-15-D-a、《専門基礎》-Ⅱ-15-E-a	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 内科学

授業コード： 10062

英文科目名称： Internal Medicine

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岩崎 俊晴			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 概論 1 ＜内科疾患の分類、薬物療法、食事療法＞内科疾患の分類、薬物療法の実際。薬物の作用、濃度。処方箋、医薬品に関する法令。薬用量。食事療法の目的。栄養と疾患の関係。各種病態と食事療法の基本方針。病院食とは。嚥下と栄養補給。</p> <p>第2回 概論 2 一般検査。血液検査。生化学検査。内分泌検査。感染症検査。免疫的検査。腫瘍マーカーとは。生理学的検査。画像検査。</p> <p>第3回 消化器疾患 1 消化器疾患の食事・栄養療法。口腔、食道、胃疾患、腸疾患。</p> <p>第4回 消化器疾患 2 肝、胆のう、膵臓疾患。腹膜疾患。急性腹症。</p> <p>第5回 呼吸器疾患 1 呼吸器疾患総論、感染性呼吸器疾患。気管支疾患。産業界呼吸器疾患。</p> <p>第6回 呼吸器疾患 2 間質性肺炎。COPD。肺腫瘍。肺循環障害。サルコイドーシス。</p> <p>第7回 アレルギー、自己免疫疾患。 アレルギーとは。アレルギー性鼻炎。気管支喘息。アレルギー性肺疾患。膠原病。</p> <p>第8回 循環器疾患 1 心不全。不整脈。</p> <p>第9回 循環器疾患 2 虚血性心疾患。弁膜症。心筋炎。リウマチ熱。</p> <p>第10回 循環器疾患 3 高血圧症。大動脈疾患。末梢動脈疾患。静脈・リンパ系の疾患。</p> <p>第11回 内分泌・代謝疾患 1 内分泌疾患の特徴。間脳、下垂体疾患。甲状腺、副甲状腺疾患、副腎疾患。</p> <p>第12回 内分泌・代謝疾患 2 糖代謝異常（糖尿病、低血糖）</p> <p>第13回 内分泌・代謝疾患 3 脂質代謝異常。尿酸代謝異常。その他の代謝異常。</p> <p>第14回 血液疾患 血液量の異常。脱水。貧血、多血症。血小板の異常。白血球の異常。</p> <p>第15回 内科学における遺伝性疾患。環境因子と内科疾患。 遺伝性疾患の形式。家族性高コレステロール血症について。公害病について。原発事故における健康被害。</p>	<p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p> <p>岩崎</p>
科目の目的	<p>臨床医学の中で内科学はすべての疾患を知る上で重要な学問である。特に、疾患の病理生理、診断、治療を学ぶことは臨床の現場で患者の状況を理解し、的確な判断に基づいて検査、治療を施す上で重要である。</p> <p>【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>疾病の病態生理、診断、治療を一連の流れの中で理解する力を養う。国家試験に役立つ疾患について理解を深め、実際の問題に対応できるようにする。</p>	
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、病理学、生理学Ⅰ・Ⅱ	
成績評価方法・基準	<p>試験とレポートの総合評価（レポート50%、ミニテスト50%） [2022.5.27 訂正]</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>毎回の講義内容をよく復習し、重要事項を頭に置いておくこと。講義前に授業資料に目を通し、どのような流れの授業なのかを把握しておくこと。授業内容を深く理解するためには30分以上の予習が必要である。</p>	
教科書・参考書	<p>参考書：「病気が見える」シリーズ 教科書なし</p>	
オフィス・アワー	<p>講義の後20分ほど学内に滞在している。講義した内容に質問があれば出席表を利用する。</p>	
国家試験出題基準	<p>＜専門基礎＞-Ⅱ-12-A-a～h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-B-a～h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-C-a～h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-D-a～h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-12-E-a～h, ＜専門基礎＞-Ⅱ-13-A-a～i, ＜専門基礎＞-Ⅱ-13-B-</p>	

	a～i, <<専門基礎>>-II-13-C-a～i, <<専門基礎>>-II-13-D-a～i, <<専門基礎>>-II-13-E-a～i, <<専門基礎>>-II-14-A-a, <<専門基礎>>-II-14-B-a, <<専門基礎>>-II-14-C-a, <<専門基礎>>-II-14-D-a, <<専門基礎>>-II-14-E-a
履修条件・履修上の注意	特になし。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 整形外科学

授業コード： 10063

英文科目名称： Orthopedics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 整形外科総論 運動器の基礎知識(基本構造と機能)と評価・診察・検査・治療について学ぶ。 第2回 整形外科疾患総論1 骨関節・軟部組織の感染症、関節リウマチとその類縁疾患について学ぶ。 第3回 整形外科疾患総論2 退行性疾患、代謝・内分泌性疾患について学ぶ。 第4回 整形外科疾患総論3 骨・軟部腫瘍、先天性骨系統疾患、循環障害と阻血壊死性疾患について学ぶ。 第5回 外傷性疾患1 骨折・脱臼の分類、症状、診断、治療、合併症について学ぶ。 第6回 外傷性疾患2 上肢・体幹の骨折について学ぶ。 第7回 外傷性疾患3 下肢の骨折について学ぶ。 第8回 外傷性疾患4 脊髄損傷について学ぶ。 第9回 外傷性疾患5 末梢神経損傷について学ぶ。 第10回 整形外科疾患各論1 頸椎疾患について学ぶ。 第11回 整形外科疾患各論2 胸椎疾患・腰椎疾患について学ぶ。 第12回 整形外科疾患各論3 股関節疾患について学ぶ。 第13回 整形外科疾患各論4 膝関節疾患・足関節疾患について学ぶ。 第14回 整形外科疾患各論5 肩関節疾患について学ぶ。 第15回 整形外科疾患各論6 肘関節疾患・手関節と手の疾患について学ぶ。	宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真
科目の目的	整形外科疾患の病態、症状、検査、診断、治療についての知識を習得する。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	整形外科疾患の病態、症状、検査、診断、治療およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、運動学、運動学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、神経内科学、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	定期試験(筆記試験。90%)、授業中の質問や確認問題への回答(10%)。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり1時間(実時間数45分)の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：「標準整形外科学(第14版)」井樋栄二 ほか(医学書院)	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み(12時10分～50分、場所：6階研究室)。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-Ⅱ-7-A-a~1, ≪専門基礎≫-Ⅱ-7-B-a~1, ≪専門基礎≫-Ⅱ-7-C-a~1, ≪専門基礎≫-Ⅱ-7-D-a~1, ≪専門基礎≫-Ⅱ-7-E-a~1, ≪専門基礎≫-Ⅱ-8-A-a~e, ≪専門基礎≫-Ⅱ-8-B-a~e, ≪専門基礎≫-Ⅱ-8-C-a~e, ≪専門基礎≫-Ⅱ-8-E-a~e	
履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する場合があるため、前回の配布資料を持参すること。	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 神経内科学

授業コード： 10064

英文科目名称： Neurology

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 総論 神経症候と神経学的診察法の概要について学習する。	宗宮 真
	第2回 脳血管障害1 脳血管障害の概要と脳出血について学習する。	宗宮 真
	第3回 脳血管障害2 脳梗塞1 病態と症候を中心に学習する。	宗宮 真
	第4回 脳血管障害3 脳梗塞2 検査と治療を中心に学習する。	宗宮 真
	第5回 脳血管障害4および外傷性疾患 くも膜下出血と頭部外傷について学習する。	宗宮 真
	第6回 神経変性疾患1 認知症疾患について学習する。	宗宮 真
	第7回 神経変性疾患2 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）1 パーキンソン病を中心に学習する。	宗宮 真
	第8回 神経変性疾患3 大脳基底核障害（錐体外路系疾患）2 パーキンソン病以外の疾患について学習する。	宗宮 真
	第9回 神経変性疾患4 脊髄小脳変性症について学習する。	宗宮 真
	第10回 神経変性疾患5 運動ニューロン疾患について学習する。	宗宮 真
	第11回 脱髄疾患 多発性硬化症などの脱髄疾患について学習する。	宗宮 真
	第12回 末梢神経障害 ギラン・バレー症候群などの末梢神経障害について学習する。	宗宮 真
	第13回 筋疾患 筋ジストロフィーなどの筋疾患について学習する。	宗宮 真
	第14回 神経筋接合部疾患、機能的疾患 重症筋無力症などの神経筋接合部疾患、てんかんなどの機能的疾患について学習する。	宗宮 真
	第15回 感染性疾患 髄膜炎・脳炎などの感染性疾患について学習する。	宗宮 真
科目の目的	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療についての知識を習得する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	神経内科疾患の病態、症状、検査、診断、治療およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、内科学、整形外科、小児科学、リハビリテーション医学	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり1時間（実時間数45分）の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書： 使用しない。 参考書1：「神経内科学テキスト（改訂第4版）」江藤文夫、飯島節（南江堂） 参考書2：「神経疾患のリハビリテーション（初版）」江藤文夫、和田直樹（南山堂）	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-9-A-a～g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-B-a～g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-C-a～g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-D-a～g, 《専門基礎》-Ⅱ-9-E-a～g, 《専門基礎》-Ⅱ-10-A-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-B-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-C-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-D-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-10-E-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-13-A-a～i, 《専門基礎》-Ⅱ-13-B-a～i, 《専門基礎》-Ⅱ-13-C-a～i, 《専門基礎》-Ⅱ-13-D-a～i, 《専門基礎》-Ⅱ-13-E-a～i, 《専門基礎》-Ⅱ-14-A-a, 《専門基礎》-Ⅱ-14-B-a, 《専門基礎》-Ⅱ-14-C-a, 《専門基礎》-Ⅱ-14-D-a, 《専門基礎》-Ⅱ-14-E-a	

履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する必要があるため、前回の配布資料を持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 小児科学

授業コード： 10065

英文科目名称： Pediatrics

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
秋元かつみ			

授業形態	講義形式 (15コマ) 講義の前後にプレテスト、ポストテストを施行 講義の最後に問題を1問作成		担当者
授業計画	第1回	小児科学概論 小児の成長・発達および保健について学ぶ	秋元かつみ
	第2回	小児科学概論 (つづき) ・診断と治療の概要 小児特有の疾患の診断・治療と成人疾患との違いについて学ぶ	秋元かつみ
	第3回	新生児・未熟児疾患 未熟児の特性や新生児の特徴および疾患について学ぶ	秋元かつみ
	第4回	先天異常、先天代謝異常 染色体異常、代謝異常、遺伝子異常疾患などの原因と症状および診断、治療について学ぶ	秋元かつみ
	第5回	神経・筋・骨等疾患 一般的な疾患およびリハビリテーションの中核をなす疾患群の原因、診断、治療について学ぶ	秋元かつみ
	第6回	循環器疾患 先天性心疾患や不整脈および川崎病などの病態と治療法およびリハビリの要点と注意点を学ぶ	秋元かつみ
	第7回	呼吸器疾患 先天性の呼吸器疾患、喘息、肺炎などの病態とリハビリでの要点と注意点について学ぶ	秋元かつみ
	第8回	感染症、消化器疾患 感染性疾患の種類と治療や予防について学ぶ、また外科治療に必要な消化器疾患も感染性疾患の治療や予防法について学ぶ。また外科治療が必要な消化器疾患の病態と治療について学ぶ	秋元かつみ
	第9回	内分泌疾患 小児特有の疾患の症状と診断、治療について学び、リハビリの要点や注意点について学ぶ	秋元かつみ
	第10回	血液疾患 白血病や固形腫瘍の病態と診断、治療について学ぶ	秋元かつみ
	第11回	免疫・アレルギー疾患、膠原病 免疫やアレルギーの最近のトピックスを踏まえて病態や診断、治療について学ぶ	秋元かつみ
	第12回	腎・泌尿器疾患、生殖器疾患 先天性の腎・泌尿器疾患や生殖器の疾患の病態と診断、治療について学ぶ	秋元かつみ
	第13回	心身症、神経症など 小児の精神疾患の成因と治療について学ぶ	秋元かつみ
	第14回	重症心身障害児 眼科・耳鼻科的疾患 特に重症心身障害児に焦点をあてて学ぶ	秋元かつみ
	第15回	医薬品の薬物動態とリハビリテーション薬学 小児の薬物代謝や服薬の仕方について学ぶ	秋元かつみ
科目の目的	将来小児のリハビリテーションを行う場合、基礎として、小児の生理・病理を理解し、疾患について学び、将来他の医療スタッフと業務の上で協調できる能力をもつことを目的とする。 ディプロマポリシー: 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	1) 小児の成長・発達を学び、疾患についても総合的に学ぶ。2) 各疾患の特異性を理解し学習する。3) 小児に関連した疾患を論理的に知識を習得し、患者の問題点を深く考え、チーム医療に参加できる医療者を目指す。4) 授業中にわからないことがあれば積極的に質問する姿勢を身につける。		
関連科目	解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ、人間発達学、内科学、精神医学、小児理学療法学		
成績評価方法・基準	定期試験100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	配布された講義資料を前日までに目を通しておくこと。1コマの授業に1時間ほどかけて要点を理解し疑問点を列記しておくこと。		

教科書・参考書	<p>教科書 「標準理学療法学・作業療法学 小児科学(第6版)」奈良勲/鎌倉矩子 2023年1月発行 医学書院</p> <p>参考書 病気が見える vol.15 小児科 第1版 2022年10月発行 メディックメディア 看護のための臨床病態学 改訂4版 浅野嘉延、吉山直樹</p>
オフィス・アワー	授業の前と後の10分間、講義室で待機します。
国家試験出題基準	≪専門基礎≫-II-11-A-a～e, ≪専門基礎≫-II-11-B-a～e, ≪専門基礎≫-II-11-C-a～e, ≪専門基礎≫-II-11-D-a～e, ≪専門基礎≫-II-11-E-a～e
履修条件・履修上の注意	授業開始5分後までは出席扱い。その後は遅刻とします。
アクティブ・ラーニングの実施	時間があれば症例を全員で討議しポイントや問題点を視覚化する。

講義科目名称： 精神医学Ⅰ

授業コード： 10066

英文科目名称： PsychiatryⅠ

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和	井田 逸朗		

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 精神医学とは 精神医学の定義・概念・歴史	井田逸朗・石井良和
	第2回 精神障害の成因と分類 精神と精神症状の理解	井田逸朗・石井良和
	第3回 精神疾患の診断と評価	井田逸朗・石井良和
	第4回 脳器質性精神障害（てんかんを含む） 症状性精神障害	井田逸朗・石井良和
	第5回 統合失調症	井田逸朗・石井良和
	第6回 気分障害・神経症・摂食障害・心身症等	井田逸朗・石井良和
	第7回 精神作用物質 アルコール、睡眠薬等の薬物関連障害	井田逸朗・石井良和
	第8回 精神科医療 治療・薬の副作用・入院の種類	井田逸朗・石井良和
	第9回 不安障害	井田逸朗・石井良和
	第10回 摂食障害・睡眠障害	井田逸朗・石井良和
	第11回 人格・行動・性の障害 パーソナリティ障害	井田逸朗・石井良和
	第12回 認知症	井田逸朗・石井良和
	第13回 心理発達障害・精神遅滞	井田逸朗・石井良和
	第14回 不登校・うつ・引きこもり	井田逸朗・石井良和
	第15回 老年期の精神医学	井田逸朗・石井良和
科目の目的	広汎な精神障害の概要を学び、将来作業療法士としての役割を学習する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	作業療法士として将来遭遇する症例の実像を理解できる。	
関連科目	内科学 小児科学	
成績評価方法・基準	筆記試験（100%）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	次回講義の該当ページを読んでおくこと。学習時間の目安は1コマあたり60分。	
教科書・参考書	教科書：「標準理学療法学作業療法学 精神医学」編：上野武治（医学書院） 参考書：特になし	
オフィス・アワー	授業当日は18時まで。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-6-A-a~k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-B-a~k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-C-a~k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-D-a~k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-E-a~k, 《専門基礎》-Ⅱ-14-A-b~c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-B-b~c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-C-b~c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-D-b~c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-E-b~c	
履修条件・履修上の注意	特になし	
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 精神医学Ⅱ

授業コード： 10067

英文科目名称： Psychiatry II

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和	井田 逸朗		

授業形態	講義およびディスカッション 授業において、下記の疾患から症例を適宜取り上げる。ただし疾患の順序は変更することがある。症例の理解について、適宜ディスカッションを行なう。また、精神療法、薬物療法の知識を深める、精神保健福祉法について知るなど、精神医療について理解を深めていく。	担当者
授業計画	第1回 総合失調症の症例理解 第2回 気分障害の症例理解 第3回 神経症性障害およびストレス関連障害の症例理解 第4回 パーソナリティー障害および摂食障害の症例理解 第5回 薬物関連障害の症例理解 第6回 認知症の症例理解 第7回 小児と発達 第8回 その他の精神障害	井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和 井田逸朗・石井良和
科目の目的	精神医学Ⅰの知識を基に、復習をしながら、症例を通して人生や生活への精神障害の影響を理解する。精神障害の経過を通して、障害を持つ患者がどのような生活を強いられるのか、人生の可能性を制限されるのか、どのように症状や障害と付き合っていくのかについて理解を深めることを目的とする。	
到達目標	患者の持つ精神症状は種々の要因が影響した結果であることを理解し、複眼的な視点で病状を理解することを目標とする。その理解を今後の実習に生かせるよう、臨床的な理解として述べ、論じることができるようになることを目標とする。	
関連科目	精神医学Ⅰ	
成績評価方法・基準	筆記試験（100％）	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	該当単元の予習をして授業にのぞむこと。各回での復習はその都度指示します。予習及び復習の学習時間の目安はおよそ1時間。	
教科書・参考書	テキスト：適宜紹介、配布 参考書：「標準理学療法学・作業療法学専門基礎分野 精神医学」医学書院	
オフィス・アワー	授業終了後から18時まで。	
国家試験出題基準	《専門基礎》-Ⅱ-6-A-a～k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-B-a～k, 《専門基礎》-Ⅱ-6-C-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-6-D-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-6-E-a～c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-A-b～c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-B-b～c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-C-b～c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-D-b～c, 《専門基礎》-Ⅱ-14-E-b～c	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
宗宮 真			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リハビリテーション診療の概要 障害学、病期別リハビリテーション、診察、評価、検査、治療について学ぶ。 第2回 障害の病態生理と評価・治療（1） 廃用症候群について学ぶ。 第3回 障害の病態生理と評価・治療（2） 循環機能障害、呼吸機能障害について学ぶ。 第4回 障害の病態生理と評価・治療（3） 運動障害、歩行障害について学ぶ。 第5回 障害の病態生理と評価・治療（4） 摂食・嚥下障害について学ぶ。 第6回 障害の病態生理と評価・治療（5） 高次脳機能障害について学ぶ。 第7回 障害の病態生理と評価・治療（6） 老化による障害（老年症候群）、発達障害について学ぶ。 第8回 疾患とリハビリテーション（1） 脳血管障害について学ぶ。 第9回 疾患とリハビリテーション（2） 脊髄損傷について学ぶ。 第10回 疾患とリハビリテーション（3） 神経筋疾患について学ぶ。 第11回 疾患とリハビリテーション（4） 骨関節疾患について学ぶ。 第12回 疾患とリハビリテーション（5） 切断と義肢について学ぶ。 第13回 疾患とリハビリテーション（6） 呼吸器疾患、循環器疾患について学ぶ。 第14回 疾患とリハビリテーション（7） 内部障害、悪性腫瘍について学ぶ。 第15回 疾患とリハビリテーション（8） 小児疾患（脳性麻痺など）について学ぶ。	宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真 宗宮 真
科目の目的	1. 運動障害、廃用症候群、循環・呼吸機能障害、嚥下障害、高次脳機能障害、老年症候群、発達障害などの病態生理・評価・リハビリテーションの概要や注意点について理解する。 2. 脳血管障害、脊髄損傷、神経筋疾患、骨関節疾患、切断と義肢、呼吸器疾患、循環器疾患、内部障害、悪性腫瘍、小児疾患などの疾患の病態とリハビリテーションの概要や注意点について理解する。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	リハビリテーションの対象となる障害や疾患の病態生理・評価およびリハビリテーションを行う際の注意点について説明できる。	
関連科目	運動器解剖学、臓器解剖学、解剖学演習、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、生理学実習、病理学、薬理学、臨床薬学、臨床検査・画像診断学演習、臨床医学関連領域論、内科学、整形外科学、神経内科学、小児科学	
成績評価方法・基準	定期試験（筆記試験。90%）、授業中の質問や確認問題への回答（10%）。確認問題については、講義内で解説を行うなど、フィードバックを行う。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業で解説した重要事項について、主に復習を中心とした自己学習を行い、次回授業までに、重要事項については自ら説明できるレベルまで理解しておくこと。1コマあたり、4時間（実時間数180分）の授業外学習の時間を確保すること。	
教科書・参考書	教科書：使用しない。 参考書：各授業の際に適宜提示する。	
オフィス・アワー	講義終了後または水曜日昼休み（12時10分～50分、場所：6階研究室）。質問の内容により、別に時間を設定する場合がある。	
国家試験出題基準	<< 専門基礎 >>-Ⅱ-4-A-a~b, << 専門基礎 >>-Ⅱ-4-B~H, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-A-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-B-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-C-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-D-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-9-E-a~g, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-A-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-B-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-C-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-D-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-10-E-a~c, << 専門基礎 >>-Ⅱ-12-A-a~h, << 専門基礎 >>-Ⅱ-12-B-a~h, << 専門基礎 >>-Ⅱ-12-C-a~h, << 専門基礎 >>-Ⅱ-12-D-a~h, << 専門基礎 >>-Ⅱ-12-E-a~h	

履修条件・履修上の注意	前回講義の復習に利用する必要があるため、前回の配布資料を持参すること。
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし

講義科目名称： 栄養学

授業コード： 10070

英文科目名称： Nutrition

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
後藤 香織			

授業形態	講義	担当者
授業計画	<p>第1回 栄養学の目的 健康と進化と食事 食と私たち これ以上に大事な学問はない 食育の必要性</p> <p>第2回 献立と主食 献立の立て方と主食、糖質について</p> <p>第3回 タンパク質と脂質 たんぱく質と脂質について</p> <p>第4回 ビタミンとミネラル ビタミンとミネラルの詳細</p> <p>第5回 糖質の代謝 これが運動のエネルギー源である だから人間は進化できた</p> <p>第6回 使ったエネルギー量の算出 と摂取エネルギーの計算 エネルギー収支について</p> <p>第7回 時間栄養学とスポーツ栄養学 時間によって変わるエネルギー代謝</p> <p>第8回 まとめ とテスト 1-7回のまとめ</p>	<p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p> <p>後藤 香織</p>
科目の目的	<p>捕食という行動は全てを中心であることを深く理解し、人が食べるという行為をどれだけ重要に考えなくてはならないかを知り、人体が必要とする栄養素を学ぶ。さらに自身の摂取エネルギーと消費エネルギーから必要な栄養量、栄養素、運動、休養を求め、よりよい健康状態を保つことを身に漬ける方法を学ぶ。国の施策である「食育」が大学生には危機的な状況であることを知り改善するために、栄養・休養・運動の三要素を含めて解説する。本学のディプロマポリシーに沿い、保健医療専門職としての栄養学の基礎的知識と、社会人としての食に関する教養を身につけ、食に関する多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解し、保健医療分野と栄養学との関係を見出し、科学的洞察による的確な判断ができ、先進・高度化する栄養分野の基本的知識と技術を提供することや、栄養補給に関わるコミュニケーション能力を身につけ、生涯にわたって栄養に関する知識を身に付けて、自身が健康に過ごすことを身に付け、それを社会に貢献させる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>基礎医学（解剖学、生理学、生化学）に関連した栄養学の基礎を学ぶ。また日々の食品摂取の判断ができるようにする。 栄養素と消化、吸収、代謝に関わる知識の習得、一日の消費カロリーの計算、一日の摂取エネルギーの計算、運動時の代謝、和食の伝統文化、美味しく感じる為の脳科学的方法を身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養学の基礎的知識と教養を身につけている。 ・栄養に関わる多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している。 ・栄養分野の諸課題を見出し、科学的洞察による的確な判断ができる。 ・栄養学分野の基本的技術を提供することができる。 ・NSTを実践するための、コミュニケーション能力を身につけている。 ・生涯にわたって栄養分野を探究し、その発展に貢献する意欲を持っている。 ・人と社会に深い関心を持って、地域の栄養保健医療に寄与できる。 ・人権を尊重し、高い倫理観を持って社会に貢献する姿勢を身につけている。 	
関連科目	①運動器解剖学・臓器解剖学 ②生化学 ③生理学Ⅰ・Ⅱ ④病理学	
成績評価方法・基準	定期試験100%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	高校の生物学および、解剖学、生理学とを見直しておく。 成分表の後半のページを読んでおく。20分予習する。	
教科書・参考書	<p>教科書：オールガイド食品成分表2023（実教出版） 参考書：新体系看護学 人体の構造と機能2 栄養生化学（メジカルフレンド社） 看護栄養学（医歯薬出版） リハビリテーションに役立つ栄養学の基礎 第2版 栢下淳・若林秀隆 編著（医歯薬出版）</p>	
オフィス・アワー	授業の前夜	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅰ-2-K-f~g, 《専門基礎》-Ⅰ-2-N, 《専門基礎》-Ⅰ-2-0-a, 《専門基礎》-Ⅱ-3-D, 《専門基礎》-Ⅱ-14-A-i, 《専門基礎》-Ⅱ-14-B-i, 《専門基礎》-Ⅱ-14-C-i, 《専門基礎》-Ⅱ-14-D-i, 《専門基礎》-Ⅱ-14-E-i</p>	
履修条件・履修上		

の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッションなどを適宜行います。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
村田 和香	村田 和香	佐藤 満	白坂 康俊

授業形態	講義14回、グループディスカッション1回		担当者
授業計画	第1回	イントロダクション リハビリテーションを取り巻く知識の整理 障害学、クライアント中心、健康、生活	村田 和香
	第2回	リハビリテーションの定義の変遷 歴史的変遷、定義と目的	佐藤 満
	第3回	病気と障害 病気とは、障害とは	佐藤 満
	第4回	障害のとらえ方 国際疾病分類（ICD）から国際障害分類（ICDH）、そして国際生活機能分類（ICF）へ	佐藤 満
	第5回	人間の活動と発達 発達とは、ライフサイクル、ノーマライゼーション、発達障害	佐藤 満
	第6回	リハビリテーションの諸領域 医学的・教育・職業・社会的・地域リハビリテーション、地域包括ケアシステム	佐藤 満
	第7回	リハビリテーションの流れと分野1 医療現場におけるリハビリテーション、急性期、回復期、生活期、終末期、理学療法	佐藤 満
	第8回	リハビリテーションの流れと分野2 地域リハビリテーション、保健・介護・福祉分野との連携、生活、作業療法	村田 和香
	第9回	自分らしく生きる 社会参加、社会貢献	村田 和香
	第10回	就労支援 職業的リハビリテーション、障害者雇用	村田 和香
	第11回	人生をまとめる 老年期・終末期 加齢と老化の視点、人生100年時代の課題	村田 和香
	第12回	言語障害・聴覚障害・コミュニケーションの障害	白坂 康俊
	第13回	食の楽しみと摂食・嚥下障害	白坂 康俊
	第14回	リハビリテーションとチーム医療 言語聴覚療法の役割と連携について	白坂 康俊
	第15回	社会参加を支援する意味 グループディスカッション 社会参加、社会貢献、生活の意味	村田 和香
科目の目的	本講義では、リハビリテーションの理念と原則を踏まえて、医学および社会における包括的なリハビリテーション、ならびに障害学の基本概念を習得することを目標とする。理学療法士・作業療法士として必要な障害学の内容と評価・治療方法の要点、国際生活機能分類（ICF）、リハビリテーションのプロセス、各専門職とリハビリテーションチーム医療のあり方、さらには保健・福祉行政における社会的資源とリハビリテーションの関わり等についての基礎知識を理解する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	リハビリテーションの基本理念と原則を理解し、障害の概念と分類、リハビリテーションの諸相とその過程、リハビリテーションの進め方、障害と心理、さらにはリハビリテーション障害学の基礎、そして保健医療福祉制度・関係法規とリハビリテーションとの関連について獲得する。具体的には下記の通りである。 ①リハビリテーションの概念および定義を説明することができる。 ②リハビリテーションの歴史を説明することができる。 ③国際生活機能分類（ICF）を説明できる。 ④リハビリテーションの多職種連携の重要性を説明できる。 ⑤理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の果たす役割を説明できる。		
関連科目	作業療法概論、チーム医療とリハビリテーション、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	定期試験（100%）：到達目標の達成程度を確認する筆記試験を行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	予習は各回の項目について配布資料・その他各種メディアを通じて自分なりの問題意識を抱き、復習は講義内容のレビューを行い疑問点を解消して自分の言葉で平易に正しく説明できるようにすること。 必要な学習時間の目安は概ね30分程度である		
教科書・参考書	教科書：特に定めず、講義資料を活用する。 参考書中村隆一編「入門リハビリテーション概論（第7版補訂）」（医歯薬出版）		

	その他講義内容により資料等配布有り。
オフィス・アワー	講義当日18時まで。それ以外はアポイントメント取得の上、研究室で。
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-A~C, 《専門基礎》-II-4-A-a, 《専門基礎》-II-4-B-b~e, 《専門基礎》-II-4-D~H, 《専門基礎》-III-1-C~D, 《専門基礎》-III-2-A~F, 《専門》-I-1-B-b~d, 《専門》-I-1-C~D
履修条件・履修上の注意	
アクティブ・ラーニングの実施	授業内で提示した課題について、グループディスカッションを行う

講義科目名称： チーム医療とリハビリテーション

授業コード： 10073

英文科目名称： Team Approach to Health Care and Rehabilitation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
馬場 順子	村田 和香 岡田 直純	岡崎 大資 浅田 春美	神山 政恵
	三浦 康子	丹下 弥生	加茂 智彦

授業形態	講義（3）、演習（5）		担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 総論（講義） チーム・アプローチの必要性、保健医療チームの特徴、チームのタイプ</p> <p>第2回 リハビリテーション・チームの役割（講義） 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割</p> <p>第3回 グループ・ワークについて（講義） グループ課題情報共有、グループ分け</p> <p>第4～7回 グループワーク（演習4回） 5つの課題を担当するグループを決定し、グループでの役割分担、情報収集、分析、ディスカッション、発表準備を行う。</p> <p>第8回 グループ発表（演習） グループ・ワークの結果をまとめ、その学習成果をポスター等により発表し、ディスカッションを行う。</p>	<p>村田・岡崎・神山</p> <p>岡崎・馬場・神山</p> <p>神山・岡崎・馬場</p> <p>岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p> <p>岡崎・浅田・加茂・村田・馬場・岡田・神山・三浦・丹下</p>	
科目の目的	リハビリテーション学部のディプロマ・ポリシーで謳われている「多様化する地域社会の諸問題を理解し、多職種と連携してリハビリテーションを実践できる能力」を目指し、リハビリテーション学部の3学科の学生が共に学ぶ機会を得ることにより、お互いを尊重する姿勢を学ぶ。「リハビリテーション概論」の学修に基づき、学科横断的に編成するグループによる課題解決の過程を通して、チームの概念、チームワークの難しさと効果、リーダーシップ、他者理解の上での交流の在り方、組織管理について学修する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	<p>①チーム医療の意味を説明できる。</p> <p>②リハビリテーション・チームの役割を説明できる。</p> <p>③グループ・ワークに積極的に参加することができる。</p> <p>④他者の意見を聞くこと、自らの意見を話すことができる。</p>		
関連科目	多職種理解と連携、リハビリテーション概論、作業療法概論、地域リハビリテーション学		
成績評価方法・基準	グループ・ワークの発表（50%）およびディスカッションを含めた課題をレポートにまとめる（50%）。レポートのフィードバックは学科担当教員が行う。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	講義内容、およびグループでの作業を理解し、積極的にグループ・ワークに参加すること。準備学習に必要な時間の目安は30分程度である。		
教科書・参考書	特に定めない。		
オフィス・アワー	グループ担当教員が昼休み（12：10～13：00）に対応する。		
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-1-B-a, 《専門基礎》-III-1-A-d		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	グループ・ディスカッション、グループ・ワークを実施する。		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
木村 朗	富田 浩		

授業形態	講義1-15コマと演習1-15コマ すべて講義と演習の併用（オムニバス）		担当者
授業計画	第1回	計学のあらし データと集め方 医療との関連性 統計学を学ぶ意味、データと集め方を理解する。	木村 朗
	第2回	1変数 1つの事柄を分析するための方法を理解する。平均・中央値・最頻値を理解する。	富田 浩
	第3回	分布の散布度 分布の散布度、不偏分散を理解する。	富田 浩
	第4回	母集団での平均値の推定 割合 母集団での平均値の推定、正規分布、割合2グループの母割合、母平均の差の検定	富田 浩
	第5回	2グループの母割合、母平均の差の検定 2グループの母割合、母平均の差の検定を理解する。	富田 浩
	第6回	母分散が等分散しないときの母平均の差の検定 母分散が等分散しないときの母平均差の検定を理解する。	富田 浩
	第7回	2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数 2変数についての解析 相関図 回帰直線と相関係数 順位データの相関係数を理解する。	富田 浩
	第8回	クロス表 クロス表とカイ二乗値を理解する。	富田 浩
	第9回	分散分析 分散分析 いくつかの要素の効果を判定するための方法を理解する。	富田 浩
	第10回	その他の分析方法 ノンパラメトリックによる検定 多変量解析 ノンパラメトリックによる検定 多変量解析のあらしを理解する。	富田 浩
	第11回	医療・疫学統計データの理解 分割表による検査と疾患データを用いた感度、特異度、尤度のあらしを理解する。	木村 朗
	第12回	コンピュータによる平均値および頻度に関する検定 RとRG、PCを活用し、t検定および χ^2 二乗検定を経験する。	木村 朗
	第13回	コンピュータによる回帰分析 RとRG、PCを活用し重回帰分析を経験する。	木村 朗
	第14回	コンピュータによる分割表を用いた医療統計分析 実データを用いた医療統計に使われる分割表による代表値の信頼区間の利用方法を理解する。	木村 朗
	第15回	コンピュータによる医療統計分析の実際 研究論文を例にどのように医療統計を行っているのかを経験する。	木村 朗
科目の目的	医療に携わる者として、大学教養レベルの統計学の基本的な知識を身につけ、医療に関連する課題に対する正しい統計手法の適応について理解し、生涯にわたり医療における不確実な課題に統計学を応用できる態度を滋養すること。 DPに則した1.理学療法に必要な自然科学の学びだけでなく、人間が生み出した文化や歴史、社会の動きと仕組み、生命倫理、コミュニケーションの学びを積み重ねた豊かで幅広い教養の滋養と、4.自己研鑽に励み、自ら疑問や課題を設定し、問題解決のために調査・検討・分析できる能力に関して医療統計学の基本を学び「多様な情報を適切に分析し、問題解決する方法を理解している」ようになるための知識と能力を身につけること。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】を滋養する。		
到達目標	1. 学生はデータ概念を説明できるようになること。 2. 学生は主な統計手法について説明できるようになること。 3. 学生は医療の課題で用いられる代表値と記述統計について統計検定3級程度の問題が解けるようになること。 4. 学生は分散分析、点推定、区間推定、検定について医療研究において頻出する適応例を挙げるができるようになること。 5. 学生は統計ソフトウェアRの基本的な操作をアシスタントツールの操作経験をすること。		
関連科目	情報処理、基礎統計、公衆衛生学、卒業研究		
成績評価方法・基準	期末時筆記テスト100%		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	・シラバスに示された、初めて聞く単語について、書き出し、ネット等で可能な範囲で内容を理解できるようにしておくこと。予習にかかる目安の時間は微積・統計を高校で履修した者は予習30分、履修していない者は90分程度、授業中にPC操作が完了した者の復習目安時間は30分、それ以上かかった者は本人の能力に応じて60分から120分。		

	・授業の課題として早稲田大学向後研究室の統計学e-learningコンテンツからt検定及び単回帰式の例題を解くこと。
教科書・参考書	教科書：ナースのための統計学, 医歯薬出版 参考サイト：kimuakilabo、早稲田大学向後研究室統計学集サイト
オフィス・アワー	講義日の12:10~12:50(木村研究室・富田研究室) (a-kimura@paz.ac.jp)
国家試験出題基準	《専門基礎》-II-4-A-c, 《専門》-I-1-E~F
履修条件・履修上の注意	特になし
アクティブ・ラーニングの実施	後半1/3において、課題を提示するので、学生自らがそこまで学習した内容を再構築して解決方法を提案するものを実施する。

講義科目名称： 作業療法学概論

授業コード： 10077

英文科目名称： Introduction to Occupational Therapy

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和			

授業形態	講義	担当者
授業計画	第1回 リハビリテーションの目標と作業療法	石井良和
	第2回 作業療法の定義・歴史	石井良和
	第3回 現代の作業療法1：クライアント中心の実践	石井良和
	第4回 現代の作業療法2：作業中心の実践	石井良和
	第5回 現代の作業療法3：証拠に基づく実践 グループ討議 レポート課題	石井良和
	第6回 現代の作業療法4：作業療法の領域と役割	石井良和
	第7回 現代の作業療法5：作業療法の目的と方法	石井良和
	第8回 まとめと試験	石井良和
科目の目的	作業療法の概要と作業療法の視点を学び、作業療法学生としての同一性の基礎と心構えを培うことである。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	1) リハビリテーションにおける作業療法の位置づけおよび意義が説明できる。 2) 国内外の作業療法の定義が言える。 3) 作業療法の対象領域と役割が言える。 4) 作業療法の目的と方法が言える。	
関連科目	初年次における最初の専門科目なので前提とする授業はないが、心理学や哲学などの科目を履修しておくことは望ましい。	
成績評価方法・基準	成績評価方法：筆記試験70%，レポート20%（5回目授業時、6回目授業時にフィードバック予定），授業態度および授業中の発言（ルーブリック評価予定）10% ・ 期末試験については、到達目標に基づき、作業療法に関する講義内容が今後予定されている関連授業等で役立つように問題設定するので、その確実な知識を評価する。 ・ 授業態度やレポート等の提出物については、グループワーク等での態度や発言などによって評価する。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	授業外学習：次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。わかりにくい概念などをチェックしておき、復習時に確認しておくこと。目安となる時間は約60分程度。	
教科書・参考書	テキスト・参考書等：教科書 編集 二木淑子・能登真一：標準作業療法学 作業療法学概論(第3版)。医学書院，2016 参考書 山田孝・訳：作業療法実践の理論、原書第4版。医学書院，2014	
オフィス・アワー	講義当日は昼休みを中心とするが、その後は17時まで。他の曜日は事前に連絡をすれば可。場所は石井研究室	
国家試験出題基準	《専門》-I-1-A~E, 《専門》-I-1-F-a, 《専門》-I-1-G~H, 《専門》-I-2-A~J, 《専門》-IV-1-A~B	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	実施なし	

講義科目名称： 基礎作業学

授業コード： 10078

英文科目名称： Basis of Human Occupation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹原 敦			

授業形態	講義15時間	担当者
授業計画	<p>第1回 作業の捉え方 作業の定義、作業と感情、主観と客観、意味、作業的存在</p> <p>第2回 作業と環境と文脈 人-環境-作業、作業の目的と手段、動機づけ</p> <p>第3回 作業的公正 作業機能障害</p> <p>第4回 作業役割 作業の発達、人生の移行としての作業、役割獲得モデル</p> <p>第5回 作業バランス 義務と願望、作業の総合的な見方</p> <p>第6回 作業療法実践の枠組からみた作業① 作業を捉える視点</p> <p>第7回 作業療法実践の枠組からみた作業② 作業療法の過程</p> <p>第8回 作業の探索と分析、まとめ</p>	<p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p> <p>竹原敦</p>
科目の目的	<p>作業療法の基礎であり、治療目標及び治療手段となる「作業」について、その意味と有効性を学ぶ。作業が人の生活とどのように関係しているか理解し、作業と作業療法の関係を学んだ上で、作業分析の概要と作業の治療的応用について理解する。また日常生活のさまざまな作業について分析的な視点を習得する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. 作業の定義を説明できる</p> <p>2. 作業を構成する要素と作業遂行との関連を説明できる</p> <p>3. 作業の治療的効果を説明できる</p> <p>4. 作業の歴史的変遷を理解することができる</p> <p>5. 作業療法の理論とモデルに基づく作業の視点を理解することができる</p>	
関連科目	<p>作業療法概論、基礎作業学演習、基礎作業学実習、作業療法理論</p>	
成績評価方法・基準	<p>筆記試験（70%）、レポート（30%） なお、試験、レポートは、ActiveAcademy、メールあるいは口頭にてフィードバックする。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>教科書・参考書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 予習および復習に必要な学習時間の目安は1コマあたり各1時間。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書：①濱口豊太・編：基礎作業学 第3版、医学書院、東京、2017。 参考書：①Tayler, R. R. (山田孝・監訳)：キールフナーの人間作業モデル改訂第5版、協同医書出版、東京、2019。②吉川ひろみ：「作業」って何だろう 第2版 作業科学入門、医歯薬出版、東京、2017。</p>	
オフィス・アワー	<p>昼休み12：10～13：00 竹原研究室</p>	
国家試験出題基準	<p>《専門》- I -3-A～C</p>	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	<p>問題解決学習、グループ・ワーク等を実施</p>	

講義科目名称： 基礎作業学演習

授業コード： 10079

英文科目名称： Seminar of Human Occupation

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
竹原 敦	岡田 直純		

授業形態	講義30時間	担当者
授業計画	第1回 作業分析の概論と実際 第2回 OTPFと作業分析① クライエントの因子と遂行技能 第3回 OTPFと作業分析② 遂行のパターン 第4回 OTPFと作業分析③ 文脈 第5回 手工芸の分析① 講義・演習 第6回 手工芸の分析② 演習 第7回 手工芸の分析③ 発表 第8回 ダンスという作業の実際と分析 第9回 作業行動の分析① 興味 第10回 作業行動の分析② 役割と習慣 第11回 作業行動の分析③ 動機づけ 第12回 レクリエーションの分析① 講義・演習 第13回 レクリエーションの分析② 演習 第14回 レクリエーションの分析③ 発表 第15回 作業分析の課題と展望	竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田・金谷 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田 竹原・岡田
科目の目的	基礎作業学の学びに基づき、作業の体験と作業分析の試み、作業分析レポート作成、事例を通じた作業分析の実施をグループ発表により学ぶ。作業療法的手段である作業についての理解を深めるために、作業の意味、人と作業の関係等について学習する。また、作業の治療・援助への応用と理論的意義を学習し、対象者への指導方法を学ぶ。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 作業分析の意義を理解することができる 2. OTPFに基づく作業分析を行うことができる 3. 手工芸の分析を行うことができる 4. ダンスという作業の分析を行うことができる 5. 作業行動の分析を行うことができる 6. レクリエーションの分析を行うことができる	
関連科目	基礎作業学、基礎作業学実習、作業療法学概論、作業療法理論	
成績評価方法・基準	レポート（70%）、授業中の態度、発言、プレゼン能力<ルーブリック評価>（30%） なお、レポート等は、ActiveAcademy、メールあるいは口頭にてフィードバックする。	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・参考書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行う。 予習および復習に必要な学習時間の目安は1コマあたり各1時間。	
教科書・参考書	教科書：①濱口豊太・編：基礎作業学 第3版、医学書院、東京、2017。 参考書：授業で紹介します。	
オフィス・アワー	昼休み12：10～13：00 竹原研究室、岡田研究室	
国家試験出題基準	《専門》- I-3-A～C	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラー	問題解決学習、グループ・ワーク等を実施	

ニングの実施	
実務経験のある教員による授業	
実務経験	竹原 敦（作業療法士）、岡田 直純（作業療法士）
授業の概要	基礎作業学の学びに基づき、作業の体験と作業分析の試み、作業分析レポート作成、事例を通じた作業分析の実施をグループ発表により学ぶ。作業療法的手段である作業についての理解を深めるために、作業の意味、人と作業の関係等について学習する。また、作業の治療・援助への応用と理論的意義を学習し、対象者への指導方法を学ぶ。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡田 直純	近藤 健	石代 敏拓	

授業形態	毎回、講義と実技を組み合わせているので厳密に時間を区切ることは難しいが、実技が中心となる。		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション（全体） 絵画・美術 作業分析と作業の治療的応用について 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全作品の制作	岡田、近藤、石代
	第2回	絵画・美術 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第3回	手工芸 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第4回	手工芸 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第5回	園芸 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第6回	園芸 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第7回	レザークラフト 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第8回	レザークラフト 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第9回	スポーツ（eスポーツ） 体験実習	岡田、近藤、石代
	第10回	スポーツ（eスポーツ） 体験実習	岡田、近藤、石代
	第11回	陶芸・木工・3Dプリンター 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第12回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作	岡田、近藤、石代
	第13回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第14回	陶芸・木工・3Dプリンター 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第15回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作	岡田、近藤、石代
	第16回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第17回	陶芸・木工・3Dプリンター 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第18回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作	岡田、近藤、石代
	第19回	陶芸・木工・3Dプリンター 作品の制作、レポート	岡田、近藤、石代
	第20回	スポーツ（eスポーツ） 先駆者からの学び（eスポーツと作業療法、暮らしへのAI・IoT・ICTの活用）	ゲストスピーカー
	第21回	スポーツ（eスポーツ） eスポーツと作業療法、グループワーク、レポート	岡田、近藤、石代
	第22回	七宝焼 実施手順、道具の確認、各種技法と実施の際の安全、作品の制作	岡田、近藤、石代
	第23回	七宝焼 作品の制作	岡田、近藤、石代
科目の目的	当科目の目的は作業療法の治療で用いられることの多い作業種目の基本的技法を習得し、それらをクライアントに治療的に応用していくための指導技法を身につけることである。クライアントの障害に応じた評価に加え、当科目で学ぶ作業の治療的応用の視点を加味することで、クライアントが作業的存在として必要としている作業に関われるよう支援することができるようになる。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	1. 作業活動の過程を口頭、書面で説明できる。 2. 各作業種目について他人に説明し実施させることができる。 3. 作業活動の特徴を理解し、治療的意義を説明できる。 4. 作業を援助、指導する経験と、指導を受ける経験から、自己の指導場面への応用について説明できる。		

	5. 一つ一つの作業種目を確実に修得し、作品を完成させることができる。
関連科目	作業療法概論、基礎作業学、基礎作業学演習
成績評価方法・基準	課題作品提出 (50%)、課題レポート (50%) なお、レポートはActive Academyおよび口頭でフィードバックする。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	当科目は、クライアントが「意味のある作業」ができるようになるための方法を学ぶ。クライアントへの作業的支援の方法を知り、実践していくための基礎をなすものである。普段から、作業の「機能? 形態? 意味」を考える機会を持つことが、当該科目の作業分析を行う上で役に立つ。事前に各作業活動における作業工程、材料、物品を確認しておくこと。また、事後学習として作業活動の分析を実施し、治療的観点で検討したことをまとめておくこと。 事前学習30分、事後学習60分程度。
教科書・参考書	教科書： ・つくる・遊ぶを治療にいかす 作業活動実習マニュアル 第2版 医歯薬出版株式会社 2018 参考書： ・「作業」ってなんだろう 作業科学入門 医歯薬出版株式会社 2008 ・ひとと作業・作業活動 (山根寛, 三輪書店) ・作業—その治療的応用—改訂第2版 (日本作業療法士会編)
オフィス・アワー	岡田直純、石代敏拓、近藤健：講義終了日の17時まで。
国家試験出題基準	《専門》-I-3-A~C
履修条件・履修上の注意	作業内容に即した動きやすい服装、危険への配慮がなされた服装で出席すること。 一部の作業種目において、郊外施設による見学・体験やゲストスピーカーを招いての講演を計画している。それに伴い、作業種目の選定、順番や講義回数等が変更される場合がある。変更が生じた際はActive Academy を通じて連絡する。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク
実務経験のある教員による授業	
実務経験	岡田 直純 (作業療法士)、近藤健 (作業療法士)、石代敏拓 (作業療法士)
授業の概要	作業療法として用いられる代表的な手工芸や手段的日常生活活動について実習を通して、作業療法の治療手段の基礎知識と技術を習得し、様々な対象者に作業を適用するための理解を深める。さらに作業を遂行するために必要な、身体的、心理的、認知的機能を学ぶ。具体的には木工、陶芸、レザークラフト、絵画・美術、七宝焼き、園芸などの準備から実施、片づけ、作品の鑑賞・評価までの一連の作業に加え、スポーツやレクリエーションを実際に行う中で、作業の意味を学ぶ。各作業種目の体験後に作業分析レポートを作成し、最終回で作業の治療的使用に関しての発表、まとめをおこなう。

講義科目名称： 作業療法管理学Ⅰ

授業コード： 10085

英文科目名称： Administration in Occupational TherapyⅠ

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
村田 和香	村田和香	新井健五	

授業形態	講義5回、演習（資料収集 - 分析 - 報告）3回	担当者
授業計画	<p>第1回 作業療法の哲学と信念、倫理綱領 作業療法における管理とは</p> <p>第2回 組織を管理、運営すること 組織とは</p> <p>第3回 倫理原則と理論 倫理とは ディスカッション</p> <p>第4回 作業療法士に求められる資質・適性 キャリア・アップ 大学院での学び</p> <p>第5回 リーダシップとマネジメント リスクマネジメント</p> <p>第6回 作業療法室を考える その1 理想の作業療法をするために</p> <p>第7回 職能団体の意義と役割、職場管理 日本作業療法士協会と群馬県作業療法士会</p> <p>第8回 作業療法室を考える その2</p>	<p>村田和香</p> <p>村田和香</p> <p>村田和香</p> <p>村田和香</p> <p>村田和香</p> <p>村田和香</p> <p>新井 健五</p> <p>村田和香</p>
科目の目的	<p>専門職であること、および組織の一員として働くことの意味を理解し、基本となる倫理原則と概念を理解するために、講義と演習を行う。また、実際の業務に求められる管理運営、リスクマネジメント、作業療法室開設に関わる基礎的知識、作業療法士としてのキャリア開発を学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. 生命倫理および職業倫理の必要性について説明できる。</p> <p>2. 作業療法部門の管理運営、リスクマネジメントについて説明できる。</p> <p>3. 作業療法に関わる職能団体の役割と運営について説明できる。</p> <p>4. 作業療法室開設に必要な情報を集めることができる。</p>	
関連科目	作業療法概論、リハビリテーション概論、チーム医療とリハビリテーション	
成績評価方法・基準	<p>授業終了時レポート（80%）：レポートはActiveAcademyおよび口頭でフィードバックする予定である。</p> <p>グループディスカッションおよび授業中の発言（20%）：ルーブリック評価で行う。</p>	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	日本作業療法士協会、厚生労働省ホームページを授業前に確認しておくこと。確認時間は30分程度。	
教科書・参考書	教科書：標準作業療法学「作業療法概論」医学書院	
オフィス・アワー	授業終了時から18時まで。村田研究室にて。	
国家試験出題基準	<p>《専門基礎》-Ⅲ-1-A-a～g, 《専門》-Ⅰ-2-H, 《専門》-Ⅱ-1-A～C, 《専門》-Ⅱ-2-A～D, 《専門》-Ⅱ-3-A～C, 《専門》-Ⅵ-1-A～G</p>	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション	

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
南 征吾	竹原 敦	岡田 真純	

授業形態	講義15コマ（演習を併用して実施する）		担当者
授業計画	第1回	作業療法評価の基礎①：オリエンテーション、作業療法と評価（1章-I）	南、竹原、岡田
	第2回	作業療法評価の基礎②：作業療法の効果判定（1章-II）、記録報告（1章-III）	南、竹原、岡田
	第3回	作業療法評価の基礎③：意識の評価およびバイタルサインの測定（2章-II）	南、竹原、岡田
	第4回	身体の測定方法①：形態測定（2章-III）	南、竹原、岡田
	第5回	身体の測定方法②：関節可動域測定（2章-IV）	南、竹原、岡田
	第6回	身体の測定方法③：筋力測定（2章-V）、筋緊張検査（2章-VI）	南、竹原、岡田
	第7回	身体反応の測定方法①：反射検査（2章-VII）	南、竹原、岡田
	第8回	身体反応の測定方法②：姿勢反射検査（2章-VIII）	南、竹原、岡田
	第9回	身体反応の測定方法③：感覚検査（2章-IX）	南、竹原、岡田
	第10回	身体反応の測定方法④：協調性検査（2章-X）	南、竹原、岡田
	第11回	身体機能の測定方法①：脳神経検査（2章-?）	南、竹原、岡田
	第12回	身体機能の測定方法②：摂食機能検査（2章-?）、排泄機能検査（2章-X III）	南、竹原、岡田
	第13回	身体機能の測定方法③：上肢機能検査（2章-X IV）	南、竹原、岡田
	第14回	作業療法評価の面接および観察技術	岡田、竹原、南
	第15回	作業療法評価の活動と参加	竹原、岡田、南
科目の目的	作業療法における評価の枠組み、目的、内容に関する全般的概念を把握する。基礎的技法としての観察・面接、および各種検査法の主たる技法を知り、その原理について学習する。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	1) 作業療法の評価によって、心理・運動・感覚の統合された存在としての人間の機能を理解できる。 2) 作業療法の対象疾患と障害を学習し、実践的治療と援助ができる。 3) 作業療法の枠組み、目的、内容について、他者に自分の考えを伝えることができる。		
関連科目	作業療法学概論、基礎作業学、リハビリテーション概論、など		
成績評価方法・基準	定期試験50%、授業内レポート20%、期末レポート30% なお、授業内のレポートのフィードバックはActiveAcademyで実施する。		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	指定した参考書を読んでおくこと。範囲については毎回の授業で指定する。 準備学習に必要な学習時間は45分程度とする。		
教科書・参考書	教科書：標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 参考書：随時紹介		
オフィス・アワー	講義当日の昼休み、各担当教員の研究室		
国家試験出題基準	《専門》-III-1-A, 《専門》-III-2-A~H, 《専門》-III-3-A~J, 《専門》-III-4-A~E, 《専門》-III-5-A~G, 《専門》-III-6-A~C, 《専門》-III-7-A~B, 《専門》-III-8-A~O, 《専門》-III-9-A~C		
履修条件・履修上の注意			
アクティブ・ラーニングの実施	作業療法の実践に係るテーマに「Think-pair-share」の学習方法によって、作業療法の評価等を意見交換しながら実施する。また、ブレインストーミングを用いて活気のある意見交換につなげる		

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宮寺 寛子	馬場 順子	吉岡 和哉	

授業形態	講義15コマ，演習13コマ，併用13コマ		担当者
授業計画	第1回	ガイダンス，ひとを理解するために，ひとの評価の概要	宮寺，馬場，吉岡
	第2回	ひとを理解するための理論 クライアント中心，小児～青年～成人～高齢者，リーズニング	宮寺，馬場，吉岡
	第3回	ひとの意欲を理解するための評価	宮寺，馬場，吉岡
	第4回	ひとの技能を理解するための評価	馬場，吉岡，宮寺
	第5回	ひとの作業環境を理解するための評価	馬場，吉岡，宮寺
	第6回	ひとの役割，習慣を理解するための評価	馬場，吉岡，宮寺
	第7回	ひとを理解するための心理学的評価	宮寺，馬場，吉岡
	第8回	ひとを理解するための多様な理論に基づく評価	吉岡，宮寺，馬場
	第9回	ひとを包括的に理解するための評価	宮寺，馬場，吉岡
	第10回	臨床で使われる評価方法を理解する：実践グループワーク① *レポート課題①	馬場，吉岡，宮寺
	第11回	ケース理解に必要な情報と対応する評価方法を検討：実践グループワーク②，レポート課題①のフィードバック（全体へのフィードバック） *レポート課題②(個別フィードバック)	宮寺，馬場，吉岡
	第12回	発達領域の評価の流れ，ニーズの把握の実施方法，解釈	吉岡，宮寺，馬場
	第13回	子どもの成長を理解するための評価方法	吉岡，宮寺，馬場
	第14回	遊びや学校場面，学習に関する評価方法	吉岡，宮寺，馬場
	第15回	ケースから必要な評価を検討：実践グループワーク③ *レポート課題③(個別フィードバック)	吉岡，宮寺，馬場
科目の目的	作業の適応方法の理解を深めるために，作業分析，作業歴評価，作業遂行評価，環境の評価を通し作業機能障害を理解し，作業の意味と治療的価値を学習する。 【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	1. 対象者理解のための評価について知識と技術を習得する。 2. ひとを作業の視点から評価することの必要性を説明できる。		
関連科目	作業療法評価学，作業療法評価学実習，作業療法総合実習		
成績評価方法・基準	レポート課題（30%），期末試験（70%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. 事前に教科書の該当箇所を読み，理解を深めておく。疑問点があれば整理しておく。 2. 講義内でふれた内容をまとめておく。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり1時間とする。		
教科書・参考書	教科書1：「作業療法評価学 第3版」編集 能登真一他（医学書院） 教科書2：「人間作業モデル [理論と応用] 改訂第5版」Renee R. Taylor. 訳 山田孝（協同医書出版社） 参考書1：「ICF国際生活機能分類－国際障害分類改訂版」編集 障害福祉研究会（中央法規出版） 参考書2：「発達障害児者支援とアセスメントのガイドライン」特定非営利活動法人 アスベ・エルデの会（金子書房）		
オフィス・アワー	宮寺寛子，馬場順子，吉岡和哉：講義日の17時まで		
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-1-A，《専門》-Ⅲ-2-A～H，《専門》-Ⅲ-3-A～J，《専門》-Ⅲ-4-A～E，《専門》-Ⅲ-5-A～G，《専門》-Ⅲ-6-A～C，《専門》-Ⅲ-7-A～B，《専門》-Ⅲ-8-A～0，《専門》-Ⅲ-9-A～C，《専門》-Ⅵ-1-A～J		

履修条件・履修上の注意	講義資料はActive Academyで配布または講義内で配布 配付期間：授業1週間前を目途～当該日まで 持参方法：各自印刷またはPCにダウンロードすること
アクティブ・ラーニングの実施	3回目以降の演習ではグループワークを通して問題発見，解決を行う。 10-11回の実践グループワークでは，反転授業をベースにグループディスカッションを行う。
実務経験のある教員による授業	
実務経験	宮寺 寛子（作業療法士）、馬場 順子（作業療法士）、吉岡 和哉（作業療法士）
授業の概要	作業療法の手段であり、行為者の行動目的の形成にもなる作業の形態と治療への適応方法の理解を深める。そのための作業分析、作業歴評価、作業遂行評価、環境の評価等の学習を通し作業機能障害を理解し、作業の意味と治療的価値を学習する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
岡田 直純	近藤 健	石代敏拓	

授業形態	一部講義も含まれるが、実技が中心となる。		担当者
授業計画	第1回	オリエンテーション（評価技法、評価の手順について） バイタル測定・フィジカルアセスメント・形態計測①	岡田、近藤、石代
	第2回	バイタル測定・フィジカルアセスメント・形態計測②	岡田、近藤、石代
	第3回	ROM・MMT①	岡田、近藤、石代
	第4回	ROM・MMT②	岡田、近藤、石代
	第5回	ROM・MMT③	岡田、近藤、石代
	第6回	ROM・MMT④	岡田、近藤、石代
	第7回	ROM・MMT⑤	岡田、近藤、石代
	第8回	ROM・MMT⑥	岡田、近藤、石代
	第9回	ROM・MMT⑦	岡田、近藤、石代
	第10回	ROM・MMT⑧	岡田、近藤、石代
	第11回	ROM・MMT⑨	岡田、近藤、石代
	第12回	反射・筋緊張・協調性	岡田、近藤、石代
	第13回	身体領域の各種評価①グループワーク） 運動機能、感覚機能、上肢・下肢機能評価	岡田、近藤、石代
	第14回	身体領域の各種評価②グループワーク） 運動機能、感覚機能、上肢・下肢機能評価	岡田、近藤、石代
	第15回	身体領域の各種評価③（グループワーク） 運動機能、感覚機能、上肢・下肢機能評価	岡田、近藤、石代
	第16回	グループワーク発表 運動機能、感覚機能、上肢・下肢機能評価	岡田、近藤、石代
	第17回	ROM実技テスト/MMT 実技テスト	岡田、近藤、石代
	第18回	ROM実技テスト/MMT 実技テスト	岡田、近藤、石代
	第19回	精神・認知・老年期の評価技法①（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
	第20回	精神・認知・老年期の評価技法②（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
	第21回	精神・認知・老年期の評価技法③（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
	第22回	精神・認知・老年期の評価技法④（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
	第23回	精神・認知・老年期の評価技法⑤（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
	第24回	精神・認知・老年期の評価技法⑥（グループワーク） 高次脳機能・精神機能・老年期における評価	岡田、近藤、石代
科目の目的	身体障害・精神障害作業療法領域で使われる評価法の概要を理解し、対象者に合わせて選択し、実施することができる。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】		
到達目標	1. 身体領域、及び精神・認知・老年期領域に関係する一般的な評価技法の概要を説明できる。 2. 身体領域、及び精神・認知・老年期領域に関係する一般的な評価技法を対象者に合わせて、適切に選択し実施できる。 3. 専攻分野の国家試験に合格できる知識と技術を習得する。		
関連科目	作業療法評価学、作業療法評価演習、作業療法総合評価演		

成績評価方法・基準	グループワーク・レポート（50％）、実技試験（50％）を合わせて評価する。
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	事前に教科書の該当箇所を読み、理解を深めておく。疑問点があれば整理しておく。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ当たり1時間とする。
教科書・参考書	教科書： ・作業療法評価学 第3版 医学書院 2017年 ・新・徒手筋力検査法 第10版
オフィス・アワー	岡田直純，石代敏拓，近藤健：講義終了日の17時まで。
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-1-A，《専門》-Ⅲ-2-A～H，《専門》-Ⅲ-3-A～J，《専門》-Ⅲ-4-A～E，《専門》-Ⅲ-5-A～G，《専門》-Ⅲ-6-A～C，《専門》-Ⅲ-7-A～B，《専門》-Ⅲ-8-A～O，《専門》-Ⅲ-9-A～C
履修条件・履修上の注意	実習着を着用して参加すること。
アクティブ・ラーニングの実施	グループディスカッション、グループワーク
実務経験のある教員による授業	
実務経験	岡田 直純（作業療法士）、近藤 健（作業療法士）、石代 敏拓（作業療法士）
授業の概要	身体機能及び精神機能、発達の視点に対する作業療法に用いられる評価について学習する。各評価項目についての理解、評価技法の修得、評価計画法、評価結果のまとめ方、評価結果に基づく治療・訓練・援助プログラムの立案等について、実習を通して学習する。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
南 征吾			

授業形態	講義15コマ（演習を併用して実施）	担当者
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション概論（身体障害作業療法のプロセス）</p> <p>第2回 作業遂行へのアプローチ（作業遂行、目標立案、観察、アプローチ）</p> <p>第3回 運動学習・知覚学習（運動学習の基礎、運動学習に関与する諸理論）</p> <p>第4回 関節可動域・筋力へのアプローチ（関節可動域と筋力のアプローチ）</p> <p>第5回 脳卒中①（疾患概要、作用療法評価、作業療法プログラム）</p> <p>第6回 脳卒中②（事例から学ぶ：アクティブラーニング）</p> <p>第7回 脊髄損傷①（疾患概要、作用療法評価、作業療法プログラム）</p> <p>第8回 脊髄損傷②（事例から学ぶ：アクティブラーニング）</p> <p>第9回 関節リウマチ①（疾患概要、作用療法評価、作業療法プログラム）</p> <p>第10回 関節リウマチ②（事例から学ぶ：アクティブラーニング）</p> <p>第11回 骨折および関節疾患①（疾患概要、作用療法評価、作業療法プログラム）</p> <p>第12回 骨折および関節疾患②（事例から学ぶ：アクティブラーニング）</p> <p>第13回 手の外科①（疾患概要、作用療法評価、作業療法プログラム）</p> <p>第14回 手の外科②（事例から学ぶ：アクティブラーニング）</p> <p>第15回 神経免疫疾患・まとめ</p>	<p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p> <p>南</p>
科目の目的	身体障害領域における作業療法の対象疾患と障害を学習し、実践的治療と援助のできる作業療法士になるための基礎を学ぶ。【コミュニケーション能力】【論理的思考・多様性理解】【知的探求心と創造性】【社会に貢献する能力】	
到達目標	<p>1) 身体障害領域の作業療法対象疾患と障害が理解し、様々な疾患と障害に対処するための具体的治療・援助方法を説明することができる。</p> <p>2) 問題解決学としての作業療法の知識を学び、各種疾患や障害に対応できる理論と技術の基礎を身につける。</p> <p>3) グループワークを通じて、他者に自分の考えを伝え、相手の意見や疑問などを理解しながら協力的に活動できる。</p>	
関連科目	基礎作業療法学、作業療法評価学、作業療法治療学、臨床医学、病理学、リハビリテーション学など	
成績評価方法・基準	期末試験等50%、レポート課題等30%、グループワークの取り組み20%	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	指定した教科書を読んでおくこと。範囲については毎回の授業で指定する。準備学習に必要な学習時間は45分程度とする。	
教科書・参考書	教科書：PT・OTビジュアルテキスト 身体障害作業療法学1 骨関節・神経疾患 編（羊土社） 参考書：標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院）	
オフィス・アワー	講義当日の昼休み、場所は研究室	
国家試験出題基準	《専門》-Ⅲ-3-A～G, 《専門》-Ⅲ-4-A～E, 《専門》-Ⅲ-8-D～F, 《専門》-Ⅲ-8-N～O, 《専門》-Ⅳ-1-C, 《専門》-Ⅳ-2-A～F, 《専門》-Ⅳ-2-I, 《専門》-Ⅳ-7-D～F, 《専門》-Ⅳ-7-N	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	身体領域の作業療法の各種疾患に係るテーマに「Think-pair-share」の学習方法によって、作業療法のプログラムの立案と目標設定等を意見交換しながら実施する。また、ブレインストーミングを用	

いて活気のある意見交換につなげる。

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
石井 良和			

授業形態	講義	担当者	
授業計画	第1回	オリエンテーション, 精神科作業療法の評価とは何か, アセスメントについてVTR使用.	石井良和
	第2回	精神領域の評価総論 1 精神科医療についてのVTR使用. 評価総論 (配付資料) 説明	石井良和
	第3回	精神領域の評価総論 2 精神科医療についてのVTR使用. 評価総論 (配付資料) 説明	石井良和
	第4回	作業療法における精神障害者の理解 1 VTR (ひとりぼっちの障害者たち) 使用. 作業行動理論と作業機能障害について	石井良和
	第5回	作業療法における精神障害者の理解 2 作業行動理論と作業機能障害について	石井良和
	第6回	精神領域の作業療法原理 1 : 人間作業モデル	石井良和
	第7回	精神領域の作業療法原理 2 : 人間作業モデル	石井良和
	第8回	精神領域の作業療法原理 3 : 人間作業モデル	石井良和
	第9回	精神領域の作業療法原理 4 : 回復過程モデル, ライフサイクル論, 生活療法と生活臨床	石井良和
	第10回	精神領域の作業療法原理 5 : 生活療法と生活臨床, SST	石井良和
	第11回	精神領域の作業療法原理 6 : SSTビデオ使用. 感覚統合 (SI) 的アプローチ	石井良和
	第12回	精神領域の作業療法原理 7 : SIとアフォーダンス, 精神分析的アプローチと治療構造論	石井良和
	第13回	精神領域の作業療法原理 8 : 統合失調症者の行動特性	石井良和
	第14回	精神領域の作業療法原理 9 : 患者とのコミュニケーションポイント, 事例を通じた精神科作業療法の理解	石井良和
	第15回	精神領域の作業療法の歴史: 日本の精神作業療法, 道徳療法, 作業療法哲学, ポイント整理とまとめ	石井良和
科目の目的	作業療法が対象とする作業機能障害にアプローチするための方法として, クライアントの理解のための評価, 治療方法 (治療形態, 回復段階に応じた対応等) 精神科リハビリテーションにおける作業療法の役割やリスク管理についての概要を修得する. 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害の特徴およびそのとらえ方を説明できる. 精神領域の作業療法原理や理論を概説できる. 精神科領域の作業療法の流れを説明できる. 		
関連科目	作業療法学概論		
成績評価方法・基準	成績評価方法: 筆記試験70%, レポート20%, 授業態度および授業中の発言 (ルーブリック評価予定) 10% ・期末試験については, 到達目標に基づき, 作業療法に関する講義内容が今後予定されている関連授業等で役立つように問題設定するので, その確実な知識を評価する. ・授業態度やレポート等の提出物については, 次回以降の授業中にフォードバックし, グループワーク等での態度や発言などによって評価する.		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	各講義の内容に対して, 教科書・参考書の該当部分を事前に目を通しておくこと. わかりにくい概念などをチェックしておき, 復習時に確認しておくこと. 学習時間の目安としては一時間程度.		
教科書・参考書	教科書: 石井良和, 京極真, 長雄眞一郎・編集: 「精神領域の作業療法 第2版」. 中央法規 参考書: 昼田源四郎: 統合失調症患者の行動特性. 金剛出版 参考書: 日本作業療法士協会編: 作業療法学全書第5巻「精神障害」. 協同医書出版社		
オフィス・アワー	講義当日は昼休みを中心とするが, その後は18時まで可. 他の曜日は事前に連絡をすれば可. 場所は石井研究室.		
国家試験出題基準	《専門》-III-8-A, 《専門》-IV-7-A		
履修条件・履修上の注意			

アクティブ・ラーニングの実施	実施なし
----------------	------

講義科目名称： 発達領域の作業療法学

授業コード： 10096

英文科目名称： Occupational Therapy in the Field of Child Dev...

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
吉岡 和哉			

授業形態	講義・演習	担当者
授業計画	第1回 オリエンテーション（小児の作業療法について）	吉岡 和哉
	第2回 評価・治療・支援のための基礎知識（作業療法の流れを知る）	吉岡 和哉
	第3回 発達障害，注意欠如・多動症（疾患の特徴と作業療法について）	吉岡 和哉
	第4回 自閉スペクトラム症，学習障害（疾患の特徴と作業療法について）	吉岡 和哉
	第5回 知的障害，ダウン症候群（疾患の特徴と作業療法について）	吉岡 和哉
	第6回 筋ジストロフィー（疾患の特徴と作業療法について）	吉岡 和哉
	第7回 脳性麻痺，重症心身障害（疾患の特徴と作業療法について）	吉岡 和哉
	第8回 保護者や兄弟の家族，学校の教諭など関わりのある人に対する支援（作業療法実践について）	吉岡 和哉
科目の目的	発達領域の作業療法の対象となる方の疾患や障害の特徴を理解することが出来るようになることで，その対象や家族に必要な支援を行うことができるようになる。また，人間発達で学習した内容も含め，その人のライフステージにあったその人らしい生活の選択の幅が広げられる作業療法支援を実施するための必要な基礎を学ぶ。【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】	
到達目標	1. 発達領域の作業療法について理解し説明することができる。 2. 各疾患について特徴を理解し説明することができる。 3. 家族やその周りにいる人に対する支援について理解し説明することができる。	
関連科目	人間発達学，発達領域の作業療法学演習	
成績評価方法・基準	筆記試験(70%)，小テスト5回(20%)，ポートフォリオ(10%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	教科書・講義資料をもとに授業該当箇所の予習と復習を行いポートフォリオを作成する。授業は，各疾患の作業療法を中心に進めるため，疾患の基礎知識については自己学習しておく。自己学習した内容については，授業開始時に小テストを実施するとともに，グループで学んだことを共有する。準備学習に必要な学習時間の目安は1コマ辺り2時間とする。	
教科書・参考書	教科書1: イラストでわかる発達障害の作業療法 発達障害の作業療法，上杉雅之他，医歯薬出版株式会社 参考書1: 発達障害領域の作業療法アプローチ改訂第2版，小西紀一他，メジカルビュー社	
オフィス・アワー	授業日の18時まで	
国家試験出題基準	《専門》-III-3-H，《専門》-III-8-G，《専門》-IV-2-G，《専門》-IV-4-E，《専門》-IV-7-G	
履修条件・履修上の注意		
アクティブ・ラーニングの実施	グループワーク，反転授業	

講義科目名称： 日常生活活動学

授業コード： 10103

英文科目名称： Activities of daily living

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	1単位	必修
担当教員	担当者		
宮寺 寛子	新井 健五		

授業形態	講義8コマ	担当者
授業計画	<p>第1回 ガイダンス, ADLの概念・意義・範囲、国際生活機能分類 (ICF)</p> <p>第2回 ADLの評価方法</p> <p>第3回 作業療法におけるADL評価と支援</p> <p>第4回 ADLの観察① (グループワーク) *レポート課題</p> <p>第5回 ADLの観察② (グループワーク), レポート課題のフィードバック (全体へのフィードバック) *レポート課題</p> <p>第6回 ADLの支援方法, レポート課題のフィードバック (全体へのフィードバック)</p> <p>第7回 IADL, 社会的活動の概念・意義・範囲, 支援</p> <p>第8回 介護ロボットの活用</p>	<p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>宮寺 寛子</p> <p>新井 健吾</p>
科目の目的	<p>人間の自立生活のための日常生活活動, 日常生活関連活動, および社会的適応活動を, その定義・歴史・概念・分類・範囲、作業療法士の役割等と関連させて学ぶ。また, 日常生活への介護ロボットの活用を理解する。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】</p>	
到達目標	<p>1. ADLの概念を理解する。 2. ひとの生活がどのような作業で構成されているかを説明できる。 3. 代表的なADL評価方法の概要を説明できる。 4. 作業療法におけるADLの評価と支援の特徴を説明できる。</p>	
関連科目	日常生活活動学実習	
成績評価方法・基準	筆記試験 (80%), レポート課題 (20%)	
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	<p>1. 教科書の該当する章を読み, 疑問点を整理しておく。 2. 講義内で触れた内容をまとめる。 準備学習に必要な学習時間の目安は1コマあたり90分とする。</p>	
教科書・参考書	<p>教科書: 「作業療法学全書 改訂第3版 第11巻 作業療法技術学3 日常生活活動」酒井ひとみ 編集 (協同医書出版)</p> <p>参考書: 特になし</p>	
オフィス・アワー	宮寺寛子, 新井健吾: 講義終了日の17時まで	
国家試験出題基準	《専門》-III-5-A~C, 《専門》-IV-3-A~D, 《専門》-IV-4-A~C	
履修条件・履修上の注意	<p>Active Academyにより資料を事前配付する。 配付期間: 授業1週間前から当該日まで 持参方法: 各自印刷またはPCにダウンロードして授業に持参すること</p>	
アクティブ・ラーニングの実施	反転授業を元にしたグループディスカッションを行い, 問題発見と解決を繰り返す。	

講義科目名称： 見学実習

授業コード： 10115

英文科目名称： Clinical Fieldwork Level I

対象カリキュラム： 2021年度カリキュラム

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2学年	2単位	必修
担当教員	担当者		
宮寺 寛子	学科全教員		

授業形態	実習		担当者
授業計画	1日間	実習前オリエンテーション①	学科全教員
	3日間	学外での臨地実習（施設①）	臨床実習指導者、学科全教員
	1日間	実習後学内セミナー① 実習で得た学びをまとめて学内で発表する	学科全教員
	1日間	実習前オリエンテーション②	学科全教員
	3日間	病院、施設での臨地実習（施設②） 臨床実習指導者、学科全教員	
	1日間	実習後学内セミナー② 実習で得た学びをまとめて学内で発表する	学科全教員
科目の目的	作業療法の果たす役割と業務を理解し、作業療法学生としての倫理観を持ち、その後の学業のモチベーションを高める。 【コミュニケーション能力】 【論理的思考・多様性理解】 【知的探求心と創造性】 【社会に貢献する能力】		
到達目標	見学を中心に、以下の項目が実施できる。 1. 将来、医療職に就く者として責任と良識のある行動がとれる。 2. 患者・利用者や職員等と適切なコミュニケーションがとれる。 3. 基本的な評価、治療・援助について、臨床教育者等の監視・指導の下、学生の到達度に合わせて、その目的・意義、技術、過程、リスク等について理解できる。 4. 情報管理も含めた適切な記録、報告ができる。 5. 施設リハビリテーション部門、作業療法部門の機能・役割や管理・運営について理解できる。		
関連科目	これまでに履修したすべての科目		
成績評価方法・基準	臨床実習報告書（40%）、実習課題（30%）、学内セミナー（30%）		
準備学習の内容・準備学習に必要な学習時間の目安	1. これまで学習してきた知識と技術のすべてを実習開始までに復習する。 2. その日に学習したことを整理しまとめておく。 必要な学習時間の目安は、上記を果たすことができる時間を各自設定すること。		
教科書・参考書	これまでの授業で使用した教科書全て		
オフィス・アワー	随時		
国家試験出題基準	《専門》-VI-1-A~J		
履修条件・履修上の注意	2年前期までの必修科目を履修していること。		
アクティブ・ラーニングの実施	臨地での体験学習、問題解決学習、学内でのグループワーク、グループディスカッションを行う。		
実務経験のある教員による授業			
実務経験	宮寺 寛子（作業療法士）、村田 和香（作業療法士）、石井 良和（作業療法士）、竹原 敦（作業療法士）、南 征吾（作業療法士）、馬場 順子（作業療法士）、吉岡 和哉（作業療法士）、岡田 直純（作業療法士）、近藤 健（作業療法士）、石代 敏拓（作業療法士）		
授業の概要	病院や施設で実際の作業療法の見学と観察を行い、作業療法の果たす役割と業務を理解し、作業療法学生としての倫理観を持ち、その後の学業のモチベーションを高める機会とする。また、患者や対象者と接する中で、障害を持つ方への理解を深める。		